
遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

雷光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX ルールを守つて楽しく決闘！

【Zコード】

Z3776Z

【作者名】

雷光

【あらすじ】

目が覚めたら遊戯王の世界にいた…

やだよこの世界の禁止制限リスト、これだつたら現実世界の禁止制限リスト使つてデュエルしてやる！！

正々堂々、やるー！それが俺の主義だー！

注意ー！（作者は初心者です。さらに都合展開がありますのでそれが苦手なたは今すぐお戻りください）

第1話 始まりの前の始まり（前書き）

無謀なる同時更新！！

第1話 始まりの前の始まり

目が覚めたらどこかの家で横になつてた。

俺高校卒業して就職先探してたはず何だけど…
まあいいか。気晴らしにテレビでも見よ。

『ただいまアメリカからKC社長、海馬せ』 ピッ

『皆様！！見てください！！あの決闘デュエルキング王武藤遊戯使ってカー』 ピッ

『ダイナソー竜崎選手！！』で速攻魔法【突進】を発動…！【メガザウラー】の攻撃力を上げ【グレートモス】を倒しインセクター羽蛾を倒しま』 ピッ

……まさかこれは二次創作である転生とか憑依というものか！？
てか竜崎、羽蛾に勝ったんだ。

しかし来た世界は遊戯王か…とりあえず今の時期調べよ。

3時間後

時期は遊戯王GXの始まり1週間前か…
てか調べて思つたんだけどこの世界の禁止制限ゆる…！
禁止カードはノーポストでフィールドのカードを破壊する、モンスターと魔法…何故罷が無い？

でもまあ、現実世界でもやだからわかるんだけどさすが制限は緩すぎー！

何で【生還の宝札】【リビテ】がかかるねえの！？
未来融合も制限じゃないし！？

こんな禁止制限で勝つたて嬉しくねえよ…

…よしこれならオリジナルの禁止制限作ったほうがいいな

5時間後

できたー！よし自分が作ったこの禁止制限リスト結構いいな。現実世界の禁止制限リスト9月1日適応にこの世界の禁止制限リスト、さらにアニメ、ゲーム、漫画の壊れオリカは禁止。それでもほかのオリカは制限行きだけどね。

これでも1k111デッキ作れるから大半は遊びデッキにするけど

さあてお次はカード、カード…って多いな…

少し調べるか

……とりあえずわかつたことは全部のカードがあること。

しかも【オレイカルコスの結界】や三幻神、三幻魔、地縛神、N.O.カードといった危ないカードまである。これは速攻で別のトランクに入れ厳重に保存…

ああー、後、エクシーズやシンクロどりじょつ…

これは後でいいか。

受験当日

よし、デッキはいっぱい作ったしシンクロやホクシーズのデッキも一応作つといた。

では受験会場に行こうー！

第1話 始まりの前の始まり（後書き）

スマフォ「ひやひやひー…」

第2話 記念すべき初決闘（前書き）

いつも雷光です。

遊戯王は進む、進む…原作があるからストックがたまる。

そして最初の最強カードはこれだ!!

??「最強カードは永続魔法【冥界の宝札】。このカードは自分が2体以上のリリースを必要とモンスターをアドバンス召喚した時デッキからカードを2枚ドローできる!」

作者はこのカード好きですよ。紹介ありがとうございます、主人公!

第2話 記念すべき初決闘

さて、早速試験会場について筆記試験やつてんですが……

「簡単すぎるのは……」

あまりにも簡単すぎて声に出ちまつたよ……まず第1問田

第1問

あなたが通うデュエル・アカデミアのオーナーは？

これ知つてなかつたら結構失礼だろ……かの有名なあの人ですよ？
そう青眼ブルーアイズを使うあの人ですよ
次もひどいなー

第2問

【強欲な壺】の効果？

みんなわかるよ……2枚ドローするんだよ！

第3問

現在プロリーグの1位は誰でしょう？

……あー誰だっけ？確かに青血さんを盗んだ人でしょう？でも名前わからんないからバス

まあこつからはわかつて当然のやつがでてきたね。一部ビックリしたのあるけど…それは何って？それは…

第36問

【黒魔導師クラン】が被っている頭巾の動物は何でしょう？

知るか…！）んなもの【なぞの手】並にわかんねえぞ！？

実技試験会場

はい、とりあえずそれなりにやりました。俺の受験番号は22番…
俺はシャークじゃねえぞ。2が来たつて全然不幸な事なんて起きなえよ

『受験番号22番【宗野 魁】さん。2番の決闘場』

呼ばれてるので早速ゴー！！

「あなたが宗野魁さんですね」

「はい！」

俺の目の前にいるのはメガネを掛けた知的感を放つてゐる人……うん、こいつは雑魚だ

強い奴って大抵メガネ掛けないし見た目からして頭よくなそうな奴が強いって結構あるからなー
ディスク構えて準備、準備！

「では始めましょー」

「はい」

「『デュエル 決闘！！』」

先攻は俺からだ！

「俺のターン、ドロー！魔法発動【手札断殺】を発動！お互いの手札を2枚捨て2枚ドローする！俺が捨てるのはこれだ！」

「なら私も2枚捨て2枚ドロー！」

「そしてドロー。リバースカードを4枚セットしてターンエンド」

「手札交換しモンスターを出さずリバースカードだけでターンエン

ド？手札事故かい？「

はははははつと笑う試験官、あざ笑うほかの受験生達……まあ、確かに軽く事故ってるからな。でもそんな笑い声を後で黙らしてやる

「私のターン、ドロー！【メカ・ハンター】を召喚…さらに装備魔法【デーモンの斧】を装備！これで【メカ・ハンター】の攻撃力は2850だ。そしてさらに速攻魔法【リミッター解除】を発動！これで【メカ・ハンター】の攻撃力は5700だ！」

……たすがに驚いた…まさか原作1話からカイザー亮のサイバーエンドを超えるとは……周りからもあの受験生終わつたとかさすが1、2を争う試験官だぜ！とか言つてるし…こいつクロノスと同じくらいなのか…まあこの強さも納得か

「バトル！【メカ・ハンター】で直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「相手が直接攻撃ダイレクトアタックした時相手の攻撃を無効にして【バトル・フェード】を特殊召喚する。そして相手のバトルフェイズを強制終了させる」

まつ通さないけど

「くつ…リバースカードをセットしてターンエンド…そしてエンド宣言時【メカ・ハンター】を【リミッター解除】の効果で破壊する（私のセットしたカードは//ラーフォース…これであなたのすべてのモンスターを破壊する）」

「俺のターン、ドロー！リバースカードオープン【強欲な瓶】を発動！」

(何をしようがミラーフォースで破壊してやる)

「まだだ！それにチヨーンしてリバースカード一斉オープン。【八汰鳥の骸】【血の代償】【積み上げる幸福】。チヨーン処理開始。【血の代償】の効果はライフを500払いこのターンもう一度通常召喚ができる。【強欲な瓶】と【ハ汰鳥の骸】はカードを1枚ドローする。【積み上げる幸福】の効果！チヨーンが4以降に発動できカード2枚ドローする！さらに永続魔法【冥界の宝札】を2枚発動！【冥界の宝札】は自分が2体以上生贊が必要なモンスターを召喚した時デッキからカードを2枚ドローできる」

手札が一気に3枚！試験官の顔何するつもりだつて顔になってるがそれはすぐわかるよ！

「墓地の【魔轟神ソルキウス】の効果発動！手札を2枚捨てソルキウスを特殊召喚する！さらにソルキウスのLVを2つ下げ墓地の【レベル・ステイラー】を特殊召喚2体特殊召喚する！」

「そんなモンスターを並べて何をするつもりだい？」

……おーい、さすがにここまでやつたんだからわかるだろ普通？

「ステイラー2体を生贊に【トライゴエディア】を召喚！【冥界の宝札】2枚の効果で4枚ドロー！さらに【血の代償】の効果発動！500ライフを払いもう一度通常召喚する！ソルキウスと【バトル・フェーダー】を生贊にしてもう1体の【トライゴエディア】だ！【冥界の宝札】2枚の効果で4枚ドロー！さらに【トライゴエディア】のLVを2つ下げ再びステイラー2体を特殊召喚！500ライフ払いステイラー2体を生贊に【銀河眼の光子竜】を召喚！さらに4

ギャラクティック
フォトドラゴン

枚ドローー！」

「うつ……（まだ大丈夫だ…）ミラーフォースがある限り私に負けはない！」

「さらに銀河眼の」^{ギャラクティクス}2つを下げまたステイラー2体を特殊召喚！

すまない、ステイラー…恐らくネオスや【スピード・ウォリアー】以上に過効死してるだろうがそれでも勝つためにリリースするわ。…そんな眼で俺の心に訴えないでくれ、そんな今にも泣きそうな顔やめてくれ…

「さらに500払いステイラー2体を生贊に再び【銀河眼の光子竜】^{ギャラクティクスフォトン}を召喚！また4枚ドローー！よし来た！速攻魔法【サイクロン】！これでお前のリバースカードを破壊！」

「なつ！？」

破壊したのはミラフオ…ありきたりだな…

「さらに墓地にある光属性【魔轟神ソルキウス】と闇属性【レベル・ステイラー】を除外して【カオス・ソーサラー】を特殊召喚！」

「まさか世界に数枚しかないカオスシリーズまで出でくるとは…」

あれ？そんなレアなカードなのこいつ？以外だな…こいつ『ゴールドシリーズ買つて12枚くらいダブつてるぞ
ちなみに開闢はつかわないよ。あんなの使つたらこの世界のゲームバランス崩壊するし確かに遊戯しか持つていなかつたはずだろ？

だとしたら使わない、使わない

「これで終わり！すべてのモンスターで直接攻撃！ちなみに【トライエティア】の攻撃力は手札の枚数×600だから攻撃力は6600です！」

「そ……そんな馬鹿な……」

試験官 LP - 10900

「ありがとついざいました」

「さすがにやりすぎたな……周りざわめいてるし中には「あの銀河アイズ眼つてカード海馬社長の青眼に似てないか？」とか言つていらやついるし

確かに銀河眼^{ギャラクタアイズ}は似てるからなー……以後注意しよ

こんなでシンクロやエクシーズ使つたら注目的間違いなし！LV8【ドラグニティアームズ・レヴァティン】にLV2【ドラグニティファランクス】をチューニング！……ってはあ！…？

「星と星が10を表し時烈火の炎よりすべてを滅ぼす竜が現れる！シンクロ召喚！焼き尽くせ【トライデント・ドラギオン】！効果でフィールド魔法【竜の渓谷】を破壊しひ回攻撃！ツイン・ブレイズ！」

「うわあああああーー！」

「あの女……まさか俺以外でも転生者または憑依者がいるとは……しかも何の躊躇いもなくシンクロ召喚するとは……周りがざわついてんじゃねえか！」

しかもこいつを見たし……つわあ 銀河眼使わなきゃ 良かった……

しばらくたつた後

……おっ、十代が来た。そんでクロノスとテュエル
で原作通り進み最後はスカイスクレイパー・シユート……

これで試験は終了か。とりあえず転生者か憑依者かわからないけど
あの女が来る前に退散退散……

第2話 記念すべき初決闘（後書き）

やつぱり遊戯王は速く書きやすいな…

魁「しかしあんとほかの小説もかけよ」

わかつてます。

では次回予告

デュエル・アカデミヤの入学が決まった魁！
そして試験会場で現れた転生者！

万丈目の誘い？そんなことより転生者が先だ！

次回！【禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者】
漢字が多くてすいません。

魁「しかし早速ライバルと戦うとはな」

いいんだよ別に！…次回もお楽しみに！…

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者（前書き）

「いつも雷光です！」

「3つも同時に書くんだからやつぱり執筆ペース決めないとねー」と思つたので決めました！

魁「執筆ペースは決めておいたが、やつと一つ成長したな」

遊戯王GX 1日1回

白黒学園物語 1週間に1回か2回

リリカルなのは 1ヶ月に1回ぐらい？

……という感じです。まあ、後々変わっていくでしょうけど……これを田安に書きたいと思います。

魁「さて今回の最強カードは…」

【青眼の光龍】…って何で社長のカード？

魁「それは本編を見てくれ。

効果はこのカードは通常召喚できない。自分フィールドに存在する【青眼の究極竜】をリリースして特殊召喚できる。自分墓地のドラゴン族1体につき攻撃力を300ポイントアップする。このカードを対象にする魔法、罠、モンスター効果を無効にする事ができる。

このカードはブリューナクの効果も無効にできるから召喚すれば結構な制圧力を持つぞ」

ただし現環境ではトリシユーラで除外、奈落で除外、神宣で無効！最終的には出す前に自分が倒されるからあまり見ないカードだけど

出れば強いよ！

攻撃力も上がれば17キリ11できるし…墓地にドラゴン族が17体
いれば…

魁「夢話だな」

「うむせーーーー！」

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者

後日、合格通知を貰つてテュエル・アカデミアに通えるんだが……何故かオシリスレッドでしかも合格通知に手紙が入つてました手紙の内容は……

入学式の後すぐ校長室に来てください。

鮫島校長

……俺何も悪いことしてないよな……

とりあえず船に乗らなければ話が始まらない
荷物は制服、財布、生徒手帳、アカデミアの通信端末そしてカード
一応すべてのカードを持ってきたけどさ……やっぱり【オレイカルコ
スの結界】とかそういう危ないカードはやめとくべきだつたか？

船が出航……順調に進んでるだがそんな俺の後ろに一人の姿があつた……

「少し悩んでるとい悪いんだけど、ちょっと話があるのよ。転生者さん？」

そこにはオベリスクブルーの制服を着た、髪が何というか……その赤身が掛かつたような茶髪いや、茶色身が掛かつたような赤ような感じをした肩に掛かるまでの長さの髪を持つた少女がいた……あの時女か……

「何でしうつか? 転生者さん?」

俺も同じような返事して振り返った。さすがに転生者だと隠す事はない。すでに知られてるしあつちの情報も知るためにまずは交友関係を作んないとな

「とりあえず一つ注意事項。あまり人前で銀河眼ギャラクターズのよつな一目見ただけで誰のカードと似ていると思わせるようなカードをつかっちゃダメでしょ?」

「そういうあんたこそ普通にこの時代にないシンクロ召喚を使つてるだろ… 未来を変えるよつなやばい行為をやつてるお前よりかはマシだろ」

「確かニセうね

お互に睨み合ひながら話をする…こつどんな」とがあるかわからぬいからな

「……で他に用は?」

「あなたの名前が知りたい。それだけ」

即答ですか…名前を教えてましいことはないし教えとくか

「いいよ。俺の名前は宗野魁。あんたは?」

「宗野魁ねえ…私の名前は【天城サクラ】あまじゅく以後よろしく」

「……名前の件の関してはソックリんだ方がいいのか?」

「ダメです」

… そうですか、恐らくあのN.O. カードを集めハンターの前世の
血筋なんでしょうね……

「それじゃ」

「あれ、本当にそれだけなんだ」

その後スタッフと離れたサクラを見てた… 天城って呼びずれえよな
あーしかしなくなると暇だな。もうすぐつくんだけどとりあえず
何かしてないと暇だ

「おつ受験番号22番君じゃないか」

何して用かな… テック作成? いやこんな人前ではあんなカード見せ
られないしな。

「22番君聞いてるかい?」

「あつ、何でしちゃか?」

誰かいたのか… つてあの有名なエアーマンこと 君じゃないか。
あれ? 何か名前にモザイクが…

「おーい、そこの人だ! !」

さらに奥からGXの主人公十代が来た… 後ろに翔も

「あんただろ！ 実技試験で受験生の中でたつた1人だけ100000オーバーキルをだした決闘者つて！」

「それにあの銀河眼^{ギャラクティクス}というカードは何だ？ 世界に数枚しかない青眼^{ブルーバイクス}と同じ感じがするが… どうなんだい？」

「おーおー、いきなり自己紹介もせずに質問かよ… 少しほれは礼儀を覚えろ」

「そうだな。俺の名前は遊城十代！ お前と同じオシリスレッズー！ れからよろしくな！」

「僕の名前は丸藤翔^{マツモト・ショウ}ッス……」

「最後に俺だ。」「おーい！ あんなとこにシンクロ召喚とかいう召喚を使った女がいるぞ…」「えっ！ ? 何々！ ?」「だ。よろしく！」

……よく聞こえなかつたが名前は知つてゐるからいいか。やつぱりシンクロ召喚は注目されるんだね

「いらっしゃよろしく。俺の名前は宗野魁よろしくな。」とりあえず「追え！ 逃がすな！ ちゃんと話を聞いてもらひぞ！」「銀河眼^{ギャラクティクス}」については確かに青眼と同じ世界に数枚しかないカードだ。ほかに質問は？

「いや、特にない。しいて言つならシンクロ召喚を知つてゐるかい？」

知つてゐるけど「」はサクラに押し付けて負担を増やそうか

「全く知らない。知りたければさつきから追つている生徒達が追つている女子生徒。あいつがシンク口召喚使つてるから聞きに行け」

「そうかわかった。では！」

「おひ

俺は素つ氣なく『「なあ、魁！デュエルしようぜ……」』とHアーマンの名前が潰されてるな…

「それはついてから元じる。十代

「えええ——いいじゃん。今すぐ『「やひひせー」』

「却下。それ以上言うとやつてやつてもいいけど今後一切しないぞ

「うつ……わかった……でもついたなら必ずデュエルしろよ……」

「わかってる」

その後俺達は他愛もない話をしていたデュエル・アカデミアについて

「ああってど…まさか誰もいないとは…」

部屋についてそしうこれがよ。とりあえず荷物を置くか。クローゼットに制服を入れ、デッキホルダーを腰に巻いてデッキを8つほど投入…その内3個はエクシーズ、シンクロ、禁止制限を守ったガチデッキ。そして残りはタイプ別の遊びデッキ

あるいはローレベル、ロック、ハンデス、ビート、エクゾティア。

昨日の試験で使ったのはこの中のビート、テックだな

そこでカードのトランクはビートに置こうか…社長サイズのトランクが30個近くあるんだぞ?危ないカードは自分の引き出しに入れておくか…どつかの漫画のように2重底でな。下の方にいれ上に勉強道具や必需品を入れて、残りのカードはクローゼットの奥に7個ベットの下に2個…机の上に5個…残りはドアの近くに置いとくかこれでオーケー…後はデュエルディスクを着けて…準備完了!

「おーい!魁!速くデュエルしようぜー!」

「おう!今行くー!」

グットタイミングだよ十代ー!

「じゃあ行こうかー!」

「おうー!」

俺達はデュエル・アカデミアに全力疾走した…
決して全速前進 DA!!じゃねえぞ

んで決闘場に来たんだが…

「おい!お前らー!」はお前達オシリスレッドが使っていい場所じやねえぞー!」

そうなんです。原作の通りオベリスクブルーが占領してゐるんです。
となると次は…

「別にいいじゃないか！」ここで決闘デュエルしたつて…」

「何だと…オシリスのドロップアウトが樋突くく「諸君、そこまで
にしたまえ」万丈目さん…！」

ほーら出てきた、出てきた。猿山…いやゴミ山に大将、万丈目準…
この頃のサンダーはどう考へてもライバル臭さりにベジータ臭もし
たな…

「あいつ誰だ？」

「知らん。とにかくこの山のコーダーと喋つてたつて時間の無駄
だ。速くやるわ」

おおつと…取り巻き達とサンダーはイライラして…怒り出し声をあ
げた

「貴様ら！万丈目さんを馬鹿にしてるのか！」

「いやしてない。俺はただそんな肩山の大将と喋るのが時間の無駄
だと言つたのだ」

「ちつ…貴様らドロップアウトに特別に教えてやるー」のお方、万
丈目さんは貴様らと同じ1年だがそんなもの用とスッポンほど以上
に差がある…万丈目さんは中等部からトップクラスの力を持つ超エ
リートなんだぞ！正しくこの学園最強の1年生なんだぞ…！」

「うわーすつ」こ（棒読み）でも中等と高等を同じにするな。お前らがいるところの力は全然下の下の下。その中の超ヒーローなんてよくて下の上の上でしょ？」

「貴様！この俺様が黙つて聞いてれば次々この俺様の事を馬鹿にしやがつて…この俺様が直々にこのアカデミヤの厳しさを教えてやる！」

「断る。今は十代とやらなければいけないのでまた今度」

ははは…！何か他人をあしかるのは楽しいな…！しかも断られてめつちやダサイ！

「いい加減にしろ！」のドロップアウト「あなた達いいかげんになさい！」で、天上院君…」

出ました！今作GXのヒロイン、天上院明日香…こいつのトッキはサイバーガールデッキで後々になると機械天使になつたはず…しかしこのサイズ…とも高…にはできねえぞ

「万丈目君！さつきからオシリスレッドの言葉に惑わされてるナビ根本的にはそつに非があるのよ…こじは素直に謝りなさい…」

「く…誰がそんなことをするか！行くぞお前ら…」

「…はい…万丈目さん…」

ズラズラ行くオベリスクブルー達。しかし俺が銀河眼ギャラクターズ使つたこと
を誰も言わないとわ…
うつ？銀河眼ギャラクターズ？

「ああああああ！…」

「つま…じつした魁！…」

「すっかり校長に呼ばれてるの忘れてた…十代…また今度…」

「おい…待てって！」

急げ！急げ！鮫島校長怒ってるかも！

校長室

「お、遅くなつて申し訳ござこません…ぜえぜえ」

「だ、大丈夫かい、宗野君？」

大丈夫ですって言いたいけどあまりにも疲れすぎて声が出ない…

「まあ、手紙の件を話さないとけませんね」

「…は……」

「君がここ呼ばれた理由、それを話そつか」

「クククと俺は頷き鮫島校長の話を聞き出した

「まず呼ばれた理由と君がオシリスレッドなのは関係している」

…黙つて聞く俺

「君がオシリスレッドなのは君が試験中に銀河」

以下略…

つまり俺がオシリスレッドなのは銀河眼ギャラクターズを持っているで海馬社長直々にオシリスレッドにいろいろと言つたらしい。理由はオベリスクブルーやラーライエローではレアカードが盗まれることが多々あるらしい…

さらに今学期中に海馬社長が来てくれるらしい…まさか銀河眼ギャラクターズがここまで世界に影響を与えるとはすげえな。以後使わないようにしようかな?

そんで今は夜。デッキ作りといつかほかにも禁止制限にするやつあるんじゃねえ?と思つてカードをいちくつてる

…【ラヴァルバル・チヨイン】を制限にしておくか。後【ダイガスター・フェニックス】も。

次に【真炎の爆発】…制限行き。【A・O・Jカタストル】はどうかな…効果体制は無いけど効果強力だしシンクロしやすいし機械族だし闇だし…どうしよう?

ヴォルカザウルス…準制限かな?ホープレイ…無いな。アーメ限定カード【アーマーシリーズ】…禁止!だけどカイザーに出会つたら

渡そう。中の人の都合上

今思つたけど名も無き竜達つてほかに何の姿になるのかな?使って
みたいけど世界に影響を及ぼせるから禁止

ふうー…大変だな。しかし自分自身に枷をして楽しむ…これほどい
い遊びはねえ!

うん?メールがある?何だろ?

ドロップアウトボーカー!さつきはよくも馬鹿にしてくれたな!午前
0時決闘場デュエル フィールドで待っているぞ!あれだけ馬鹿にしたのに逃げるなよ!

万丈目さん

…最後に万丈目「さん」とは…よつぽどさん付けが好きなのね。あ
れ?もう一件メールが…

午前0時、オシリスレッド近くの発電所で待ってるわ。ちやんとト
ッキを持ってきてね

b y 天城サクラ

よしサクラのほうに行こうか…!

…えつ?万丈目?あいつ何て放つておけ。近日中に何故来なかつた
!とか言つて決闘デュエルしてくるでしょ
それにサクラの気になるし

「よし…行くか！」

俺はいきよこ良ぐドアを開け発電所に向かった…

発電所

「あら、案外速く来たのね？」

「はは、当たり前だ。女性を待たせるなんて男がする事じゃねえ」

「ふつ…」に呼んだ理由はわかるでしょ?」

「ああ…」

そう言つてティスク構える俺とサクワ…

「「^{デュエル}決闘!!」

「これは人目がないから本氣でやつてやる!」

「俺が先攻だー!ドロー!手札より永続魔法【未来融合 フューチャー・フュージョン】を発動!効果知つているよな!」

「当然」

「なら俺は【F・G・D】を選択!デッキから【伝説の白石】が2体【真紅眼の飛竜】が2体【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を選択!」

【伝説の白石】の効果発動！このカードが墓地に送られた時デッキから【青眼の白龍】ブルアイズ ホワイトragonを手札に加える！

「ふーん…絶ドラね」

「そういうばそうだけ今は絶ドラじゃねえよ…！」

新しく入ったスターター・デッキ【ドラゴニック・レギオン】でレダメが入っているからな！今じゃ絶望じゃなくて希望が見えるぜ！

「さらに手札から魔法発動！【融合賢者】！デッキから【融合】を手札に加える！そして【融合】発動！手札の青眼を融合！来い！青き瞳に宿りし究極の魂！融合召喚！【青眼究極竜】ブルアイズルテイムラゴン！さらに究極竜を生贊にして！究極を超えし光の竜よ！今その姿を輝かせろ！特殊召喚！【青眼の光龍】！」

「そして墓地のドラゴンは…9体…」

「光龍の効果で光龍の攻撃力は5700！リバースカードを2枚セツトしてターンエンドだ！エンドフェイズ！墓地の【真紅眼の飛竜】レッドアイズ ワイパーを除外して墓地の【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を特殊召喚！墓地のドラゴンが減つた事で光龍の攻撃力は600ポイントダウンする」

いきなり展開しすぎたな…相手はどう来る…？

「私のターン、ドロー！【天使の施し】を発動！」

禁止力……………でもこの世界では制限だから仕方が

無い！

「デッキから3枚引きその後2枚捨てる。【死者蘇生】を発動！この効果で墓地より【ガガガガール】を特殊召喚！そして速攻魔法【地獄の暴走召喚】！この効果で私は【ガガガガール】をデッキから2体特殊召喚する！そしてあなたも自分モンスター1体を対象にしてデッキ、手札、墓地から同名モンスターを特殊召喚しなさい！」

「デッキから【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を特殊召喚！」

「くそ！俺のデッキにはレダメは2枚しか入ってないよ！」

「あら？ レダメは2枚しかないの？ 普通なら3枚入れるのに…まあいいや。【ガガガマジシャン】を召喚！」

『ガガガガ先輩！』

『オ…オウ！』

【ガガガマジシャン】後輩がいっぱいいてビックリしてるぜ。これは見ものだ！

「そして【ガガガガール】の効果発動！ このカードの↓を【ガガガマジシャン】と同じ4にする！ そして【ガガガガール】2体でオーバーレイネットワークを構築！ エクシーズ召喚！ 【N.O.·39希望皇ホープ】！ …さらに【ガガガマジシャン】と【ガガガガール】でオーバーレイネットワークを構築！ エクシーズ召喚！ 【N.O.·39希望皇ホープ】！」

9 希望皇ホープ

『『ホオオオオオオオオオオオオオ』』

「出た――――――アポリアさん―――
そのままあれに繋ぎたいな――！」

「【ガガガガガール】の効果でレダメ2体の攻撃力を0にする！光龍^{シャキヨウロウ}にやりたいけど効果で無効にされるから無理だから仕方が無いからバトル！ホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラッシュ！」

「ぐう…くつ…」

宗野魁 LP1500

やつぱり【ガガガガガール】の効果は強いな…だけど…

「さらにホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラッシュ！」

「罠発動！【竜の転生】！レダメを除外して墓地から【青眼の究極^{ブルアイズアルティメット}竜】^{ドラゴン}を特殊召喚！」

「攻撃は中止！リバースカードを2枚セットしてターンエンド」「エンドフェイズ時に永続罠【闇次元の開放】を発動！」そんな…

「この効果で除外されている【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を特殊召喚する…」

焦るなよ？まだ決闘^{デュエル}は始まつたばかりだぜ？

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者（後書き）

はい、早速次回予告！

始まつたばかりなのにいきなり熱き戦いを繰り広げる転生者2人！
そしてサクラが窮地にたつた時新たに現れたモンスター！
両者がだす攻撃には一部の隙も無い！！

次回！【究極こえし光VS混沌を光に変える使者！】

次回もお楽しみに！

第4話 究極超えし光ＶＳ混沌を光に変える使者！－（前書き）

連続更新！！

だが同時にだんだんストックが減つてゆく！

魁「現在どこまでストックがあるんだっけ？」

若本戦まで溜まっていますよ。

魁「じゃあ大丈夫だろ」

そうかな…？

心配だけどそれでいいか！

さて今回の最強カードは！？

魁「【CNO・39希望皇ホープレイ】！」

エクシーズ素材は光属性LV4モンスターが3体か自分フィールドの【N.O.・39希望皇ホープ】の上に乗せエクシーズ召喚する！このカードの効果は自分ライフが1000以下の場合、自分オーバーレイユニットを一つ取り除く事でこのカードの攻撃力を500ポイントアップして相手モンスターの攻撃力を1000ポイントダウンさせる！

前話での【ガガガガガール】のコンボを使った後自分ライフが100以下の時このカードを出せば勝利の方程式が完成するぞ…！」

後【ファンタム・オブ・カオス】の効果で得たホープにも重ねられますよ。

今回はアニメで困ったときの逆転カードでした。

ぶっちゃけこのカードと【ガガガガガール】さえあればアニメの初期

ライフ4000なんて簡単に削れるので台本合せには持つて来い
ですよね。

第4話 究極超えし光ＶＳ混沌を光に変える使者！－

「俺のターン、ドロー！【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】の効果発動！墓地より【青眼白龍】^{ブルナイホウイエイザイモン}を特殊召喚！さらに手札魔法発動！【アドバンスドロー】！【青眼白龍】^{ブルナイホウイエイザイモン}を生贊にして2枚ドロー！さらに手札から魔法発動！【トレード・イン】を発動！手札の「バモンスター【銀河眼光子竜】^{ギャラクティックオトドラゴン}」を捨て2枚ドロー！」

「これでさらシャキヨコガに光龍の攻撃力は300ポイントアップ…攻撃力高いね」

「そりやどうも！行くぞ！光龍でホープに攻撃！シャイニングバー
スト！！」

天城サクラ LP 800

「光龍の光の咆哮がホープに直撃？…何故効果を使わない？」

「希望皇ホープの効果……このカードは【ノ・・】と名のついたモンスター以外の戦闘では破壊されない！」

原作効果！…？原作ならノ・危ないカードじゃないか！？

「お前大丈夫か！？取り込まれてないか！？」

「大丈夫。確かにノ・特有の感じがあつたけど私に害は無かつたから」

それでも危ねーよ！－

たくつ……なんちゅうカード使ってんだ…

「続けてバトル！究極竜でホープに攻撃！アルティメット・バースト！」

「希望皇ホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き相手モンスターの攻撃を無効にする！ムーン、バリア！」

オーバーレイユニットがホープの心臓らへんに入りホープが翼で究極竜の攻撃を防いだ

「【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】でホープに攻撃！ダークネス・ギガフレイム！」

「先ほどオーバーレイユニットを使ったホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き攻撃を無効にする！」

同じように攻撃を防がれたレダメ やるな…禁止カードや原作効果を使ってなければ

「リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

またハンドレスか…手札がほしいな…

「私のターン、ドロー！来た！手札から魔法発動！【二ベルングの財宝】…」

ちょっと待て…………原作効果、禁止カードに続いて今度はアニメのオリカですか！？

しかも【二ベルングの財宝】の効果つて…

「【二一一ベルングの財宝】の効果！このカードの発動時自分はカードを5枚ドローする！」

出たよ壊れオリカ…そんなカード使って楽しいか！？確かに効果は強力だけど！！

「そして『テッキから【二一一ベルングの指輪】をレダメに装備させる！』

…すまん、レダメのせいなんだけど…つけてる場所が指輪じゃなくて『首』よつてこれは【二一一ベルングの指輪】改め二一一ベルングの首輪にしよう

でも首輪の効果はつえ…確かに効果はこのカードを装備したモンスターは生贊も効果も使用できずさらに攻撃までできない…ただしあまけ効果にこのカードを装備したモンスターのコントローラーはドローフェイズ時『テッキからもう1枚ドローできる。そしてスタンバイフェイズにドローフェイズにドローしたカードにモンスターがあつた場合ドローしたカード中のモンスターを1枚墓地に送る。後者の効果は場合よつてはすげえ強くなる…【魔のテッキ破壊ワイルス】を使えば魔法、罠も落とせるし手札も確認できる。…たくじークと社長が組めはある意味最強タッグだつたひ…

「速攻魔法【サイクロン】！これで未来融合を破壊！続いて永続魔法【強者の苦痛】！これであなたのモンスターの攻撃力はダウン！いくわよ！オーバーレイコニットがあるホープに対して私はある力ードを重ねる！」

「まさかそれって！」

あの進化すんのが早過ぎの…

「やべ、それよー！」のカードは自分フィールド場の【ニ。・39希望皇ホープ】と名の付くモンスター・エクシーズ素材に召喚できる！ カオス・エクシーズチュンジ！！今こそその姿を現せ！混沌を光に変える使者！【CN。・39希望皇ホープレイ】！…」

『ホオオオオーリーブツ！…』

まさかあのみんなからハズレカードだと言われ続けてたカード…ホープレイがこんな簡単にフィールドに出るなんて… でもこいつから活用しなければホープレイを出した意味が無いぜ？

十代Side

万丈目と決闘してて途中でガードマンがきて中止。今は外で明日香と翔と話しているが…

「おい、何だあの光？」

オシリスレッド近くの森の中がやたらと光ってるんだが…

「さあ？」

「何でじょうね？」

「とりあえず行つてみようぜーーー！」

俺達は光のところに向かつたんだが……
すげえ……すげえとしか言いようがねえ……

「カオス・エクシーズチエンジ！今こそその姿を現せ！混沌を光に
変える使者！【CNO-39希望皇ホープレイ】！！」

あそこには魁！しかも対戦相手は試験でシンク口召喚とかいう召喚した天城サクラ！しかもまたサクラは新たな召喚をしてる…それだけじゃない！魁のファイールドには攻撃力5700のドラゴン！

最後のドラゴンは…あれどう見ても【青眼の究極竜】だよな?

「さらに【切り込み隊長】を召喚！効果により手札から【ビック・ジョーズ】を特殊召喚！」

ええ！？あの鮫しらべで攻撃力1800！？強すぎだろ！

「――」**【切り込み隊長】**と**【ビック・ジョーズ】**でオーバーレイ
ネットワークを構築！エクシーズ召喚！【潜航母艦エアロ・シャー
ク】！

「！させるか！罠発動【奈落の落とし穴】！相手が攻撃力1500

以上のモンスターを召喚、反転召喚、特殊召喚した時そのモンスター
を破壊し除外する！」

「くつ！防がれたか！ホープレイに対して使わなかつたから無いと
思つてたけど…」

「あいにくそつちが原作効果を使うのをわかつてゐるんでね…恐らく
【潜航母艦エアロ・シャーク】が出ると思つて使わなかつた」

原作効果？

エラッタとかそんな感じの事かな？

「しようがない…ホープレイの効果発動！オーバーレイユニットを
すべて取り除きエンドフェイズ時まで攻撃力を1500ポイントア
ップ！そして究極竜^{アルティメタゴン}の攻撃力を3000ポイントダウンさせる！オ
ーバーレイチャージ…！」

その効果強力じゃないか！

【ブラック・マジシャン】、【青眼の白龍】^{ブルライズ ホワギョウ}の攻撃力さえ0にして
自分は攻撃力4000で攻撃なんて…強力すぎるだろ！

「これで終わりよ！ホープレイで究極竜^{アルティメタゴン}に攻撃！ホープ剣カオスス
ラッシュ…！」

ホープレイの剣が究極竜を破壊した…
魁が負けるなんて…

「罠発動！【ガード・ブロック】…このカードは戦闘で発生したダ
メージを一度だけ0にして一枚ドロー…」

さすが魁！あんなダメージを防ぐなんて！

「決められなかつた…だけどホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラ
ッショ！」

「ぐつ！」

宗野魁 LP800

「これで並んだわ…リバースカードを一枚セットしてターンエンド」
お互いのライフは同じ…しかし攻撃力は魁のほうが上…このまま押
しきれば勝てる！

「俺のターン、ドロー！（今の光龍の攻撃力は【強者の苦痛】で5
300か…攻撃力の維持のため墓地のドラゴンをあまり減らさない
でおこう）魔法発動！【死者蘇生】！この効果で墓地より来い！【
ブルアイズルティダラゴン 青眼究極竜】！バトル！光龍でホープレイに攻撃！」

これが通れば魁の勝ちだ！

「ダメージステップ時に永続罠【燃える闘志】をホープレイに対し
て発動！」

「ま、まずい！」

「【燃える闘志】の効果！このカードを装備したモンスターは装備
モンスターの元々の攻撃力より攻撃力が高いモンスターが存在する
時ダメージステップ終了時まで攻撃力を2倍にする…」

攻撃力が…

【青眼の光龍】
ブルアイズ シャギュラゴガ
攻撃力5000

【CNO・39希望皇ホープレイ】攻撃力5000

並んだ！

「行け！ ホープレイ！ ホープ剣力オスマラッショ！」

「くつ！ シャイニングバースト！」

お互いのモンスターは攻撃しあい打ち…

「なら究極竜でホープに攻撃！」

これも通れば！勝てる！

「罠発動！【ダメージ・ダイエット】…このターン自分が受けるすべてのダメージを半分にする…ぐつ…」

あちやー防かれたか…でもこの元ニヒルめちゃくちや「フケ」「フケする

天城サクラ LP400

「防がれたか…ならメインフェイズ2！俺は魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【青眼の光龍】と【伝説の白石】が2体【青眼の白龍】2枚をデッキに戻しシャッフル！そして2枚ドロー！究極竜を生贊に…再びこのフィールドに光をもたらせ！特殊召喚！【青眼の光龍】を特殊召喚！！墓地のドラゴンは3体減り【強者の苦痛】で

攻撃力ダウン…攻撃力は4100…これでターンエンド

「私のターン、ドロー！再びホープをエクシーズ素材にしてエクシーズ召喚する！カオス・エクシーズエンジ！再び姿を現せ！混沌を光に変える使者！【CNO-39希望皇ホープレイ】！」

また出た！ホーブレイ！

「そしてホープレイの効果発動！ オーバーレイユニット1つ取り除いてこのカードの攻撃力を500ポイントアップする！ 攻撃力ダウントレード【シャドウブレイブ】は光龍には効かない… オーバーレイチャージ！ さらに装備魔法【巨大化】！ これによりホープレイの元々の攻撃力を倍にする！ よつて攻撃力5500！」

まずい！これだと魁が負けちまう！

「これで終わりだ！ ホープレイで光龍に攻撃！ ホープ剣力オススラ
ンショウ！」

今度こそ魁は終わりだ！

「…ふつ…今度はそつちが引っ掛かる番だぜ…!」

何！？

まさか魁にはこの状況を開拓するカードを持っているのか!?

「いくらフィールドにリバースカードが無くても手札にも注意しろ

よ！手札から【オネスト】の効果発動！

「そんな！？」

「【オネスト】の効果！自分フィールド場の光属性モンスターが相手モンスターと戦闘をおこなった時発動できる！手札のこのカードを墓地に送り戦闘してする光属性モンスター…【青眼の光龍】の攻撃力に戦闘されてる相手モンスター…【CN-0.39 希望皇ホープレイ】の攻撃力…5500を【青眼の光龍】に加える…」

攻撃力が9600！？

「迎撃しろ！光龍！」光滅の…シャイニングバースト・ストリーム

「うわあああああああ！」

天城サクラ LP-3700

「サクラ。俺の勝ちだ！」

「そうね。いい決闘だつたわ」

くう――つ――早く魁とデュエルしてえ――

「翔! 返るぞ!」（ボソッ）

「えっ？ 待ってよ、アーチー！」（ボソッ）

早く帰つてテツキ調整して魁に挑むぞーーー！

第4話 究極超えし光VS混沌を光に変える使者ーー（後書き）

はい、とこう訳で勝者は魁でしたーー！

魁「いやー実際やつて疲れた…」

ちなみに魁が使った『デッキ名は【白き龍の逆襲】で一応ガチデッキ。サクラが使ったのは私の活動報告で書いたデッキ【ホープレイデッキ】をオリカ、禁止カードを入れた感じのデッキです。

魁「では次回予告ーー！」

今日はのんびり学園生活！
えつ？翔がない？
よしだつたら探しに行こうぜ！

次回！【翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！】

次回もお楽しみに！

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグテュエル！（前書き）

はあー…

黒野「どうした作者？」

おい黒野。お前はまだ「」の前書きに出でちゃダメ。

黒野「そうかい。では」

魁「じゃあ代わりに俺が。どうした作者？」

…今回だしたコンボって成立するのかなって…

魁「どうだらうね…オリカビッシュのコンボだから不明だよ」

ですよね…

まあ、とにかく今回の最強カードに移ろつかー

魁「そうだな。今回の最強カードは【ドゥーブルパッセ】！」

このカードは自分モンスターが相手モンスターに攻撃された時発動！その攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象にされた自分モンスターは直接攻撃する！

モンスターを守りたい時以外に使いどいはあるかな…？」

ちなみに効果は漫画版です。でも確かアニメ版もこんな感じだよな

…？

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！

今日は珍しくまともなデュエルの授業……

……なんだけどみんなの頭の奥しさに俺泣きそつ……

だってさー……カウンター罠のスペルスピードは？という問題がでたら皆わん一齊にスペルスピードって何だ？っていいだしなんだぞ？次に【死者蘇生】にチーンして【サイクロン】を発動するはどうなる？という問題もチーンって何だ？とも言い出した。とりあえず生徒が答えたんだがその答えは「【サイクロン】で【死者蘇生】を破壊すると【死者蘇生】の効果は無効化されます」と言つた……お前ら馬鹿だろ。【サイクロン】で【死者蘇生】の効果は無効にできないよ。

……ちよつと待て！なんで先生正解って言つてんのー？間違ってるよ！先生も間違えてどうする！

こんな感じで授業が進んで今度は俺が指された

「宗野カイー。ここ」の問題、フィールド魔法にツイーで説明、及び有効な使い方をだすノーネ

フィールド魔法か……簡単だな

「フィールド魔法はフィールド場に置く場所が2つある。この場所をフィールドカードゾーンと言つ。表側フィールド魔法はフィールド場に1枚しか存在できない。フィールド魔法は相手フィールドにも影響を及ぼす。例えばフィールドが【海】の状態の時自分が魚族を使つていれば攻撃力はアップ。相手が炎族を使つてれば攻撃力ダウン。逆に自分が炎族を使って場合攻撃力がダウン。なおフィールド魔法をサーチできるカードはいくつかあります。フィールド魔法だったらデッキから何でもサーチできる【テラ・フォーミング】手

札にある【アトランティスの戦士】を墓地に送りデッキから【伝説の都アトランティス】があります。この通りフィールド魔法はデュエルの勝敗を決めるのではなくデュエルの流れを自分に変えるためを使います。なおフィールド魔法はさまざまカードがあります。例えば基本の攻撃力、守備力を上げるカード【森】や【荒野】【闇】これらは自分が使う種族がフィールドにあつてている場合に使われます。守備力を下げる代わりに攻撃力をさらに上げるフィールド魔法【ガイアパワー】や【ウォーターワールド】があります。これらのカードが主にデュエルの流れを大幅に掘むために存在します。ただしフィールド魔法は種族に関係するものばかりではありません。例えば遊城十代が使ったカード【摩天楼 スカイスクレイパー】や天城サクラさんが使った【竜の渓谷】があります。前者のフィールド魔法は相手に攻撃力のアドバンテージを与えてく自分が【E・HERO】デッキを使えば一方的にフィールド魔法の効果を得られます。後者のほうはフィールドに影響は与えませんが手札、デッキに影響を及ぼします。デッキから↓4以下の【ドラグニティ】と名のついたモンスターを手札に加えられますしもう一つの効果、デッキからドラゴン族モンスターを墓地に送るという効果。これは主に【ドラグニティ】専門のドラゴンを送つたり一般的な考えで使うなら【ダイヤモンド・ドラゴン】を落として【死者蘇生】を使うといいですがこのやり方はあまりオススメしません。何故ならどちらの効果もこのカードの発動時に手札を1枚減り効果使用に手札をさらに1枚減りそして【死者蘇生】の使用で手札がさらに1枚減ります。手札を3枚も使用して出てくるのが【ダイヤモンド・ドラゴン】では手札の消費枚数と出す価値が合いません。だからこのコンボはオススメしません。後皆さん勘違いしやすい事をいくつか。【マインドクラッシュ】で【伝説の都アトランティス】を選択してアトランティスが手札にあつても墓地には送られません。何故ならアトランティスの効果文の最初にこのカードは名は『海』として扱うという効果があるからです。この効果はデッキ、手札、フィールドに関

係無くどこにあってもルール上『海』という名前で扱われます。これについて【マインドクラッシュ】で宣言したアトランティスは『海』という名で扱われるので無効にされます。アトランティスを【マインドクラッシュ】で墓地に落としたい場合『海』と宣言しなければいけないので、注意を。なお【アトランティスの戦士】で【伝説の都アトランティス】がサーチできるのは恐らく特別処置がされてるかと思われます。さらにデッキ作成でも『海』として【伝説の都アトランティス】と【海】で3枚ずつデッキに入れれないのと【氷帝メビウス】や【雷帝ザボルグ】の効果は発動されません。これは【帝】モンスターの共通効果、このカードが生贊召喚に成功した時…と書かれているので【死皇帝の陵墓】の召喚された【帝】は生贊召喚ではなく通常召喚なので効果は使用できません

言つた後そのままドスッと席に座る俺。眞面目に書いていやがる……とは言つてもオベリスクブルー男子は全員書いてないとと思うけど。

しかもまさかクロノス教諭までメモ帳だして書くとは……こんなのがデュエルモンスターの常識だろ？最後のアトランティスと【帝】以外…しかも最後に言つたやつ知っている人は知つているし。なんでだろ？この世界のレベルが低くて涙が出ちゃいそう……

「メモメモ…今日は貴重な情ホーウ、ありがとうナーネー！では授業をシユーリローするノーネー！では各自次の授業の準備をしつくノ一ね！」

そう言つて教室からでたクロノス教諭

こうなつたらいつそ今学期中に俺への用事で来てくれる海馬社長に授業レベルを上げてもらおうかな…

しかし本当にカード多いな。【ダイヤモンド・ドラゴン】が46枚
…海馬社長より持つてどうする…

…いつそオーフショーンで売るか？確かにこのカードの値段つて【真紅眼の黒竜】だと現実世界で数百円、こっちだと数十万だろ？

サポートカードが無ければ使えにくい【真紅眼の黒竜】を数十万で買うか普通？これだつたらまだ数万円で機械族でLV5で攻撃力2500の【サイバネティック・ワイバー】の方が使えるわ！！
試しにオーフショーンで【ダイヤモンド・ドラゴン】をオーフショーンにだそう。値段は200円からスタート……つていきなり2200円になつた！？次に26000円！？ちょっと待て！みんな早過ぎ…どうしてこんなカードに万を入れる…って今度は10万になつた————おかしい！金銭感覚おかしいだろ！！こいつらは全員馬鹿だ……

気晴らしにデッキ作りしようとしたら通信端末にメールが入つてゐる
…誰からだ？

翔をオベリスクブルー女子寮で預かってるわ。助けたければ早くきてほうがいいわ。

b y 天城サクラ

ああー… そういうえばそんなイベントあつたなー…
確かクロノス教諭が偽ラブレターを書いたんだけど入れる場所を間

違えそれで翔が行つて捕まつた…こんな感じでいいんだっけ？
とりあえずテックを用意するか…今日はどんなテックに使用かな…

「おーい…魁いるか！」

「こーむだー！」

やつぱり十代にもきてるか…とにかく卑くどう

「魁！翔が捕まつた！」

「ああこいつにもそのメールがきてた。早く行くぞー！」

「おつかー！」

しかし…何故サクラからメールが…
まさか明日香と一緒に風呂入つてるとこ見られたか？
いや、それだとメールの文章が少しおかしい…

とにかく行けばいいか

ブルー女子寮

現在小船をギシギシこいでブルー女子寮の裏側に来ています。しかし暗くてよく見えないなー…翔はどこだ？

「おーい…翔、どこだー！」

「リリッスよ、アニキ！」

「やつと来たのね」

あら翔がみのむしみたいに縄でグルグルに縛られてる… そのすぐ近くに仁王立ちして明日香とその横にめんどくせうに立っているサクラ。そしてほか2名
あいつら2名に名前なんてあつたけ? 仮にあつたとしてもモブだろうな…

「おい明日香! 翔を返せ!」

「ふつ… 返して欲しければ、十代! デュエルしなさい!」

でたよ。この世界特有のルール、デュエル万能説!
デュエルで勝てば罪を免除するし情報を得るにもデュエルだし最終的にはどう考えてもリアルファイト要員の人達もデュエルで決着つけるし…… もうホセとかは恐ろしいほど力あるし… だって誰かのリアルダイレクトアタックのDホイールで攻撃を難なく片手で受け止めたからな? あいつは肉体暴力のほうが強いと思うぞ… と話がずれたな。とにかくデュエルでかたをつけるのか…
うん? それだと俺呼ばれた意味無くない?

「おい。俺やることないぞサクラ」(アイコンタクト)

「私はただ明日香があんたともデュエルしたいって言つから誘つたんだけど」(アイコンタクト)

なるほど。となると…

「十代! それに魁! あなた達2人で私に勝てた場合翔君を返してあ

げる！

「ちよつと待て。それ面倒だからタッグデュエルにしねえ？」

「「タッグデュエル？」」

よし。早く帰つてテックキ作りたいからなるべく早く帰るための手段…タッグデュエルにくこついてきたぞ！

「わう。ここで懲々2回戦うよつー回で済ませたほうが効率いいからさ。俺と十代でタッグ、明日香はサクラと組めばいいだろ？」「

「ちよつと待つてーそれには異議が…」「それ面白そりじゃんーやううぜ明日香ー」「ちよつと十代ー！」

「私は少し反対かな…前に魁とデュエルしたから…今は十代や明日香と戦いたいし…」

ちよつ…サクラ…邪魔しやがつて…

「それを言つなら俺だつて魁とサクラとデュエルしてえよーーー！」

「じゃあそれ言つならタッグデュエルのパートナー交代しない？そうすれば私は明日香と十代と戦えるし十代は私と魁に戦える…いい話でしょ？」

ん？段々話がちよつとおかしい方向になつてないか？

「わかったーそれでいいぜー！」

「ちよ、ちよっと待つて！私は十代と魁とデュエル……別にいいじゃない？明日香も私と戦つて見たかつたんでしょ？」うひ…

勝手に話がどんどん進んでつてる……まあ俺は誰とでもいいけど…

「じゃあそれで決まり！俺と明日香対魁とサクラでタッグデュエルだ！」

「はあー…………もう別にそれでいいわ。ただし手加減しないわよ?」

「…………じゃあ、始めようか」

とりあえずペアが決まつたな……俺とサクラ／＼十代と明日香
ルールはお互いライフ共有でライフは8000
ターン順番はサクラ 十代 僕 明日香 サクラという順番
そして最初プレイヤー、つまりサクラは攻撃できないが十代以降から攻撃できる
フィールド、墓地、除外は共有するが手札、デッキ、エクストラ／＼
ツキは共有しない…
簡単にいうとTFと同じルールだ

「……では始めるか！」

「…………デュエル
決闘！！！」

「私のターン、ドロー！…リバースカードを2枚セットしてターン
エンド！」

……昨日のデッキとは違うな…今日はカウンター系か?

「俺のターン、ドロー！俺は【E・HEROスパークマン】を召喚！行くぜ！スパークマンでダイレクトアタック！」

「リバースカードオープン！【ヒーロー見参】！相手モンスターの攻撃宣言時相手は手札をランダムに1枚選択する！さあ、選びなさい！」

手札が4枚もある状態で【ヒーロー見参】？なにか上級モンスターの召喚を狙っているのか？

「俺は一番左のカードを選択する！」

「左のカード…それは【レアメタル・ドラゴン】…」

確かにあれって効果が一番短いモンスターですよね！？効果はこのカードは通常召喚できないという一言で書かれた効果を持つモンスターですよね？

「くつ…攻撃をやめる！スパークマン→メインフェイズ2で俺はリバースカードを1枚セットしてターンエンド」

俺のターンか…リバースカードを確認するか…【ドゥーブルパッセ】？

何故こんなカードが？いったい何を狙っているつもりだ？

「俺のターン、ドロー！手札の【ゾンビキャリア】を墓地に送り【THE・トリックキー】を特殊召喚！そして魔法カード【おろかな埋葬】を発動！デッキから【チュニング・ソーター】を墓地に送る！そして【ジャンク・シンクロ】を召喚！効果により墓地から【チュニング・ソーター】を特殊召喚！行くぞ！LV1【チュ

「一ーング・サポーター】にレバ4【ニアメタル・ドラゴン】にレバ3【ジヤンク・シンクロ】をチューニング！」

「「まさか魁もシンクロ召喚するのか（するの）！？」」

「黒き翼に宿りし力！その力をここに現せ！シンクロ召喚！舞い上がり！【ブラックフューザー・ドラゴン】！【チューニング・サポート】の効果で一枚ドロー！」

うーん……やっぱまだこのデッキは回りにぐうな……

「手札にあるカードを一枚デッキトップに置き墓地より【ゾンビキャリア】を特殊召喚！」レバ5【THE・トリック】のレバ2【ゾンビキャリア】をチューニング！数々の武器を手にする竜よ！その力をここに解き放て！シンクロ召喚！機械竜【パワー・ツール・ドラゴン】！【パワー・ツール・ドラゴン】の効果発動！デッキから装備魔法3枚選択しその内1枚をランダムに手札に加える！パワー・サーチ！」

来たカードは……

「……装備魔法【ビックバン・ショート】を【パワー・ツール・ドラゴン】に装備！攻撃力を400ポイントアップする！バトル！【パワー・ツール・ドラゴン】でスパークマンに攻撃！ビックバン・ブレイク！」

「罠発動！【ヒーローバリア】！これでパワー・ツールの攻撃は無効だ！」

「追撃しろ！【ブラックフューザー・ドラゴン】！ノーブル・ストリ

「ム！」

「ぐつ…スパークマン！」

十代&明日香 LP 6800

「リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

「私のターン、ドロー！手札から【融合】発動！手札の【エトワール・サイバー】と【ブレード・スケーター】を融合…現れなさい！【サイバー・ブレイダー】！」

「うおー全身タイツのバイザーをつけた女性…まさしくアレは【サイバー・ブレイダー】！確かに一つの効果つて少し弱いけど扱いによつては強くなると言われてる！でもどうやって使うんだろう？」

「【サイバー・ブレイダー】の効果！相手フィールド場のモンスターが2体の場合攻撃力を倍にする！パ・ド・トロワ！【サイバー・ブレイダー】でパワー・ツールに攻撃！」

「させるとと思うか？カウンタ・罠【攻撃の無力化】…相手モンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させる…」

「くつ…私はリバースカードをセットしてターンエンドよ

「私のターン、ドロー！…【翻弄するエルフの剣士】を召喚…」

「モンスターが3体になつたことで【サイバー・ブレイダー】の効果は変化する！パ・ド・カトル！」

これで【サイバー・ブレイダー】の効果でパワー・ツールは【ビッグバン・シート】の効果を失い攻撃力は元に戻る…それでも【サイバー・ブレイダー】は倒せるけど

「バトル！【ブラックフェザー・ドラゴン】で【サイバー・ブレイダー】に攻撃！ノーブル・ストリーム！」

「罠発動【ドウーブルパッセ】！このカードは相手モンスターの攻撃を直接攻撃（ダイレクトアタック）として受け攻撃対象にされた自分モンスターは相手プレイヤーに直接攻撃（ダイレクトアタック）できる！」

明日香お得意の【ドウーブルパッセ】。このカード未OCGカードだから強制的に俺の禁止制限では制限いきだけどこれ壊れ効果じゃないからな……普通の禁止制限だと恐らく無制限だろ

十代&明日香 LP4000

「ぐつーお返しよー！」

魁&明日香 LP6900

「くつ……だけど次の攻撃は防げない！パワー・ツールで【サイバー・ブレイダー】に攻撃！クラフティ・ブレイク！」

「【サイバー・ブレイダー】が！？」

十代&明日香 LP3800

「そしてエルフの剣士で直接攻撃！彗劍斬！」

「ぐつ……」の程度！

十代&明日香 LP2400

「ふつ……リバースカードをセットしてターンエンド！」

何か企んでる……サクラ……何をする気だ！？

「俺のターン、ドロー！魔法カード【強欲な壺】！カードを2枚ドロー！魔法カード【戦士の生還】！これにより墓地からスパークマンを手札に加える！そして【融合】発動！手札のスパークマンとクリーマンを融合！来い新たなヒーロー！【E・HEROサンダー・ジャイアント】！サンダー・ジャイアントの効果！このカードの召喚時このカードの攻撃力より元々の攻撃力が低い相手モンスター1体を破壊する！ヴェイパー・スパーク！」

これによつて破壊されるパワー・ツール……

「さらに手札から魔法発動【融合回収】フュージョン・カバー！これにより墓地から融合素材になつたスパークマンと【融合】を手札に加え【融合】発動！手札のスパークマンとエッジマンを融合！来い新たなヒーロー！【E・HEROプラズマ・ヴァイスマン】！プラズマ・ヴァイスマンの効果発動！手札を1枚墓地に送り【ブラックフェザー・ドラゴン】を破壊！スパーク・クラッシュ！」

くそ！まさか……ここまで展開するとは……さすが十代。見事なチートドローだ！

「行け！サンダー・ジャイアントでエルフの剣士に攻撃！ボルティック・サンダー！」

今、俺は確かに見た。サクラの顔が一瞬にして悪役じみた満面の笑みを……い、いつたい何をするつもりだ？

「罠発動！【ドゥーブルパッセ】！」このカードの効果は相手モンスターが自分モンスターを攻撃対象にした時発動！この攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象になつた自分モンスターは相手プレイヤーに直接攻撃できる！」

何故！？ここは普通【翻弄するエルフの剣士】だからそれを使わずに耐えればいいのに！？

魁&・サクラ LP4500

「ぐつ…ぐらいなさい！彗劍斬！」

「ぐあ！」

十代&・明日香 LP1000

「くそ、続けてプラズマ・ヴァイスマンド…」「何を勘違いしてるんですか？」えつ？

「この口調…まさか…？」

「今は私の攻撃の最中ですよ？」

「何言つてんだ！今は俺のバトルフェイズだぞ！お前は攻撃できない！」

「リバースカードオープン！速攻魔法【狂戦士の魂】……」

「『げつ…やつぱつ…』」「『バ、【狂戦士の魂】？』」「

まさかこんな形で成立させるとは……

「手札をすべて捨て…効果発動！このカードはデッキからモンスターが出続けるまでカードをドローし墓地に送るカード…そしてその数だけ攻撃力1500以下は追加攻撃できる！」

うん、やっぱり出鱈目の効果だよね。そして恐らくデッキはほぼフルモンスターなんだな…

「まあ行くわよー！まず一枚目！ドロー！モンスターカード【レッグル】を墓地に送つて追加攻撃！」

「ぐわあああああーー！」

十代&明日香 LP・400

「2枚目ドロー！モンスターカード【バトルフューダー】！」

「ぐわあああああーー！」

十代&明日香 LP・1800

「ドロー！モンスターカード【トライヒューティア】！」

「うわあああああーー！」

十代&明日香 LP-3200

「ドロー！ モンスターカード！ ドロー！ モンスターカード！ ドロー！ モンスターカード！」

「ぐわああああああああああああああ」

十代&明月香 LP - 8800

す」「…え、止める？無理無理あんだけ調子に乗つてると、ひらへ止めに掛かつた瞬間 H A N A S E ! ! とか言つだらう。誰かが止める、または止まるまで待とう

「ドロー！ モンスター カード！ ドロー！ モンスター カード！」

十代&明日香 LP-25600

「ドロード…… 験カード【ドゥーブルパッセ】。よつてここまで」

Γ Γ Γ Γ

みんなあまりのオーバーキルに唖然としてるよ…十代なんかく

「うこす物で絶じる」

「じゃあ明日番。翔はつれて帰る」

「……え、ええい一わ。今日は楽しそうハルだつた……わ……？」

「うん普通やうこひ反応するよな。」

「いしょつと……案外十代って軽いんだな……船に乗せ翔も乗せ退散、
退散……」

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！（後書き）

うん、ちょっと無理矢理だよね……わかってる。
でもこのタッグで組ませたかつたんだ！

魁「それにドゥーブルでバーサーカーできるのか？」

ですよね……ちなみにエルフの剣士でバーサーカーした理由は最初の遊戯王でエルフの剣士は散々な目に合ってそれでグレードバーサーカーしたと言う裏話があります……では次回予告！！

次の日は月1テスト！？

たくつ……対戦相手は万丈目か…
よし！ここでネタッキ使うか！

次回！【宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！】

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！（前書き）

どうも雷光です。

まあタイトルで今回使うデッキわかりますよね？

魁「当たり前だ」

そうだよね。では今回の最強カードは…？

魁「今回の最強カードは…【シールド・ワーム】？簡単にデッキ破壊するには普通【ニードル・ワーム】じゃないか？まあいいか…このカードは召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時守備表示になる。さらに自分フィールド場に表側表示で存在する昆虫族モンスターの数だけ相手のデッキのカードを墓地に送る。

この効果は相手ターン特殊召喚しても使えるから結構使えると思うぞ」

作者はデッキ破壊は好きですよ。でもいつか自分に対してのデッキ破壊のデッキを作りたい…

第6話 宇宙人襲来！脅威のテッキ破壊戦術！

今日は月1テストか…
試験問題の時のようにおかしい問題でてこないよな…
とりあえず早く行こうか

デュエル・アカデミア内

うん、ちょっと早く着いたちゃったね。テストまで残り10分…
何してようかな…

とりあえず実技テストではまだ使ってないテッキを使おう。

使ってないテッキは…ローレベル、ハンデス、ロック、エクゾディア、エクシーズ…そして新たな入れたテッキ破壊、無限ループ、3つ買いスターター テッキ改良版…

やっぱり3つ買いスターターはいいよね。3150円でそれなりの強さを誇るテッキが作れるし
どれにデッキ使おうかな…

ほかにも使いたいカードがあるけどもうまく作れない…例えば【ゲート・ガーディアン】【セイヴァー・スター・ドラゴン】【ライフ・ストリーム・ドラゴン】【機皇神マシニクル】とかその辺活躍させたいな…

とか考てる間に筆記試験が始まつた。じゃあ頑張ろうか！

第1問

【白魔道士ピケル】が被つている帽子は何の動物でしょう？

……だからこいついう問題やめてくれません?

第2問

永続罠【最終突撃命令】のカードイラストに兵士は何人いる?

……わかるか！こんな問題！

第3問

罠カード【針蟲の巣窟】に蟲は何体いる？

巣窟つてこの頃からありましたつけ？

その後もよくわからない問題が出てきた…

それでもちゃんとした問題が20問もあつてよかつた…

で現在、実技試験まで休憩タイム…どうやら新しいパックが入荷されたらしいけど俺多分持っているから買いに行きません

「魁！新しいパック買いに行こうぜ！」

十代がこっちに来た

「俺はパス。実技試験でどんなデッキを使おつか考へてるか?」

「ナニか…じゃあまた後でなー。」

「あべさま立ち去る十代…あーっと…どんなデッキを使おつかな?」

「またお悩み事?魁」

「よおサクラ。実技テストで何使おうか考へてる最中…まだ使つてないデッキを使おうと思つてんだけど…」

「ふーん…そりだードローパン買つてきたから食べる?..」

「ドローパン…それは全世界共通でデュエル・アカデミアの名物…その名の通り選んで食べるまで何が入つているからわからないパン…まさしくギャンブルパン…」

「デュエル・アカデミア名物ドローパンか…よしーーいつ貰おうついではないか!」

パシッと一俺は一つ取り勢いよく開けドローパンを食べた

「つて辛つーーー?何この辛さー?喉が逝かれまーうーーー。」

「あつそれ幻の激辛カレーロ×味。確か通常の激辛の56倍の辛さを誇る生徒の中ではハズレと名高い幻のパン…」

Kじめ…よくこんなもん製品化したなー!..

「ちなみにこの学園の中でたつた1人だけこの激辛カレーロ×を食

べれる人がいるらしいわ

誰だよその生徒！…ぜひ会ってこのパン食べさせたいね…！

「じゃあ私も実技の準備してくるね」

「どうぞ勝手に行つてくれ…たく…今後一生ドローパンなんて食わん！」

その後辛さが引き立ッキも決めた俺は十代と万丈目の戦いを見てた
んだが……

「「はあ…………」」

「?.どうして2人共ため息ついてるの？」

やつぱりサクラも同じこと思つてたか？

「サクラ、今回たまたま十代が勝ちを拾えてよかつたな」

「そうね。万丈目がフレイニングミスしなければ十代は負けてたわね」

「ちょっと2人共、どういう訳か説明して？」

あら？ 明日香はわかつてないのか？

それともVWXYZの合体を見てその前の事に気づいてないのか？

「お前見てて気づかなかつたのか？ 最初のVWの攻撃で十代のライ

フは2800になっていた。そして次のターン、XとYとZを召喚した。ここで合体してXYZにしたのが万丈目のプレイングミス

「どうして？」

「それは私が説明するわ。XとYとZ召喚してそのまま攻撃すればいくら【ヒーロー見参】を使っても防ぎきれない。だけど手札にエッジマンがあつたら別だけ……」

その言葉に明日香がそんなミスが……と言っているが気づけよ。あんなの小学生でもミスしないと思うぞ

ほかには【ハネクリボーラバ】が出た時攻撃を中止すれば次のターンVWXYZの効果使ってLV10を除外してフェザーマン攻撃……それでもこの状況が続けば十代が【ホープ・オブ・ファイフス】でも引いて自分フィールド、手札が0なので3枚ドローして原作効果バブルマンを召喚2枚ドローとか使って逆転するんだろうけど

「次は俺か。じゃあ頑張つてくる」

「じゃあ頑張つてきて」

そつまつて俺が決闘場デュエルフィールドに行くと……

「くっ……十代には負けたが魁！貴様だけには勝つてやる！」

万丈目がいるんですよ……何故？

「あの時散々馬鹿にして来なかつた恨み……ここで晴らさせてもらひぞ……」

馬鹿にして来なかつた恨み……？　ああ……そういえばメールで呼ばれてたな……でも俺サクラのほうに行つて行けなかつたんだよなよしデッキホルダーからデッキを取り出しディスクにセット……

「　「^{デュエル}決闘！！」」

明日香　ひめか

今まさに魁と万丈目君のデュエルが開始された。先攻は魁から今回はどうなんデッキを使うのかしら？

「俺のターン、ドロー……」

なんかすじい困惑顔になつてるんだけど……もしかして手札事故？

「モンスターをセット！リバースカードを4枚セットしてターンエンド！」

いやこれは試験の時と同じ動き…といつ事はまた銀河眼ギャラクティクスを出すの？

「ふん！早速手札事故か！俺のターン、ドロー！魔法カード【打ち出の小槌】を発動！手札のこのカードを含む手札のカード3枚をデッキに戻し3枚ドロー！」

また出たわね。今度は魁やサクラが言つていたプレイングミスをしなければいいんだけど…

「【× ヘッヂ・キャノン】を召喚！さらに永続魔法【前線基地】
ー】の効果で手札から【× ドラゴン・ヘッヂ】を特殊召喚！ヘッ
ド・キャノンとドラゴン・ヘッヂを除外して合体召喚！【×× ド
ラゴン・キャノン】！行け！【×× ドラゴンキャノン】－ハイパ
ー・ディストラクション－」

「罠発動！【和睦の使者】！このターン自分モンスターは戦闘では
破壊されずこのターン発生する戦闘ダメージは0となる！そしてセ
ットモンスターは【メタモルポット】－【メタモルポット】の効果
発動！お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドローする！

「なんだと…？くそ！俺の【× メタル・キヤタピラー】が…」

その言葉を聞いた瞬間魁は呆れ顔になった。なんで？

「く…ドロー！リバースカードを2枚セットしてターンエンデー！」

「俺のターン、ドローすまん、万丈目…俺の勝ちだ」

魁が勝利宣言？といふことはこのターンで万丈田君を倒すつもり？

「俺はモンスターをセット。そしてさらに魔法カード【太陽の書】
！これでさつきセットしてモンスター【ニードルワーム】の表示形
式を表側攻撃表示にする！【ニードルワーム】の効果発動！相手の
デッキの上のカードを5枚墓地に送る！」

「はっ！それがどうした！」

確かにそんな効果どうって事ないわ。でもサクラはあちゃーって顔

してるし…魁は何かをするつもつなの?

「リバースカードオープン！【リビングデットの呼び声】…この効果により【メタモルポッド】の効果で墓地に送られた【シールド・ワーム】を特殊召喚！【シールド・ワーム】の特殊召喚に対してもから速攻魔法【地獄の暴走召喚】を発動！」

【地獄の暴走召喚】？いったいどんな効果かしら？

「【地獄の暴走召喚】の効果！自分が攻撃力が1500以下のモンスターを特殊召喚し相手フィールドに表側表示モンスターがいる時発動！相手は自分モンスター1体を選択しそのモンスターと同名モンスターを手札、デッキ、墓地から特殊召喚する！そして自分は特殊召喚されたモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！ただし【アライドラゴン・キャノン】は融合モンスターだから特殊召喚できない」

「ふつ！雑魚を並べてどうする…」

「今からお前はその雑魚にやられんだぜ！デッキから【シールド・ワーム】2体を特殊召喚！【シールド・ワーム】の効果発動！このカードの召喚、反転召喚、特殊召喚時このカードは守備表示になる！さらに自分フィールドに存在する昆虫族モンスターの数だけ相手デッキの上のカードを墓地に送る！俺のフィールドに昆虫族は4体！そして特殊召喚した【シールド・ワーム】もこの効果が適用されるから合計12枚を墓地に送つてもいいぜ…」

「まさか…この戦術…」
「まさか…この戦術…」

「やった気づいたか…このデッキはデッキ破壊だ！そして俺は…」

4の【シールド・ワーム】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！狂いし発条を修正する力！【発条機甲ゼンマイスター】…

「…………エクシーズ召喚！…？」

魁はシンクロ召喚を行うからエクシーズ召喚もできると思つてたけど…まさか本当に使うなんて…

「さらにゼンマイスターの効果！1ターンに一度オーバーレイユニットを1つ取り除いて【メタモルポット】を裏側守備表示に変更する！そして手札から魔法カード【死者蘇生】…これにより墓地から【シールド・ワーム】を特殊召喚！【シールド・ワーム】の効果発動！今度は3枚墓地に送る！」

「そんな…俺のデッキが…」

「そしてさらにレバ4の【シールド・ワーム】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！狂いし発条を修正する力！【発条機甲ゼンマイスター】…そしてゼンマイスターの効果発動！1ターンに一度オーバーレイユニットを取り除き今度は【ニードルワーム】を裏側守備表示に変更する！エンドフェイズ！ゼンマイスターのもう一つの効果！このターン自身の効果で裏側守備表示にしたモンスターを表側攻撃表示にする！これにより【メタモルポット】と【ニードルワーム】を表側攻撃表示に変更！」

「あ……ああ……」

「まず【メタモルポット】の効果発動！お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドローする！次に【ニードルワーム】の効果発

動！相手のデッキの上のカードを5枚墓地に送る！』

万丈目君のデッキが…

「俺の……デッキが……0……」

『……し、勝者宗野カイー……』

デュエルが終わった瞬間それくまと逃げ出した魁……まさかこじまで強いとは…

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！（後書き）

今回はつまらない話ですね。

ただの「デッキ破壊ソリティア…かな？」

今後は「デッキ破壊の出番ないかも

では次回予告！

今日も今日で楽しい学園生活！

怪談話をしてみんなで探検に行こう？

よし話乗つた！

次回！【VSタイタン！悪魔と天使の大決戦！】

次回もお楽しみに！！

魁「そして次回ついにストックが切れる！」

それはヤバイ！！

第7話 √Sタイタン－悪魔と天使の大決戦！（前書き）

魁「まあ大決戦といつほど派手な戦いではないと思つがな」

……ズー——ーン……

……ストックが切れたな……やばいな……

魁「そんなに前書きが落ち込んでると見てくれてる人が右上のバツを押すぞ！」

そうだな……

……では！心を再起動させ！魁！今回の最強カードは！？

魁「オッケー！今回の最強カードは【デビルマゼラ】！」

このカードは通常召喚できない。このカードは【万魔殿 悪魔の巣窟】があつて自分フィールドに表側表示で存在する【ゼラの戦士】を生贊にささげて特殊召喚できる！

このカードが特殊召喚に成功した時相手の手札を3枚ランダムに墓地に送る！この効果は【万魔殿 悪魔の巣窟】がないと発動できないけど召喚時限定なのでなんか微妙効果だぞ！』

【デビルマゼラ】誰かに盗まれました。まあ今はドラグやジャンド使つからいいんだけど…

諸事情によりデュエルを少し変更

第7話 √Sタイタン！悪魔と天使の大決戦！

「いつも皆様魁です。前回のデッキ破壊はやりすぎた…以後反省
そこで今十代達と特殊な怪談話をしてるんですが…」

「なにこれえ？またエクシーズモンスターかよ」

「あちやー…これで魁は3回連続バスか…魁の話も聞いてみてんだ
けどなー…」

「僕は「めんツス」

「俺もなんだな」

そう…この怪談話…デッキから引いたモンスターの「」の数と同じ
「」と思われる怪談話をしなければならないのだが…。そう
エクシーズモンスターは「」ではなくランク。そこで俺だけエクシ
ーズモンスターを引いてバス…俺だけハブられてる…

「みんな…何してるんだニーヤ？」

「うわあ！大徳寺先生！」

俺も一瞬ビックリした！いきなり出てこないでくれ、大徳寺先生！

「今みんなと怪談話してるツス」

「怪談話かニヤ…」

そう言つて大徳寺先生はカードをめくつた… L V 1 2 【F・G・D】
ファイブゴット ドラゴン

?俺入れた覚えねえぞ。仮に誰か持つてたとしてもこの世界だと數
千万するぞ?

「みんなこういつ話聞いたことがあるかニヤ?」

十代はワクワクしながら大徳寺先生をほうに行き翔と隼人はすでに
壁側に行きビクビクしている…お前らじでじるの早過ぎ!…

「ニニニデュエル・アカデミヤには昔、特待生寮があつたニヤ」

その後大徳寺先生の話は続き十代はワクワクしたまま聞き翔と隼人
は壁側で耳を塞いでいる

まあ怪談話はいたつてシンプル。その特待生寮で行方不明者が出来た
らしい

…で大徳寺先生が立ち去つた後好奇心旺盛な十代が一言

「よし!その廃寮に探検しに行こいつぜ!」

「俺もその意見には賛成。で翔、隼人お前らがどうする?どんな返
事しても拒否権は無いがな」

「ひ、ひどいッス!」「そなんなんだな!」

「「じゃあ廃寮の探検に行ってみよう!…」」

実は俺怪談話とか夜の学校探検とか好きなんだよ!…
さあーて、準備準備…

という訳で廃寮に着いたんですが、原作だとここで明日香と会うはずなんだけど……俺が入った事で時間がズレて鉢合わせしなかつたのかな？

しかし見事な壊れよう……窓ガラスは割れところびに蜘蛛の巣
廢寮越えてドラキュラ城になつてんじやないか？

「アーキーもう帰らうよ！」

「いいじゃん！早く行こうぜー。」

てかこの廃寮に何があるかな？死体は嫌だけどミイラとかあるといな！

「うわ……真つ暗ッスね……」

「氣味悪いんだな」

「氣味が悪いから」Jを面白いんだろう？
それをわかつてくれないとは
ん？下に[写真が]……

「 もちろん、おまえのやうなことはない。」

「この声!?」

「明日香の声だ！」

そつだー！」の写真と悲鳴で思い出した！確かにこの先には……

「みんな！声がした方向に行くぞ！」

「ちいさな… 我の知能はタイタ…」

この癖のある声……喋り方……こいつは本物の若本だ！

「そこのお……貴様らあ……特に魁と十代とか言う奴う……こいこいで我どテ
ユエルをしろお……貴様らあが勝つたら……この女を帰してやる……」

「いいぜ！受けてたつてや」「待て！十代！」これは俺にやらせてくれ！ わ、わかった（魁がすげえワクワクした顔になつてゐる……）

確かに若本と戦える最初で最後の場面だろ！」こゝは俺がやりてえ！

「魁い…貴様から来るのか…いいだろう!受けてやるつ!…ただし…闇のゲームだ!」

「いいぜ……受けて立つてやる、闇のゲーム！」

まあ偽なんだけど

「決闘！」

「負けるなよ、魁！」

「頑張れ！」

「気張るんだな！」

ギヤラリー……応援してくれるのは嬉しいだけ少し黙ってくれ

「我が先攻…ドロオーー！」

あつとか言つている間に先攻とられた

「手札の【ジエネラルデーモン】を墓地に送りデッキから【万魔殿
悪魔の巣窟】を手札に加ええ…そのまま発動！」

辺り一帯が氣味悪いフィールドになつた…うん俺結構こうの好みだぞ

だけどね……今回の俺のデッキ。それとは真逆だぜ？

「そして【デーモン・ソルジャー】を召喚！リバースカードをセットしてターンエンドだあ…」

「俺のターン、ドロー！手札から永続魔法【神の居城 ヴァルハラ】を発動！そしてヴァルハラの効果発動！自分フィールドにモンスターが存在しない時手札から天使族モンスター1体を特殊召喚する！」

「なんだとおー！」

「この効果で【天空勇士ネオパーティアス】を特殊召喚！そして墓地にモンスターがいなため【ガーディアン・エアトス】を特殊召喚！バトル！ネオパーティアスで【デーモン・ソルジャー】に攻撃！」

「ぐうー！」

タイタン LP3600

「ネオパーシアスの効果で一枚ドロー－エアトスで直接攻撃！フォビドゥン・ゴスペル！」

『はああああー！』

エアトスが地面に光の剣を刺しその余波が若本に向かう…

「罠発動！【ドレインシールド】！相手モンスターの攻撃を無効にしその攻撃力分だけ自分ライフを回復させる…」

若本の周りにバリアが張られエアトスの攻撃は2つに割れ周囲の壁にぶつかった

タイタン LP6100

「これでターンエンデ」

「我のターン、ドロー－手札から装備魔法【早すぎた埋葬】を発動う…」

もつこいよ、禁止カードね。はいはい進めて進めて

「この効果によりライフを800払い墓地から【デーモン・ソルジャー】を特殊召喚！さらに【デーモン・ソルジャー】を生贊にしてえ…【迅雷の魔王 スカル・デーモン】を召喚！」

タイタン LP5300

「出たよ。リメイク版【デーモンの召喚】確か効果は相手のカード効果の対象になつた時だけ発動するはず

「そして装備魔法【デーモンの斧】をスカル・デーモンに装備！これで攻撃力は3500だ！行け、スカル・デーモン！【ガーディアン・エアトス】に攻撃い！怒髪天昇撃！」

「くつ…くそ…」

魁 LP3000

「そしてライフを減ることでこいつの体は消えるう……リバースカードをセットしてターンエンドだあ…」

俺は光を見ない為に目を瞑り光がやんだら目を開けた。十代達がなんか消えてるとか言つているけど無視

「俺のターン、ドロー！【ジエルエンデュオ】を召喚！そして魔法カード【二重召喚】デュアルサモンを発動！このターンもう一度通常召喚を行える。そして【ジエルエンデュオ】は天使族・光属性モンスターを生贊召喚をする時のモンスターは1体で2体分の生贊にできる…」

「なんだとお…！」

「【ジエルエンデュオ】を生贊にして【マスター・ヒュペリオン】を召喚！ヒュペリオンの効果発動！墓地の【ジエルエンデュオ】を除外してスカル・デーモンを破壊！」

「スカル・デーモンの効果発動！このカードが相手のカード効果の対象になつた時サイコロを振り、出た目が1・3・6だったらその効果を無効にして破壊する！」

「スカル・デーモンの効果発動！このカードが相手のカード効果の対象になつた時サイコロを振り、出た目が1・3・6だったらその効果を無効にして破壊する！」

「回りだしたサイコロ……出た目は……？」

「ば……馬鹿な！」

驚いてても万魔殿^{パンティモニウム}の効果で手札に【デーモン】を加えるのね。えらい、えらい

「これでお前のスカル・デーモンは破壊！行け！すべてのモンスターで直接攻撃！」

「ぶるるるああああ……」

タイタン LP300

「ネオパ・シアスの効果で一枚ドロー。これでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！ふつ！魔法発動【命削りの宝札】！」

困った時の「都合ドロー…あれ？もしかして俺に負けフラグ？

「この効果により手札が5枚になるようにドローし5ターン後すべての手札を墓地に送るうードロー！」

にやけたぞ！今引いたカード見てにやけたぞ！

「来たあ……来たぞお……我がデッキの最強カード！！」

「そんな！？スカル・デーモンが切り札じゃないのか！？」

いや十代。誰も切り札とは言つてないぞ。勝手に思い込んでるお前の頭の^{いたずら}に俺は再び泣きそうになるぞ

「私は【ゼラの戦士】を召喚！」

ゼラの戦士…万魔殿^{パンティモーラム}…あれをだすつもりか！

「【ゼラの戦士】を生贊に……我が最強の悪魔！【デビルマゼラ】を特殊召喚！そして【デビルマゼラ】の効果発動！相手の手札を3枚ランダムに捨てるう…もつともお…貴様の手札は2枚のみだからそれを捨ててもうおづく…」

「くそ！【天空騎士パ・シアス】と【墮天使アスモディウス】が…」

…

「そして装備魔法【デーモンの斧】を【デビルマゼラ】に装備！【デビルマゼラ】で【マスター・ヒュペリオン】に攻撃い！魔界の咆哮！…」

【デビルマゼラ】が右手の爪に闇のパワーを集めそれでヒュペリオンを切つた！…えつ？これで咆哮？

魁 LP1900

「驚きすぎて声もお出ぬかあ……これでターンエンドだ」

今、俺のフィールドには【天空勇士パーシアス】1体のみ。永続魔法のヴァルハラは役にたたない。そして手札は0……面白い……これから逆転してやるよ！

「俺のターン、ドロー……リバースカードをセットしてネオパーシアスを守備表示にしてターンエンド……」

「ははは！ 我の勝ちはもうすぐだ！ ドロー！ 【デーモン・ソルジャー】を召喚！ 【デビルマゼラ】でネオパーシアスに攻撃！ 魔界の咆哮！」

「まざいぞ！」のままだと魁が負ける…

「これで終わりだ！ 【デーモン・ソルジャー】で直接攻撃！ ははは！」

「魁…………！」

「お前ら少し黙れ！！ 速攻魔法発動【収縮】！ これで【デーモン・ソルジャー】の攻撃力を半分にする！」

魁 LP 950

「ちひり……倒しそこねたか……これでターンエンドオ…」

これで正真正銘の最後のドロー。負けても死ぬ訳じゃないけど負けるのは悔しい……だから……俺は勝つ！！

「……俺の…………ターン…………！」

引いたカードは……

「来た！魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【マスター・ヒュペリオン】【エンジェルレイブ天空勇士ネオバーシアス】【ガーディアン・エアトス】【堕天使アスマディウス】【エンジェルナイト天空騎士パーシアス】をデッキに戻し2枚ドロー！」

これで俺の勝利の方程式は完成した……

「たかが手札が2枚で何ができるう？」

「手札が2枚もあれば十分だ！ヴァルハラの効果発動！自分フィールドにモンスターが存在しない時手札の天使族モンスターを1体特殊召喚する！来い！闇に墮ちし大天使の翼！特殊召喚！【堕天使ゼラート】！」

「だが攻撃力2800で何ができる！」

「こうすればいいんだよ！【堕天使ゼラート】の効果発動！手札の闇属性モンスター【クリボー】を墓地に送り相手モンスターをすべて破壊する！」

「バカなあ！！」

「よつしゃーー！」

喜ぶ十代、そして行けー！という翔、泣きながらやつたんだなと言つている隼人……別にこれ命がけのデュエルじゃないから平氣だぞ？

「【墮天使ゼラート】で直接攻撃！すべて消し去る一撃……フォーリン・ジャッジメント……！」

「ぐわあああああ！」

タイタン LP-2500

「約束通り明日香は返してもうつぜ」

「くつ…勝手にしろー。」

そう言ひてこの部屋から出て行つた若本…あつあいくつ名詞落としやがつた。とりあえず拾つておくか

「しかし楽しい探検だつたな！！」

「ちつとも楽しくない（だな）」

十代が言つた一言に翔と隼人は怒つた。まあまあ…また今度ここに来ましょうよ

第7話 ＶＳタイタン！悪魔と天使の大決戦！（後書き）

という訳で若本は飲み込まれませんでした。あんなにキャラが濃いのに原作では出番が少なすぎて私ショックでした。

魁「しかし廃寮探検楽しかった！」

では次回予告！

えつ！？廃寮に探検に行つてた事がバレ退学！？
しかし処置として十代と翔はタッグ、俺はシングルで勝てば許す！？
良いぜ！その条件受けてやる！

次回！【歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙】

次回もお楽しみに！

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編（前書き）

今回は長くなつたので前編と後編に分けちゃいました。
もしかして今回は糞展開かもしません！－いやな方は回れ360度！

魁「変わつてないじゃん」

または右上のバツを押してください
そして今回の最強カードは！？

魁「もう…！」、今回の最強カードは【ライフ・ストリーム・ドラゴン】！

このカードをシンクロ召喚する時シンクロ素材は【パワー・ツール・ドラゴン】とチューナー1体が必要だぞ！

このカードのシンクロ召喚に成功した時自分のライフを4000にする事ができる。このカードが表側表示で存在する限り自分への効果ダメージを無効にする。このカードが破壊される時代わりに自分が墓地の装備魔法を一枚除外することができる！
専用デッキを作れば結構強いぞ！

では本編行つてみよー！

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編

? ? ? Side

「宗野……魁か……」

今俺はある人物の情報を見てている
……特におかしいところはないが……

「エクシーズ……召喚……」

デュエル・アカデミアの校長、鮫島から聞いた話によると宗野魁は
謎の召喚方法エクシーズ召喚をしたらしい

俺は宗野魁の情報が入った紙をデスクに置きその隣の紙を見た

「……天城……サクラ……」

デュエル・アカデミアの試験会場で謎の召喚方法シンクロ召喚だし
た女子生徒

そして……遊戯以外に負けた事が無い俺を……倒した……ただ1人
の決闘者……
デュエリスト

俺はしばし考える結論にたした

「宗野魁は……天城サクラと同じ『転生者』か……」

見たことが無い召喚方法……天城サクラが言っていた情報……
そして銀河眼……
ギャラクティクス

これだけあれば宗野魁が転生者だとすぐわかる……

「...磯野」

「はつ！」

「ペガサスに例の物が出来てるか聞いて来い」

「はつ！」

「ふうん...面白い...」

近日中貴様の実力見せてもらおうかーー！

魁 Side

「へつくしょんーーああ...寒くなんか無いのにくしゃみとか...誰か俺の噂をしてるのか？」

それとも若本と戦った寝ずにデッキ作成していたからそれで風邪ひいたか？

しかしこのデッキ...バランスが...もつ少し特殊召喚のギミックを入れるか？

いやそれともモンスター、魔法、罠対策を入れたほうがいいか！？

どうしよう...

「おー！今すぐここを開けるー。でも無いと爆破をせんぞー！」

誰だよ来たの…

しかも今すぐ開けろ？さも無いと爆破？はあー…今時そんなの子供でも引っ掛けかかりしないって

「開く気配が無いな……よし今すぐC4爆弾を取り付けるぞ…」「

「」解…！」「

「ちょっと待て！それ死ぬぞ！扉が盾にもならずに死ぬから…！」

俺が勢いよく開けた先にC4爆弾を持っている生徒が数名…怖…！
「倫理委員会の者だ。おとなしくついてこないとこのAK-47で
撃つぞ」

「冷静に怖い」と言わないでください…！…そして銃刀法違反で捕まりますよ貴女…！…？」

「大丈夫です。倫理委員会ですから」

「どこが大丈夫なんだよ…！…
でも死にたくないから素直について行つた…」

「」「た、退学…！…？」「

『あなたがたは深夜立ち入り禁止の特待生寮に入り、中から物を破損及び盗んだという証言がありました』

確かに俺達は立ち入り禁止の特待生寮に入つた！しかも俺、中で氣味悪い頭蓋骨があつたから遊び半分で蹴つたら割れたし！帰る途中にお金（50円）を拾つたし！若本が落とした名刺を拾つたし！くそ！－反論できない！証言が完璧すぎる！－

「ちよつと待て！確かに俺達は廢寮に入つたけど物を壊したり、物を盗んだ覚えは無いぞ！」

『そりですか……ではここは制裁デュエルで決めましょうか』

「……制裁デュエル？」

デュエルで決めるんですか……明日香と同じだな

聞いた話によると十代と翔はタッグ、俺だけシングルらしい勝つたら無罪放免、負けたら退学……正確には俺だけ負けても謹慎らしい……

恐らく成績はそれなりに良いしまだ銀河眼ギャラクティクスの件があるからだな。いやー……まさかこんなところまで銀河眼ギャラクティクスが効いているとは……

そこでやるのは数日後。それまでの間にデッキ調整をしろと

「とにかくデュエルで勝てばいいんだな！－！」

『やうこりんとですね』

「よし、わかつた！翔！帰つて早速特訓だ！」

「待つてよ、アニキ！」

いやー……若いっていいね……あんな元気で……

……はつー今、俺すげえおっさんぽい事言つちゃった！！

んで帰つて来てただいまテック調整……

やはり【巨龍の羽ばたき】を入れておくか？本当なら【大嵐】入れたいけどこっちの禁止制限だと禁止だから使えない……

…手札交換のために【手札断札】入れておくか？いやむしろ【手札抹殺】を入れておくか

そんな事をしてる内に田はづんどんどん進んで行き……

制裁デュエル当日

うん！いい感じに出来てんじゃない？前と比べたら事故率が減ったぞ！ほんのすこし……

しかしこの「トック【サイバードラゴン】」も入れたかったな……でも【サイバードラゴン】入れても【トレード・イン】のコストにならないし機械族だからこの「デッキのシナジーしないし……だから事故要員になっちゃんだよね。すまんな……いつか専門デッキ作つてやるからな

後、前日サクラがカイザーを殴つたらしい。しかも喧嘩じゃないらしいデュエルで……まさかサクラがリアルダイレクトアタックするなんて……でもその前に闇のゲームじゃないから殴つても痛くないだろ？となるとサクラが直に殴つたのか？デュエル中にごどりゅって……？

とか考えてる間に十代達が入場。相手は迷宮兄弟か……
開始1ターン目は皆様様子見……かと思いきや弟が【生け贋の人形】^{ドール}

を発動。これで【風魔神 ヒューガ】が出てきた。なるほど……効率は悪いけど【ゲート・ガーディアン】デッキ作成の為に参考になるな…

さらに魔法カード【闇の指名者】兄を指名し【雷魔神 サンガ】を宣言。兄は自分のデッキから【雷魔神 サンガ】を手札に加える。【闇の指名者】ってそんな使い方があったんだ…

翔が融合を発動…これで【スチームジャイロイド】を召喚。そして攻撃。しかしヒューガがその攻撃を無効。

ヒューガは原作効果か…

個人的には【スチームロイド】召喚して攻撃、その後融合だな。まあどっちにしろ防がれるんだけど…

兄は魔法カード【死者蘇生】でさつき【生け贋の人形】で墓地に送られた【地雷蜘蛛】を特殊召喚。そして再び【生け贋人形】の効果で墓地に送られ【水魔神 スーガ】が出た。さらに【カイザーシーホース】を生贋にして【雷魔神 サンガ】を召喚、そしてそのまま合体！【ゲート・ガーディアン】！……今合体しなくていいだろ

その後頑張つて十代達は【ゲート・ガーディアン】を倒したが兄のターンでアニメオリジナル魔法カード【ダーク・エレメント】を発動。ライフを半分払いアニメオリジナルカード【闇の守護神 ダーク・ガーディアン】を特殊召喚。でも攻撃力3850で戦闘破壊されない効果つて……いらないだろんで攻撃。しかし十代は罠カード【ヒーローバリア】で阻止。そこで兄のターンは終了

落ち込んでる翔に十代は励ましの言葉を出す

翔は立ち直りました。頑張れ、頑張れ

えつ？もう少し心配しろ？大丈夫だろ。ここで負けるとアニメが

続かないから勝つって

十代のターン、【E・HEROテンペスター】を融合召喚。スカイスクレイパーを発動。テンペスターでダーク・ガーディアンに攻撃！？何をやりたいんだ十代！？

弟のターン、罠カード【一騎打ち】を発動。だけど外のジェット機の音で効果が聞こえない！

弟はそのままターンエンド。何がしたかったんだ？そこで翔のターン、【ドリルロイド】を生贊にして【ユーフォロイド】を召喚。魔法カード【パワー・ボンド】効果は知っているから良いけど何言ってるか、外のジェット機の音でわからん！

テンペスターと【ユーフォロイド】を融合。【ユーフォロイド・ファイター】……乗つただけで攻撃力も合体とか……【ゲート・ガードイアン】可哀想……【ゲート・ガードイアン】なんかくつついただけで三魔神の攻撃力合計から2割れたんだぞ？しかも【パワー・ボンド】だから攻撃力は倍……スタッフ、あんたたちは【ゲート・ガードイアン】が嫌いなのか！？

そこで【ユーフォロイド・ファイター】で攻撃。迷宮兄弟のライフは0。これで十代達の勝利、退学は免れたがその代わりレポート30枚……ひどいね

次は俺か。さあって対戦相手は誰だろうな？

「それで一ハ！ただいまより制裁シングルデュエルを始めるノーネ！」

会場は一気にボルテージマックス！！十代達やオシリスレッドが頑張れとか言つているけど対するオベリスクブルーは負けちまえと言つていい……俺を倒せる奴なんてそういうのないっていふとしたらメインの原作キャラ、原作のボスキャラ、サクラグラビーリだろ。ああ後、若本

「では対戦相手入所ジヨーーー！」

ダ―――ツ――とでかい音と煙が出てきてそこから出てきたのは……

「う……そ……だろ？」

対戦相手は……

「ふうん、宗野魁。制裁デュエル及び今学期中の約束と為に懲々來てやつたぞ」

「宗野カイーの対戦相手はかの有名な会社、ＫＣ社長『海馬瀬人』なノーネ！」

「…………」

あの、白い「一ト……
気高い皿……

腕を組み威風堂々歩いてくる」の姿……

まさしく…本物の海馬社長…

…たく…今日は【フルバーン】のデッキにするつもりだったけどやめだ。ここは数日前から組んでいたこのデッキを使わせてもらおうか…

「手加減はせんぞ」

「わかつてますよ」

全力で行かせてもらひづぜー海馬社長！

「「決闘！」」
デュエル

「俺のターン、ドロー！…魔法カード【手札抹殺】を発動！お互
いの手札をすべて捨て！その後捨てた枚数分デッキからカードをド
ローする！」

「くつーおのれ……！」

海馬社長が捨てたカードは…

【青眼の白龍】
ブルアイズ ホワイトragon
【青眼の白龍】
ブルアイズ ホワイトragon
【青眼の白龍】
ブルアイズ ホワイトragon

【融合】

【融合解除】

はあーーー？

【手札抹殺】が無ければ1ターンキルされてたぞ…！

「…手札をモンスターカード【グローアップ・バルブ】を墓地に送つて手札から【THEトリックキー】を特殊召喚！さらにトリックキーのレバを1つ下げ【手札抹殺】で捨てた【レベル・ステイラー】を特殊召喚！さらに永続魔法【冥界の宝札】キヤラクアイズを発動！トリックキーとステイラーを生贊にささげ…【銀河眼の光子竜】ギャラクティックフォトダイラゴンを召喚！【冥界の宝札】の効果で2枚ドロー！リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

このデッキは試験の時に使つたデッキをある方面を少し入れたデッキ……生贊召喚が少し少ないけどそれでも【冥界の宝札】が無いと回りにくいデッキ…初手に来てよかつた

「俺のターン、ドロー……ふふふふ…ふはははははは…貴様、いくら青眼を墓地に送つたとはいえそれで安心するのはまだ早いぞ」

「何だと…」

まさか【龍の鏡】リラックスミラーを使う気か！

「見るがいい…貴様よく知つてゐるやりかただ…相手フィールドのみにモンスターが存在する場合…このカードは手札から特殊召喚できる…俺は【バイス・ドラゴン】を特殊召喚…」

「バ、【バイス・ドラゴン】…？」

そのカードは5D、Sから出たカード…何故海馬社長が持つてる…

「さりにチューナーモンスター【ゾンビキャラ】を召喚…」

まさか……

「L▼5【バイス・ドラゴン】にL▼2【ゾンビキアリア】をチューニング！無数なる武器を持つ竜よ！この俺に勝利といつ名の武器をかざせ！シンクロ召喚！【パワー・ツール・ドラゴン】！」

本当に……シ、シンクロ召喚を……

「手札から魔法カード【魂の開放】を発動！この効果で墓地の青眼3体を除外！そしてライフを2000払い【次元融合】を発動！お互いに除外されるモンスターを可能な限り特殊召喚する！俺の元に来い！^{ブルアイズ}青眼！」

海馬 L P 2 0 0 0

「さらに魔法カード発動【^{デュアルサモン}一重召喚】！このターンもう一度通常召喚を行える！俺はチューナーモンスター【グローアップ・バルブ】を召喚！」

「【パワー・ツール・ドラゴン】の効果！デッキから装備魔法を3枚選びその内一枚をランダムに手札に加える！ふうん…このカードか…」

来る！もう一度！シンクロ召喚が！

「俺はL▼7【パワー・ツール・ドラゴン】にL▼1【グローアップ・バルブ】をチュー！数々の武器を持つ竜を！今真の姿を現せ！シンクロ召喚！【ライフ・ストリーム・ドラゴン】！」

……それで【次元融合】のライフコストを無くすのか…

「【ライフ・ストリーム・ドライゴン】の効果！このカードのシンク口召喚時ライフを4000にする！アーハハハハハハハハ！」

海馬 LP4000

「さらに装備魔法【ビックバン・シユート】を青眼に装備！攻撃力が400ポイントアップ！これで終わりだ！【ビックバン・シユート】を装備してる青眼で銀河眼に攻撃！滅びの…バースト・ストリーム！」

「カウンタ・罠発動！【攻撃の無力化】！相手モンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させる…」

「ふうん…悪あがきか…俺はこれでターンエンド」

いつまでも驚いてる場合じゃない…冷静なれ…そして勝つんだ！負けたら退学だ！（負けても謹慎ということを忘れてます）

「俺のターン、ドロー！墓地の【グローアップ・バルブ】の効果発動！この効果でデッキトップを墓地に送りこのカードを墓地から特殊召喚！銀河眼のLVを1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！LV1の【レベル・ステイラー】にLV1【グローアップ・バルブ】をチューニング！アクセル全開！トップスピードでこの決闘場を駆け抜ける！シンクロ召喚！希望の力【フォーミュラ・シンクロ】！【フォーミュラ・シンクロ】の効果で1枚ドロー！ドローした【ジェスター・コンフイ】を特殊召喚！さらに銀河眼のLVの1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！【ジェスター・コンフイ】とステイラーを生贊にして【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】を召喚！【冥界の宝札】の効果で2枚ドロー！」

「そんなに頑張つても最高攻撃力は3000…拍子抜けだな…」

まだ行くぜ！【レッドアイズ・ダークネスマーティルドラゴン】の効果発動！この効果により墓地から【ライトバルサー・ドラゴン】を特殊召喚！レバ6【ライトバルサー・ドラゴン】にレバ2【フォーミコラ・シンクロ】をチューング！宇宙に輝く星よ！俺に搖るぎ無き力の一端を！シンクロ召喚！飛翔せよ！【スターダスト・ドラゴン】！リバースカードオープン！永続罠【リミット・リバース】！この効果で墓地から攻撃力1000以下のモンスター【フォーミコラ・シンクロ】を特殊召喚！

クリア・マインド！！

「LV8【スター・ダスト・ドラゴン】】LV2【フォーミュラ・シンクロ】をチューニング！集いし夢の結晶が新たな進化の扉を開く…光さす道となれ！アクセルシンクロ…！」

「「「「「スター・ダストが消えた！？」」」」

「生来せよ!【シュー・ティング・スター・ドリゴン】」――」

「だが攻撃力は3300！少し足りなかつたな！」

「別にいいんだよ！【シュー・ティング・スター・ドラゴン】の効果！デッキの上のカードを5枚めぐりその中のチューナーモンスターの数だけこのカードは攻撃できる！そしてめくった後デッキをシャッフルする！」

ここで最低2枚ださなければ次のターン、海馬社長の攻撃は耐え切

「何い！？」「何い！？」

「一枚目！【手札断殺】！2枚目！チューナーモンスター【エフェクト・ヴェーラー】！3枚目！【竜の転生】！4枚目！【ダンディライオン】！5枚目！……よし！チューナーモンスター【ゾンビキャリア】！これでシュー・ティング・スターは2回攻撃できる！」

「何い！？」

「バトル！シュー・ティング・スターで青眼を攻撃！スターダスト・ミラージュ！」

「ぐつ……ブルライズ青眼！」

海馬 LP3700

「さらに続けてシュー・ティング・スターでもう1体の青眼ブルライズに攻撃！スターダスト・ミラージュニイレンダア！！」

「くそ！決してただではすまさんぞ！…」

海馬 LP3400

「銀河眼ギャラクティズで【ライフ・ストリーム・ドラゴン】に攻撃！破滅のフオトン・ストリーム！」

「ちつ……」

海馬 LP3300

さすが海馬社長……嫁以外のドリラーポンには反応がつかこッスね

「リバースカードをセツトしてターンエンドー」

会場の皆さん、ドテカイ竜がいっぱいいるから睡然としている……
しかし何故海馬社長がシンクロ召喚を？

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編（後書き）

最初の？？？の意味ねえ www
では次回予告！

さすが海馬社長…俺の出した戦略を倒すなんてな…
でも俺も負けちゃいないぜ！
これが俺の切り札だ！

次回！【歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 後編】
次回もお楽しみに！

第9話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 後編（前書き）

昨日NEXAのカイト様かつこよかったです！！

だけどどうから免許を取つた……？では今回の最強カードは！？

魁「今回の最強カードは…………無し……？」

それはどれを最強カードにしたらいいかわからなかつたから……

はい、嘘です。今回は最強カードを出すと本編のネタバレ臭がする
のでやめました。

では本編にじうぞ……

第9話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 後編

「俺のターン、ドロー！手札から魔法カード【天よりの宝札】を発動！お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにカードをドローする！」

うわあ…最悪効果だな、おい

とりあえずフィールド状況はお互いの手札は6枚、俺のフィールドには銀河眼ギャラクティズとレダメ、シュー・ティング・スターとリバースカード1枚、そして無駄にある永続罠【リミット・リバース】

海馬社長は装備魔法【ビックバン・シート】を装備して攻撃力が3400になつてゐる青眼ブルアイズ1体のみ、リバースカードは無し…圧倒的に俺が有利だけど手札6枚もあれば立て直せる…油断はできないな…

「さらに魔法カード【強欲な壺】ブルアイズを発動！デッキからカードを2枚ドロー！魔法カード【滅びの爆裂疾風弾】バーストストームを発動！これで貴様のモンスターをすべて破壊だ！」

「【シュー・ティング・スター・ドラゴン】の効果発動！1ターンに一度フィールド場のカードを破壊する効果を無効にして破壊する…」

「ちつ！だけどこれで終わると思うなよ。魔法カード【龍の鏡（ミラーゴンズ）】を発動！この効果により墓地の青眼ブルアイズ2体とフィールドの青眼ブルアイズを除外して來い！最強のしもべ！降臨せよ【青眼の究極竜】アルティメタルゴン！さらに手札の【スパート】を墓地に送つて【THEトリック】を特殊召喚。そして【ジャンク・シンクロ】を召喚【ジャンク・シンクロ】の効果で墓地から【ゾンビキャラ】を特殊召喚…」LV5

【THEトリックキー】にレバ3【ジャンク・シンクロ】をチューニング！見るがいい…これが絶対なる力の象徴！シンクロ召喚！【レッド・デーモンズ・ドラゴン】…さらに魔法カード【死者蘇生】を発動。これにより貴様の墓地から【ライトパルサー・ドラゴン】を特殊召喚する。レバ6【ライトパルサー・ドラゴン】にレバ2【ゾンビキヤリア】をチューニング！吹きすさぶ風から舞い上がる黒羽の翼！その翼の正体をさらせ…シンクロ召喚！【ブラックフェザードラゴン】…

「…馬鹿な…」今までお互ひのフィールドにドラゴンなんてそうそう並ぶか…？
てか海馬社長ブレイングミスしてる…あるかわからぬけどここは【スカーレッド・ノヴァ・ドラゴン】を出そよ…墓地のバルブの効果まだ使ってないからいけるし！

「そして魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【ジャンク・シンクロ】【ライフ・ストリーム・ドラゴン】【パワー・ツール・ドラゴン】【THEトリックキー】【バイス・ドラゴン】をテッキに戻しシャツフル！そして2枚ドロー！バトル！まずはその目障りな竜を破壊してやる…【青眼の究極竜】で【シユーティング・スター・ドラゴン】に攻撃！アルティメット・バースト…！」

「【シユーティング・スター・ドラゴン】の効果！相手モンスターの攻撃宣言時このカードを除外をして相手モンスターの攻撃を無効にする…」

「う、危ない危ない…今思つたけど【天よりの宝札】使って早速手札が1枚とか…どんだけ回したんだよ、海馬社長…

「だけどこの攻撃は避けられまい！【レッド・デーモンズ・ドラゴン】

ン】で【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】に攻撃！灼熱のクリムゾン・ヘルフレア！！」

「くっ…ダメージを受けた事で手札から【トラゴエディア】を特殊召喚！そして【トラゴエディア】の攻撃力は手札の枚数×600！よつて攻撃力3000！」

魁 LP3800

「【ブラックフェザー・ドラゴン】ギャラクティズで銀河眼に攻撃！そしてダメージステップ時に手札から速攻魔法【突進】を発動！これで攻撃力が700ポイントアップ！蹴散らせ！ノーブル・ストリーム！」

「ぐつ……まだまだ！」

魁 LP3300

「俺はこれでターンエンドだ。貴様のフィールドにモンスターが0今の中にサレンダーをするんだ！」「エンドフェイズ時自身の効果で除外された【シユーティング・スター・ドラゴン】の効果！除外されてるこのカードを特殊召喚する！」何！？」「

やっぱり海馬社長にブラフは通じないか…しかしひどい有様…自分モンスターがほぼ全滅…残っているのは【トラゴエディア】とシユーティング・スターのみ…リバースカードはブラフの【魔法石の採掘】…だけどこの手札なら…やれる！

「俺のターン、ドロー！【トラゴエディア】の効果発動！このカードはレバを墓地の【ライトパルサー・ドラゴン】と同じレバ6にする。そして【トラゴエディア】のレバを1つ下げ墓地からステイ

ラーを特殊召喚！そしてステイラーを手札に戻して【A・ジエネクス・バードマン】を特殊召喚！そしてリバースカードオープン！魔法カード【魔法石の採掘】！この効果により手札から【ボルト・ヘッジホッグ】と先ほど手札に戻した【レベル・ステイラー】を捨て【グローアップ・バルブ】の効果で墓地に送られた【死者蘇生】を手札に加える！そしてさらに【トラゴエディア】の↓を1つ下げ墓地から【レベル・ステイラー】を特殊召喚！行くぞ！↓⁴となつた【トラゴエディア】に↓³【A・ジエネクス・バードマン】をチューニング！黒薔薇の竜よ…俺にすべてを無に化す力を与えよ！シンクロ召喚！咲き乱れよ！【ブラック・ローズ・ドラゴン】！」

史上最凶のリセットモンスター、【ブラック・ローズ・ドラゴン】
……
この竜を使つてる十六夜アキつて随分16という数字に縁があるらしい…俺は知らんけど

「【ブラック・ローズ・ドラゴン】の効果！このカードのシンクロ召喚時フィールド場に存在するすべてのカードを破壊する！」

「な……にい…？そんな馬鹿げた効果があるのか…」

「すべてを無に化す憎しみの暴走！ブラック・ローズ・ガイル！」

フィールド場のあらゆるカードが全滅……これで海馬社長のフィールドはがら空きだ！！

「そしてさつき手札に加えた魔法カード【死者蘇生】を発動。この効果により墓地から【シューティング・スター・ドラゴン】を特殊召喚！これで終わりだ！【シューティング・スター・ドラゴン】で

「直接攻撃！――スターダスト・ミラージュ――」

「これで……俺の勝ちだ！！」

「手札から【速攻のかかし】の効果発動！直接攻撃してきました時手札のこのカードを捨てバトルフェイズを終了させる！！」

「くそ！俺はリバースカード一枚をセットしてターンエンド！」

仕留め切れなかつた…

「俺のターン、ドロー！手札から魔法カード【命削りの宝札】を発動！このカードの効果により手札が5枚になるようにドローし5ターン後すべての手札を墓地に送る！」

また手札補充のチートカードかい…！
いい加減にしろ…この世界の禁止制限！

「……ふふふふ、はははは…！…この手札で貴様を葬る…手札から魔法力ード【早すぎた埋葬】ブルライズ アルティメタゴンを発動！ライフを800払い墓地から【青眼の究極竜】を特殊召喚！」

海馬 LP 2500

「さらに装備魔法【巨大化】により攻撃力を2倍にする…」

「――――、攻撃力9000…!?」

「そんな…まさか兄さんの【サイバー・エンド・ドラゴン】を超える攻撃力を出すなんて…！」

「これが伝説の決闘者^{デュエリスト}……海馬瀬人の実力……」

確かに攻撃力9000は驚いた……
だけど海馬社長はまだ何かするつもりだぞ！」

「さらに【エキセントリック・ボーグ】を召喚！効果により手札のモンスターでシンク口召喚できる！俺は手札のLV4【ブレイドナイト】とフィールドのLV3【エキセントリック・ボーグ】をチューニング！聖なる森に潜みし竜よ！我が青眼の最強の力を手に入れ為の糧になれ！シンク口召喚！【エンシェント・フェアリー・ドラゴン】！そして魔法カード【受け継がれし力】を発動！これでエンシェント・フェアリーを生贊にして【青眼の究極竜】の攻撃力をエンドフェイズまで2100ポイントアップする！これで攻撃力は11100！！」

攻撃力……10000越え……でもよ……

「最後は盛大な攻撃で終わらしてやる！！【青眼の究極竜】^{ブルナイズアルティメット}で【シユーティング・スター・ドラゴン】に攻撃！！スーパー・アルティメット・バースト・ストリーム！！」

……お前は馬鹿だ！！

「【シユーティング・スター・ドラゴン】の効果を忘れたか！！相手モンスターの攻撃宣言時、このカードを除外する事で相手モンスターの攻撃を無効にする！！」

「しま……」

「そしてエンドフェイズ時【シュー・ティング・スター・ドラゴン】を特殊召喚！！そして俺のターン、ドロー！……俺はこれにかけるぜ！手札から魔法カード【アドバンスドロー】を発動！フィールドの【シュー・ティング・スター・ドラゴン】を生贊にして2枚ドロー！さらに魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地から【シュー・ティング・スター・ドラゴン】【グローアップ・バルブ】【スター・ダスト・ドラゴン】【ブラック・ローズ・ドラゴン】【フォーミュラ・シンクロ】をデッキに戻しシャツフル！そして2枚ドロー！手札の【ダンディライオン】を墓地に送つて【THEトリック】を特殊召喚！【ダンディライオン】の効果でフィールドに【綿毛トーケン】を2体生成！トリックのレバを1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！そして【スーパー】を召喚！」

これで準備は整つた！！

「レバ4となつた【THEトリック】にレバ1の【スーパー】をチューニング！科学の英知よ！ここに現れ勝利の方程式の礎となれ！シンクロ召喚！【TGハイパー・ライブラリアン】！…そして墓地の【スーパー】の効果発動！墓地の植物族モンスター【ダンディライオン】を除外して【スーパー】を特殊召喚！この時特殊召喚された【スーパー】は除外した植物族モンスターのレバを得る！」レバとなつた【レベル・ステイラー】にレバ4となつた【スーパー】をチューニング！正義の名を持つ無慈悲なる機械！ここに解き放て！シンクロ召喚！【A・O・Jカタストル】！ハイパー・ライブラリアンの効果で1枚ドロー！手札から魔法カード【二重召喚】を発動！そして【グローアップ・バルブ】を召喚！レバ1【綿毛トーカン】にレバ1【グローアップ・バルブ】をチューニング！！アクセル全開！トップスピードでこの決闘場を駆け抜けろ！シンクロ召喚！希望の力【フォーミュラ・シンクロ】！ハイパー・ライブラリアンと【フォーミュラ・シンクロ】の効果で2枚ドロー！」

オーバー・トップ・クリア・マインド……！」

「L▼5【T・G　ハイパー・ライブラリアン】とL▼5【A・O・J　カタストル】にL▼2【フォーミュラ・シンクロン】をチュー二ング！　集いし星が絆が一つになる時、新たな絆が未来を照らす！　光さす道となれ！　リミット・オーバー・アクセルシンクロ！　！」

「なつ……デュエルディスクが……オーバーヒート寸前になるまでのシンクロ召喚だと……？」

確かに俺のデュエルディスクがブスブス煙を上げているし変な音がするがそれでも俺はもう止められない……

「進化の光！　【シュー・ティイング・クヨーサー・ドラゴン】……」

これが俺の切り札だ……

「……ふつ、多少は驚いたがどんなシンクロ召喚してもこの青眼に勝てるモンスターなぞいないか……」

「それはどうかな？　手札から【融合】発動！　手札の【真紅眼の黒竜】【真紅眼の闇竜】【ダークフレア・ドラゴン】【真紅眼の飛竜】2体を融合！　現れる！　【F・G・D】……さらに魔法力カード【受け継がれる力】を発動！　【F・G・D】を生贊にして【シュー・ティイング・クヨーサー・ドラゴン】の攻撃力をエンドフェイズまで5000ポイントアップ！　！」

「攻撃力が……並んだ……」

【青眼の究極竜】

攻擊力9000

【シュー・ティング・クエーサー・ドラゴン】 攻撃力9000

「バトル！【シュー・ティイング・クエーサー・ドラゴン】で究極竜に
攻撃！！天地創造撃ザ・クリエーシヨンバースト！！」

「くつ！迎え撃て！究極竜！！スーパー・アルティメット・バース

三

お互いのモンスターは相打ち

これでターン終了かと…思つたら大間違いだぜ！！海馬社長！！

「【シュー・ティング・クロー・サー・ドラゴン】の効果！－このカーボンがフイールドから離れた時エクストラデッキから【シュー・ティング・スター・ドラゴン】を効果を無効にして特殊召喚！－」

『クルアアアアアアアアア！－！－！』

「そんな……馬鹿な……」の俺が遊戯や天城サクラ以外に負けるといふのか……」「

天城サクラ？……後で話を聞かせてもらおうか。

「【シユーテイング・スター・ドラゴン】で直接攻撃！！【スター・ダスト・マラージュ】！！」

勝つた

「勝つたぞおおおおおおーーー！」

勝った……俺は……海馬社長に……

第9話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 後編（後書き）

とこう訳でVS海馬終了！！

さすがの魁も海馬社長が相手だとリアルな意味の方でガチテッキを使つ：

一応タイトル通り、青と真紅と五竜と宇宙を出せてよかったです…

では次回予告！

おい、天城サクラ

少し聞きたいことがある

お前は……いつたい…

次回！【衝撃の真実！！原作はすでに崩壊していた】

どうこう内容が簡単に予想できるけど次回もお楽しみに！！

第10話 衝撃の事実!! 原作はすでに崩壊していた(前書き)

今日、総合評価が100になりました。バンザー——イ!!!

魁「まあこんな馬鹿な作者は放つておいて今回の最強カードは……
またない!?ちくしょう!何でだ!?」

それは今回はデュエルがあまりないから……

俺はデュエルにしか興味がないゾエ!! もしくは社長大好きの方は
今すぐ右上のバツ、またはパソコンの電源自体を消してください。

またアンケートを取りたいと思います。まあ…集まらないと思いま
すけど…

アンケート内容は…

魁とサクラに精霊を持たせたほうがいいですか?

- 1 .いいんじゃない?
 - 2 .ダメ!絶対ダメ!
 - 3 .魁には精霊を持たせサクラに精霊を持たせない
 - 4 .サクラに精霊を持たせ魁には精霊を持たせない
- のどれかにお願いします。書く場所は感想、メッセージどちらでも
いいです。そして3日間、感想の制限を無くします。
皆さん、アンケートにご協力ください。よろしくお願いします。

魁「お願いします」

では、本編に、もつて、

第10話 衝撃の事実!! 原作はすでに崩壊していた

「すげえじゃん!! あの伝説の決闘者海馬さんに勝つなんて……！」

「すげえかったんだな……」

「兄さんのサイバー・ハンドを超えたモンスターに勝つなんて……す
ごいっス！」

……ビーも、皆様

上から順に十代、隼人、翔ですね……みんなすごいの一言は言つんだ
ね……

しかし何故海馬社長がシンクロ召喚を使つた? そして海馬社長はサク
ラに負けた?

これはちょっとサクラや海馬社長に聞かなければな……

「まずは勝つた事におめでとつ、魁」

「サクラ……」

久しぶりにサクラに会ったな……ドローパンの時くらいだから……ど
れくらい前だろ? 忘れた

だけど今はそんな事はどうでもいい……

「……サクラ、聞きたことがある」

「わかつてゐるわよ。それじゃあ行きましょ?」

「十代、また今度」

「おひー・今度は1対1でやるひー。」

「やつと来たか、宗野魁…天城サクラ」

「海馬社長…」

「久しぶりですね。海馬社長」

今、俺達は相談室にいる。そこにはいつもでかいトランクとは少し違うトランクを持つていてる海馬社長そして久しぶり？やっぱりサクラは海馬社長に会ったことがあるのか？

「貴様が聞きたいことはわかつていてる。そして銀河眼ギャラクターズの事も鮫島から聞いたエクシーズ召喚でとサクラの情報で概ね理解した」

サクラの情報？やっぱりサクラが絡んでるのか…

「まずは何故俺がシンクロ召喚を使っているのか？それを聞きたいのだひー。」

「そうです」

「それはだな…約1年ほど前俺は1人の少女に出会った

」

海馬Side

俺は今から過去話を始めた…本来、過去話なぞ虫唾が走るがこいつとの疑問を解く為には話すしかない
そして俺は過去について話だした

あの時、KCで仕事をしている時磯野から電話が掛かってきた

「どうした磯野」

「海馬社長、今KCの受付カウンターで1人の少女があなたに会わせてくれ…と言つておりますが…」

「ふうん、放つておけ。今俺は忙しいんだ」

そつ言つて俺が電話を切ろうとした時磯野から気になる一言を言つた

「しかし海馬社長…この少女はデュエルモンスターZのカードがあるのですが…そのカードの中に白い枠のカードがあるので…」

「何?」

白い枠のカード?そんなもの世界中のどこに行つても見たことないぞ?

…気になつた俺はすぐさまその少女のところへ行つた…

「貴様…」の俺を呼び出すとまことに度胸だ。なにか用でもあるのか
?」

「海馬社長……私と『テュエル』してくれません?」

「…この言つた言葉に俺は意味がわからなかつた
この俺が貴様と『テュエル』? そんな物どんなんに頼み込んで受けたや
らん

そう思つて俺が引き返した直後…

「もしも私に勝つたらこのカードをすべて差し上げます」

そう言つて少女が出してきたカードは見たことがないモンスター、
魔法、罠カード…

そして白い枠のカードだった…

俺はそのカードを見た直後…

「いいだろう、受けてやる。ただし勝つたらそのカードだけではなく
貴様の事に聞く。それでもいいなら受けやる」

「いいですよ。勝つのは私ですか?」

「その言葉…必ず後悔させてやる」

「『決闘…』」

だけどそのデュエルで俺は真の恐怖を味わつた…

「なつ……こんな馬鹿げた事が……？」

少女の場には究極竜^{アルティメタル}に似た三つ首の攻撃力2700が3体
さらに攻撃力2800の歌舞伎のようなモンスターが並んでいて俺
の場にはモンスターは無し…そしてリバースカードもなく手札が0…

「すべてのモンスターで直接攻撃！」

海馬 LP - 6900

この俺が負けた……遊戯以外に負けただと

「ありがとうございます」

そう言つて立ち去つた少女……俺はさらに気になることがあつたの
ですぐに社長室に戻りペガサスに電話した

「ペガサス！－この俺が知らぬ間に新しいカードを作ったのか！－」

「ノー！ いくら私でも海馬ボーグにカードの事は隠しませーン！」

俺はその言葉を聞いた瞬間驚愕した

…あのペガサスですら知りなしだートがあるなんて…

会社の力を使い、少女の電話番号を入手。そしてあの少女に電話を

して後日来ても「いらっしゃった」とした…

「再び呼ぶなんて…海馬社長、もしかして前回のコベンジですか？」

「違うな。今回呼び出したのは貴様のあの白い枠のカードについてだ」

「…海馬社長…どんな情報もただではあげませんよ?私にデュエルで勝てたら教えてあげます」

やつぱりそつ来たか……いいだろ?あの田から強化された俺のデッキを見せてやる!
…しかしそれでも…

「行きますよ?【キメラテック・オーバー・ドラゴン】で青眼に攻撃!そして速攻魔法【ハーフシャフト】!これで青眼の攻撃力を半分にし戦闘では破壊されなくなる!そしてキメラテック・オーバーは融合素材の数だけ相手モンスターに攻撃できる!くらいなさい!エヴォリューション・レザルト・バースト、一ジュウレンダアツ!」

「ぐわああああああああ…」

海馬 LP - 286000

続いてのデュエルも

「【王立魔法図書館】の効果で一枚ドロー。この瞬間手札に【エクゾディア】パートがすべて揃い私の勝ち。怒りの業火エクゾード・

フレイム!

「ぐわああああああああ！」

海馬 L P - ?

先攻1ターン目で揃えられ次のデュエルは負け、次のデュエルでも負け、その次も負け…

気がつけば3ヶ月もたち戦績は0勝87敗……それでも俺はあるの白い枠のカードの情報の欲しさに挑み続けた…

そしてついに…

「【巨大化】と【ビッグバン・シユート】を装備した究極竜でその壁モンスターに攻撃！！これで俺の勝ちだ！」

「罠発動【魔法の筒】。^{マジック シリンダー}相手モンスターの攻撃を無効にしその攻撃力分だけ相手ライフに与える」

「ぐわああああああああ！」

海馬 LP - 8600

勝てたと思いきや罷を発動され俺は返り討ち…
その瞬間俺は悟った

こいつに勝つには力押しではダメだとな……

例え惨めでもいい俺は少女にどんな方法を使つても勝つと決めた…
その後はデッキを青眼を中心としたモンスター効果、魔法、罷無効
デッキやロック、ハンデス、あらゆるデッキを使い少女に挑み続け
た…

そして戦い続けて半年…戦績0勝137敗3分が続いた戦いについ
に…

「魔法カード【滅びの爆裂疾風弾】^{バーストストリーム}を発動！さらに魔法カード【巨
竜の羽ばたき】^{ブルライズ}を発動！青眼を手札に戻しこれで貴様のモンスター、
魔法、罷はすべて破壊！」

「けど海馬社長の手札は青眼を含めた3枚のみ…その内1枚は【融
合】…どうやって逆転する？ライフ4000の私に…」

「魔法カード【闇の量産工場】^{ブルライズ}を発動！これで墓地から青眼2体を
手札に加え【融合】^{ブルライズ}発動！手札の青眼3体を融合！来い！究極竜を
召喚！くらえ！アルティメット・バースト！」

「あやあああああ…！」

少女 LP - 500

こうして俺はやっとその少女に勝ち情報を洗いざらいすべて聞いた…
その情報を聞いた時は驚いた。まさか俺達のいる世界がアニメの世
界でその少女が転生者で少女がいる世界ではシンクロ召喚、そして
この俺に見せてない召喚方法があるらしい…
その召喚方法も聞こうとしたが俺は連續でデュエルした結果そのま
ま俺は全治3ヶ月の疲労で入院、さらに完全回復するまでデュエル
はするなと言われた…

魁Side

「なるほど……話を聞いてだいだいわかりました。その少女って俺に隣にいる天城サクラでしょ？」

「その通り。そして完全回復し天城サクラに挑もうとしたら入学試験で聞いたことのないカード銀河眼ギャラクティクスというカードを使用した貴様が現れ……もしかしたら……と思つて貴様をしばらく泳がせ見たことない召喚方法エクシーズ召喚を使うのを待つた……」

つまり銀河眼ギャラクティクスは口実……本当に聞きたかったのはエクシーズ召喚の事だったのか……

てかシンクロ召喚聞くことに戦いすぎ……
でも海馬社長がデュエルモンスターZも好き過ぎる事がよくわかつた
となると……俺が『転生者』つてもう知られてるな

「そして貴様が疑問に思ったこと。俺がシンクロ召喚した理由は入院してすぐペガサスに情報を送り作らせた……その製作期間はおよそ半年。制裁デュエルの少し前だ……」

「だけど魁。ここでもう一つ疑問がある。どうして入学試験でシンクロ召喚を使った私がなんの調査も行われずこのデュエル・アカデミアに入学……少しおかしくない？」

「それはKCやE2社の力があつたからだろ?」

「貴様は馬鹿か。いくら世界を統べるKCとE2社でもほかのでかい会社が団結したら勝ち田なんぞない」

「そこでペガサスが私をシンクロ召喚採用のテストプレイヤーという情報を上の会社に伝えた。だからシンクロ召喚は上の会社の人達は大抵知っている。そしてあなたが月1テストでエクシーズ召喚した瞬間、鮫島校長は海馬社長に情報を与えそのままペガサスに与え上には魁をエクシーズ召喚採用及びシンクロ召喚採用のテストプレイヤーという情報を流した」

……結構、やり方がすごいですね……

しかし1年前から原作がすでに裏から崩壊していたとは……恐ろしいな
しかも俺が勝手に巻き込まれてる……まあ助かるからいいか

「そして……シンクロ召喚が製作されたので近日中にシンクロが世界に出回ります!!」

「ううして俺とペガサスはシンクロを実用化させた……最終テストの為に俺にはシンクロに関するカードを貰い今日のデュエルに使つた……これですべてだ。ほかに聞きたいことないのか?」

「聞きたいことというか……頼みなんですが……デュエルディスク直してくれません? もう結構危ないんですよ……」

もうギュルン、ギュルンという音と一緒に煙がでてる……ディスクを新しくすればいいんだけどそれだとデュエル・アカデミアの戦績はリセットされるから直すしかない。でも俺は直せないから海馬社長に頼む

「いいだろ？…ただし最低でも冬休みが始まる頃に直る…その間貴様はここには通えない。そこでこのアカデミアに通わない間ペガサスにエクシーズ召喚を伝えれば直してやる。抜けてくれればこのティスク直すだけではなくシンクロやエクシーズをしても故障しないように改良してやる…」

どつちにしろ…エクシーズ召喚採用テストプレイヤーって扱いだし情報をあげなければエクシーズ召喚が世に出すに俺のテストプレイヤーに疑惑が掛かるか…
よし…伝えるか！

「はい、その条件を受けます…そしてティスクの改良ありがとうございます！」

「別に礼などいらん。さつあと準備をするんだな」

「はい…」

しばらくアカデミアとはさよならか…
でも俺はティスクが直つたら再び来るぜ！
…さあつて寮に帰つて事情説明と荷物を準備しなきやな…

第10話 衝撃の事実！！原作はすでに崩壊していた（後書き）

以後出てくる敵に強化フラグ……

とは言つても普通のアカデミア生徒や一般人はシンクロ召喚の事に
関してはまだ出たばかりなのであまりわかつておらずしばらく使
わないでしようけど

そして次回予告！

いや……まさか海馬社長が俺の事を『転生者』って知っていたとは……
まあ、そのおかげで俺のエクシーズ召喚もペガサスのおかげで
大丈夫そうだな！！

次回！【さあばテュエル・アカデミアーーー！】まあ一時的なんだけど
ね】

第11話 サラばテュエル・アカニア!! まあ一時的なんだけどね(前書き)

ライフ・イズ・カー二バル!!

太陽が真つ二つにならなければ俺の運はつきねえ!!

魁「じゃあ【北風と太陽】を召喚。そして魔法カード【強制転移】。これで作者の【バスター・ブレイダー】と俺の【北風と太陽】をコントローラーを入れ替えバトル。【バスター・ブレイダー】で【北風と太陽】に攻撃。破壊剣一閃」

馬鹿な! 太陽が真つ二つに……

作者 LP400

魁「そしてリバースカードオープン、リビデ。これで墓地から【北風と太陽】を特殊召喚。【北風と太陽】で直接攻撃」

そんな…馬鹿なああああ!!

作者 LP - 600

なんかカードあさつてたら【北風と太陽】が出てきたのでやつてみたかった。

…そして今回の最強カードは!?

魁「今回の最強カードは【アックス・レイダー】

攻撃力1700のバニラで当時ウルトラレアの【ショミナイ・エルフ】と【メカ・ハンター】を狙つて買ったパックに同じくウルトラレアとして入つてゐこれを当てて肩を落とした人はたくさんいるで

しょ
う
…

それでも当時は例えハズレでもあなたの主力だったでしょ？思い出
そう……昔を……」

俺の昔の主力は【地雷蜘蛛】だったな……

第1-1話 セーラムテュル・アカトミア！！…まあ一時的なんだけどね

昨日俺は海馬社長に頼めれペガサスにエクシーズの情報を渡してくれればデュエルディスクを修理+改良してくれるので頼んだ

正確にはデュエルディスクが無い間アカトミアに通えないでのその通えない間でペガサスに情報を渡すと言つたほうが正しいが…

そして十代達にそのことを説明、俺がエクシーズ召喚及びシンクロ召喚テストプレイヤーというある意味嘘の情報を話し、十代達としばし別れるのでみなさんとデュエル

結果は2勝4敗……やつぱり十代達のチートドローはすごいね。2勝した分なんてガチシンクロとガチエクシーズだし……あつ、ちなみにデュエルディスクは海馬社長のを借りました

後サクラもしばらくアカデミアにはいない。一応シンクロ召喚テストプレイヤーとしての最終テストの結果を出すという形を作らなければいけないらしい

そして今日、十代達に見送つてもらい海馬社長の直々の小型飛行船運転でサクラと一緒に快適な空な旅をするとしている。以上あらすじでした

「ああー……暇だね、魁。デュエルしない？」

「デュエルするにもこの部屋だと狭いからな……デュエルディスクを使わずにデュエルするならやつてもいいぞ」

てかサクラお前の頭の中身、だいぶこの世界に毒されてるな……暇だからデュエル…まあわかるけどもう少し違う遊び考えない?たと

え、モン　ン、ガ、ン　ム、ガ、ン　ムとかやるとかそういうの思つたんのか？

「うわなつたら……あの『テュエル』をやりますか……」

サクラがそういひと『テッキ』を一つ出したが……その『テッキ』には現実世界の禁止カードと通常モンスターが入つて、中にはポケンのカード【マサキ】や【オーキド博士の訪問】とかがあつた……まさか……？

「『ワンデッキデュエル』か……いいだろ？、受けて立つてやる」

「よしじゃあ準備して……」

よいしょ……座席を回して『デスク』を準備……そして……

「『^{デュエル}決闘！』」

ここで少し解説を

ワンデッキデュエルとはその名の通り2人で1つ『テッキ』を使つ『テュエル』である！

お互ひの初期手札は0からスタート。『テッキ』枚数は40枚ピッタリ。ライフは8000

『テッキ』の中身は禁止制限を守らなくていいと思うぞ！

ちなみに【強欲な壺】は入れちゃダメだよ！入れるなら【マサキ】にしよう！

先攻は先に俺のターンまたは私のターンと最初に言つたほうがもらえる

攻撃する時は技名を言わなければいけない。そして言つた技名はそのデュエル中もう一度使ってはダメ

そして墓地とエクストラ「リックキお互い共有… よつてこの「テュエルではリビデが【死者蘇生】同然なのである！
後は基本同じ

「私のターン、ドロー！ 【アックス・レイダー】 を召喚！ ターンエンド！」

いきなり攻撃力1700か…… 普通ならあまり強くないナビニの「テュエルだと結構強く感じる！

「俺のターン、ドロー！ よし！ 【ゴガガーレム】 を召喚！ 【ゴガガーレム】 で【アックス・レイダー】 に攻撃！ ゴガガブロー！」

「ライフどうぞよつ

サクラ LP7900

しかしこいつの世界に来てからソリッドビジョンばかりで「テュエルしてたからな……

たまにはソリッドビジョンなしのデュエルもいいな

「これでターンエンド！」

「私のターン、ドロー！ リバースカードをセットしてターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！ 装備魔法【悪魔のくちづけ】を【ゴガガーレム】に装備！ そして【ゴガガーレム】でサクラに直接攻撃！
えーと… えーと… えー… ゴガガキッス！」

「攻撃の名前がキモい！罠発動【万能地雷グレイモア】…」これで【ドロップ】を破壊…」

攻撃がキモいつて……今に見えてるよ……貴様にロックを掛けてやる…

「【悪魔のくちづけ】の効果！ライフを500払ってこのカードをバッキトップに置く…」これでターンヒンドー！ 魁 LP7500

「あんたひどい…私のターン、ドロー！ターンヒンドー！」

何がひどいだ…」のデッキ作ったのはサクラだろ…

「俺のターン、ドロー！【屋根裏の物の怪】を召喚…サクラに直接アタック攻撃！真っ黒ドロドロ…」

「何その技名…？」

サクラ LP7350

さあな…攻撃名なんてひらめきで思ついた名前でやればここの

「ターンヒンドー！」

「私のターン、ドロー！」これは強…」

「何を引いた…？」

「【オーキッド博士の訪問】」「

ちよ wwwにれリアルに使用してみると、見たら笑いが止まらんwww

「！」のカードの効果によりテッキからカードを3枚引き自分の手札を1枚選びテッキの一番下に置く。そして【シーザリオン】を召喚。魔法カード【デュアルサモン】重召喚【】を発動。さらに【マグネットツ号】を召喚。

どちらのカードも懐かしいな！！

しかも【マグネットツ号】のフレーバーテキストって電磁コーティングされた鎧は頑丈でしょ？守備力1000だから【クリッター】ぐらいの攻撃にしか耐えられねえwww

…しかしこうして昔のカードを見るのもいいな…

「バトル！【シーザリオン】で【屋根裏の物の怪】に攻撃！激・流・葬！」

「それ罷カードの名前じゃん！」

魁 LP6250

「さうに【マグネットツ号】で直接攻撃！電磁コーティングの体当たり！」

「その立派な剣を参考にした名前を使え！」

魁 LP5750

「ターンエンド」

「俺のターン、ドロー！モンスターをセット…これでターンエンド

「！」

「私のターン、ドロー！【封印されしエクゾティア】を召喚」

「ダメだ…エクゾティアを単体で使っているところを見ると… ウウ

「【シーザリオン】でセットモンスターに攻撃！フィッシュヤー・チャージ！」

「セットモンスターは【人食い虫】…これで【シーザリオン】を破壊！」

てか魚を破壊してる時点でもう人食いじやねえな。ちゃんと人食いにするならこのカードの効果を戦士族、魔法使い族を破壊するにすればよかつたのに

「【マグネット^{2回}】とエクゾティアで直接攻撃！連携攻撃、怒りの城之内ファイアーパー！」

「なんかツッコミがつ…」

魁 LP4250

「ターンエンデ

「俺のターン、ドロー！し来た！強欲なマサキを発動。これでテッキから2枚ドロー！」

「なんで強欲なマサキなのよ。普通に【マサキ】って言ひなさい」

だつて効果が……」これ遊戯王だと【強欲な壺】じゃん…または原作効果のバブルマン

「魔法カード【ブラックホール】！これでフィールドのモンスターは全滅！そして【ブリッヂ・ウォルス】を召喚！【ブリッヂ・ウォルス】ダイレクトアタックで直接攻撃！血塗られの斧！」

「ほほカードの名前とイラストのまんまじゃん！」

サクラ LP5450

まんまでええやろ！
お前だつて違うカード名をまんま使つてんだし！

「ターンヒンデ」

「私のターン、ドロー！来た！【ゴブリン突撃部隊】！そして攻撃！集団リンク！」

「お前、パクンな！」

魁 LP3850

「うるわーー自身の効果でゴブリンは守備表示になる。ターンヒンデ」

「俺のターン、ドロー！【ガガガマジック】を召喚！ゴブリン！攻撃！ガガガマジック！とは名だけのパンチ！」

「まるで意味がわからない……」

「だよな！何故にパンチ！？と思つよなーこれでターンエンド！」

アニメ見た方ならわかると思いますが【ガガガマジシャン】の攻撃、魔法使いなのに殴るんです

どこが魔法使い族だよ！と思ひますよね！

「私のターン、ドロー！リバースカードをセツト！ターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！ワイルドマンを召喚！2体のモンスターで
ダイレクトアタック！直接攻撃！ワイルドマジック！」

「2体とも魔法で攻撃してないでしょー！」

サクラ LP2450

「メインフェイズ2でLV4の【ガガガマジシャン】とワイルドマンの2体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【ジェムナイト・パール】！」

「ならその召喚に対して罠発動【奈落の落とし穴】！これでパールを破壊し除外する！」

「くつーこれでターンエンド！」

うん、ちょー楽しいー！

現実世界の遊戯王大会でもこんな展開があればな…

「私のターン、ドロー！魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地から

【ガガガマジシャン】【oprin突撃部隊】【ブラット・ヴォルス】

【アックス・レイダー】【人食い虫】をデッキに戻しシャツフル！そして2枚ドロー……このデュエルもクライマックスだよ！」

「何！？」

「【ゴゴジヤイアント】を召喚！効果により墓地から【ゴゴゴゴレム】を特殊召喚！そしてジャイアントを効果で守備表示に！だけそんなの関係ない！」▼4の【ゴゴジヤイアント】と【ゴゴゴゴレム】でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【ゾ・39希望皇ホープ】！」

「出たホープ！」

しかも効果テキストを見るとOCG版…さすがにこのデッキには原作効果は入れないか

「そしてホープで直接攻撃！この瞬間ホープの効果発動！オーバーレイユニットを一つ取り除いてホープの攻撃を無効にする！」

「そんなコンボになんの意味がある…（うわあ……これはあれがくるな…）」

「意味はあるわよ！手札から速攻魔法【ダブル・アップ・チャンス】を発動！攻撃を無効にされたモンスターに対して発動できる！この効果よりホープはもう一度攻撃ができるダメージステップの時攻撃力を倍にする！」

「ば、馬鹿な！」

「かつとベホープ！！希望皇ホープで直接攻撃！ホープ剣スラッシュユー！」

魁 L P - 1150

「かあああ！負けた！でも楽しかつたよ、サクラ」

「いつも楽しかったわ。それにそろそろ……」

『おー、貴様ら。もつすべくこに着くぞ。荷物を纏めて出る準備をしておくんだな』

おっ、確かに下を見ると海馬ワンドがある。とこひ」と本当にわ
すぐだな

さて準備 準備……

十代達の為になんかお土産買つて帰ろつかな

まあ、随分先の話だけど

第1-1話 セリフテテユヘル・アカトミア！！…まあ一時的なんだだけね（後書き）

今回は「」の「ソントッキテユエルをする為に書いたも同然！！！
反省はしてないし後悔もしていない！
では次回予告！

いやー…誰よりも早い冬休みか

海馬社長の家でしばらくお世話になるな…
では早速町の調べに…うん？あれは…！

次回！【魁の童実野町巡り】

次回は「」ユエル無いかもしません！それでも次回もお楽しみに！

第1・2話 魁の童実野町巡り（前書き）

昨日のワンダーテックキティュエル改めて見たのですが……
これこの小説のタイトル詐欺じゃね？と思いました。

しかし一度書いたものを執筆者なら途中が放棄することは許されない！

魁「なーに、言つてんだ作者は？では今回の最強カードは【ワイト】
フレーバーテキストは集まると大変、以上」

【ワイト】って中々活躍しないんですね……【ワイトキング】ば
つかめだぢやつて……

第1-2話 魁の童実野町巡り

「そりが、ペガサスと面会するには最低でも5日間かかるのか」

『はい、すいません海馬様。なにゆえペガサス社長は忙しい身です
ので…』

「別にかまわん。とりあえず1ヶ月以内に面会するようにしてくれ」

『かしこまりました』

……ただいまKの社長室にいるんですが…

すごいね、海馬社長のスケジュール

スケジュール帳にはビックシリ記者会見や海馬ランドの設計、デュエルディスクの新デザイン決め、ペガサスとの情報共有、ジークとの面会……あっジーク生きてたんだ

ペラペラ、ページをめくつくてくと3ヶ月先まで予定でビックシリ…
そしてこんなビックシリ予定があるのに俺の為だけにデュエル・アカデミアに来てくれるとは……忙しいところ本当にすいません

「一応予定は取つておいた。ペガサスが来るまでこれと言つてやることはない。各自自由に遊びせ」

「「はい」」

「それと魁。アカデミアディスクはしばらく修理する為使えないが代わりにこれを使ってデュエルしてみ、以上だ」

海馬社長がくれたのは普及版デュエルディスク……やっぱリデュエ

ルディスクといったらこれだよな

そして俺達はKCから出てサクラは久しぶりにパック買つてくるとか言つてどつかに行つた

俺はこれと言つてやることがないので童実野町を巡ることにした

しかし童実野町って広いな…KC周囲にはあまり人がいなかつたのに中央街に来ると人がいっぱい…

建つてゐる店は以外と普通。専門カード店は少ししかなく、残りは普通に洋服屋、レストラン、デパート…

と言つた感じに並んでる…

次は公園に來たけど遠くでデュエルしてゐる人を発見。まあ俺には関係ないな…喉が渴いているから自販機で飲み物買おうとしたら…

…どういつ…ことだ…！？自販機は普通に150円のコーラとか売つてゐるのにその中に3000円という破格のお値段のコーヒー…

…そう【ブルーアイス・マウンテン】があつた！そして他にも2400円の【レッドアイズ・ポタージュ】や4500円の【B・A・D・マウンテン】と言つた無駄に高いお飲み物が…

えーと…財布、財布…あつた！中には25万8907円が入つてゐるな…しかし【ダイヤモンド・ドラゴン】の為だけに24万もだすか普通？でもそのおかげでこの飲み物が買える

では早速3000円を入れ【ブルーアイス・マウンテン】を購入。続いて2400円入れ【レッドアイズ・ポタージュ】を購入。最後に【B・A・D・マウンテン】を購入…しかしこの飲み物、点をとるとBAD…バッドになるとは…これで今まで究極竜を出しても負け続けてたのか？

そんなことよりまずはレッドアイズから頂く。…体の芯から暖まらせるこの暖かさ…そしてその後にくる優しい辛さ…そして、ほんわかな苦味…これはうまい…！

次にブルーアイズ……こちらも美味…「コーヒーの独特な苦味にクリミーな甘さが少しあるミルクとのコラボ…」のままだとただのミルクコーヒーだがそこに来るよくわからない独特な味がくる……うまい……

最後に点を取ると不安が感じしかしないB・A・Dを頂く……これは……マウンテンだからコーヒーがベースになのに先に口に来るのはほんわかとしたミルクの香りなのに味は見事にコーヒーの苦味とミルクがベストマッチして大変おいしい……

まさかここまでうまいとは……しかし一番気になる飲み物を見つけた……名前は……【ドロー缶】…

買つまで缶の中身がわからないギャンブル缶……1缶180円と少し高めだが当たれば【ブルーアイズ・マウンテン】【レッドアイズ・ポタージュ】と書った高い飲み物が180円で買える……1缶買つてみるか！

という訳で180円入れ購入……そして出てきた物を取り恐る恐る飲んだ……

来たか……この体が芯まで暖まるこの感じ！そして少し不甘味がある感じ！しかしこの若干辛くなつた感じ……これは【メテオ・ブラック・コーヒー】か!?お値段3500円の奴を当てるとは……今回は運がいいな……

……今思つたけどこれ自販機で買つただけでドローしてないよな？これでドローになるのか？

そのまま俺はメテオ・ブラックを飲んでテュエルを見てるんだけど……

「こぐぜ！俺のターン、ドロー！【ワンドスターの剣士】を召喚！そして魔法カード【スター・ブロスター】を発動！ワンドスターを生贊にしてサイコロを振る！出た目は4！これで手札から【真紅眼の黒竜】ブラックラゴンを特殊召喚！真紅眼で貌良の【ネクロフェイス】レッドアイズに攻撃！」

「させないよ！罠発動【亜空間物質転送装置】！これで【ネクロフォイズ】を除外！【ネクロフォイズ】の効果でお互いのデッキの上のカードを5除外する！」

「ああ！【アックス・レイダー】【マキシマム・シックス】【悪魔のサイロ】【蒼炎の剣士】【融合】が……」

…………間違いない……あの金髪、白いシャツの上に青ジャケット……そしてギャンブルカード多数……あれは城之内克也だ……そして隣にいるのがわざと名を上げてたけど白い長髪……そして横線が入つていてその上に半袖の水色の服……どう考へても摸良了だ……

しかしこいつかわざわざなるのか少し気になるのでこのトヨエル見ようか

「でも真紅眼の攻撃はこれで摸良に届くぜ！真紅眼！直接攻撃！黒炎弾！」

「うわあ……」

摸良 LP100

「これで俺の勝ち回然だぜ！これでターンarend!」

「ハンドフォイズに【ネクロフォイズ】が帰還していく！僕のターン、リバーカードを2枚セット！そして速攻魔法【非常食】！これでさつきセットしたカードを破壊しライフを2000回復させる！」

摸良 LP2100

「さらに魔法カード【次元融合】を発動！ライフを2000払い除外される【モイスチャー星人】【首なし騎士】【テーモン】の召喚を特殊召喚！」

「なら俺は【アックス・レイダー】【マキシマム・シックス】【蒼炎の剣士】を特殊召喚！」

猿良 LP-100

「そして手札一枚をコストに魔法カード【ライトニング・ボルテックス】を発動！これで城之内君のモンスターをすべて破壊！」

ライボルか……この世界の禁止制限だと制限なんだよな……あまり強くないのに……やつぱりこの世界の価値観と現実世界の価値観は違うのか？

あツメテオ・ブラックがもうない……結構美味かつたな

「げつ！だけど【蒼炎の剣士】の効果発動！これで融合【テッキから炎の剣士】を守備表示で特殊召喚！」

「さらに魔法カード【シールド・クラッシュ】ダイレクトアタックを発動！これで【炎の剣士】を破壊してすべてのモンスターで直接攻撃！」

「うわああああ！」

城之内 LP-1400

「やつぱりお前の『テッキは心臓に悪いぜ……』

結構こいつらの世界だといい戦いなんじやないか？

てか次の場所行こ……【ブルーアイズ・マウンテン】買っておくか

現在、俺は移動して路地裏に来てるんだけど……

「おこ、金だせよ。渡さなければ殴る、素直に渡せば殴る。これの意味わかるよな?」

「だ、誰か助けて!」

いかにも頭が逝っちゃってる不良が女の子に対して金を要求…可哀想だし助けを求めてるから行こつか

「おい」

「なんだ、テメエ!」

「デュエルしろよ」

一度言つてみたこと思つただ。このセリフ

「俺がデュエルで勝てばその女の子に手をだすな。仮にお前が勝つたら俺の金すべてくれてやる。ちなみに俺が持っている金額はざつと24万」

「24万……いいぜ!受けてたつてやる!そんで俺に挑んだ」とを後悔させてやる。「

「『決闘』!」

「俺のターン、ドロー！手札から【融合】発動！手札の【クリッター】と【黒き森のウイッチ】の融合して【クリッター】を召喚！さらに速攻魔法【融合解除】！これで【クリッター】の融合を解除して【クリッター】と【黒き森のウイッチ】を特殊召喚！そして2体のモンスターを生贊にして【ダイヤモンド・ドラゴン】を召喚！これでターンENDだ！」

ダ、【ダイヤモンド・ドラゴン】……

「ぐらんでも攻撃表示でだすなよ… 攻撃力2100だぞ？ そして【クリッター】と【黒き森のウイッチ】の効果を使えまあこのデッキに相手モンスターなんて関係ないからいいか

「俺のターン、ドロー。魔法カード【手札抹殺】を発動。お互いの手札をすべて捨て捨てた枚数分デッキからカードをドローする。そして魔法カード【死者蘇生】を発動。これで墓地から【ワイト】を特殊召喚」

「ははははははは… 【ワイト】！？まさかそんな雑魚モンスターを使つているなんてな！？とんだヘボ決闘者デュエリストだぜ！」

「お前にヘボとは言われたくないな！ でもそんな馬鹿にした態度今すぐ消してやる！」

「【ワイト】の特殊召喚に対し速攻魔法【地獄の暴走召喚】を発動。この効果により【ワイト】をデッキから2体特殊召喚。お前は手札、デッキ、墓地から【ダイヤモンド・ドラゴン】を特殊召喚できるぞ！」

「くそ…俺のデッキには【ダイヤモンド・ドラゴン】は一枚しかね

え……でもそんな雑魚モンスター並べたって意味ないぜ!」

「お前は少し黙れ。魔法カード【トライアングル・パワー】を2枚発動。自分フィールドのレバーチューリー通常モンスターの攻撃力、守備力を2000ポイントアップする。2枚使ったので4000ポイントアップ」

「二、攻撃力4300が3体も……」

「そして【ワイト】で【ダイヤモンダ・ドラゴン】に攻撃

「ひい……」

不良 LP-1800

「残りの【ワイト】で直接攻撃ダイレクトアタック」

「うわああああああああーー!」

不良 LP-6200

「俺の勝ちだ。とつとと立ち去れ」

「は、はー!」

ものすげー速さで逃げた不良……かあいつ服のセンスないな……しかももうすぐ冬なのに袖なしの服、むりに蜘蛛をプリントをしてるし……本当にセンスないな……

「あー、ありがとうござりますーー!」

「別にいいよ。偶々通り過ぎただけだし……じゃあ今度から気をつけろよ」

「はいー。」

今思つと不良結構な速さで逃げたよな？あれオリンピックに出れるんじゃねえか？

あつ、自販機に1900円の【サファイア・サイダー】が……購入、

購入

町巡つてたら腹減つたな……」この牛丼屋で食べるか

看板の名前は【牛丼野郎】……いいセンスだ

「へーー！ シコだくの大盛り、お待ちーー！」

「あつー！」これ結構おいしいですねー！」

「そりやどうもーー！ ところであんた、最近この辺でカードを強奪する輩…【バンデット】っていうグループ知ってるか？」

バンデット？ そんな名前のグループ、原作にいたつけ？

「知りません。でも気になるので話してくれません？」

「そりゃかい。実はなーこ最近カード盗みが発生しててよ……それで俺の友達ががさカード盗まれちまつて…」

カードを盗むか……決闘者として許せない行為だな…
これは解決したほうがいいな…

「すいません。そのバンデットっていうグループ……どうぞいるんですか？」

「おーー！もしかして戦いに行くのかー？やめとけー！あいつらは結構強いぞ！」

「そうですよ。戦いに行きます……そしてバンデットを潰すー！」

「……わかった、教えてやる」

その後、サービスでおシン口を貰い話を聞いた……夜、ここに近くのカード店の地下で集まっているらしい…
俺が行こうとした時最後に気をつけろよと黙つてくれました
…この人いい人だな…こういうタイプの人、友達にしたいな…

そこで夜、そのカード店に俺は来ている…のだが…

「何故お前もここにいる」

「しようがないじゃない。海馬社長直々の命令でバンデットを潰せつて言われたんだから…」

サクラ…来てくれるるのは嬉しいだけど相手は不良の塊だぞ？それが

女子の力で勝てるのかどうか…

「少し心配だけど…じゃあ、行くか！」

「ええ！」

「なんだ貴様らー！ここに勝手にはいるぞ……グハッ！！」

「うめんね、こう見えても私少し前まで武術やつてたから」

いきなりサクラが6人の不良を倒した……てかサクラ強つ！！！
これは多分……サクラを連れてきて正解だつたな……

「ねこねこ、テメヒジー！」を誰のアシストだと聞いてんだ？！

リーダー！――

次に出てきたのはアメリカの国旗をバンダナにして頭に巻いてる金髪の男がいた… つてこいつ！

「バンデット・キース！？」

「ほう…まさか俺を知つてゐる奴がまだいるなんてな…今じゃあ俺を知つてゐる奴はそうそういなからビックリだぜ」

「あんたがこゝのワーダーつてことは……」

俺は一瞬考え、ある言葉を口つた

「おい、デュエルしろよ。俺が勝つたら今まで盗んできたカードをすべて返してもいい。俺が負けたらあんたに全部のカードをくれてやる！」

「いいぜ……その条件のつた！？」

「「決闘！」」

第1-2話 魁の童実野町巡り（後書き）

後書きで話すことなし！
よつてすぐ次回予告！

デュエルを始めた俺とキース！
キースが使う『テッキ』は……

機械族、コントロール奪取中心の禁止『テッキ』！？

次回！【落ちた元全米ナンバー1！恐怖のキャノンバーン『テッキ』！】

第13話 落ちた元全米ナンバー1！恐怖のキャノンバーンティック！（前書き）

狩らせてもらいうか！お前のナンバーズを！

現れろ【銀河眼の光子竜】！！破滅のフォトン・ストリーム！

魁「ただいま作者は久しぶりに遊戯王の情報を見に行つたら新しいパック【GALACTIC OVERLORD】というが出るのが知つて大変騒いでおりますが一番の理由は【超銀河眼の光子竜】が出るという噂に盛り上がっておりまます」

出るとしたらいつたいどんな効果なんだろ？……作者的にはこんな感じだと思います

【超銀河眼の光子竜】 LV10 ATK3500 DEF3000

このカードは通常召喚できない。このカードは自分フィールドの【銀河眼の光子竜】をリリースして特殊召喚できる。1ターンに1度フィールド場のモンスター1体をエンドフェイズまで除外する。この効果で除外したモンスターがエクシーズモンスターだった場合、このカードの攻撃力はそのエクシーズモンスターを除外した時のエクシーズ素材の数×500ポイントアップする。このカードがフィールドから離れた時墓地から【銀河眼の光子竜】を1体特殊召喚する。

つて感じかなー……と思つてます。では今回の最強カードはー？

魁「今回の最強カード【スクラップ・ガレージ】遊戯王Rに出てくるオリカだ。

自分墓地に【モーター】と名のついたモンスターが置かれた時発動。墓地のある【モーター】と名のついたモンスターを可能な限り特殊召喚する。この効果で特殊召喚したモンスターの攻撃力、守備力は0になる

これOCG化すれば制限になるんじゃない？」

でさあ……遊戯王Rのオリカ【エンジンチューナー】ありますよね。アレの効果いまいちわからない…まあ関係ありませんけど

第13話 落ちた元全米ナンバー1！恐怖のキャノンバーンティック！

「俺のターン、ドロー！【モーターシェル】を守備表示で召喚！リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

【モーターシェル】？聞いたことがないな？

「俺のターン、ドロー！フィールド魔法【竜の渓谷】を発動！手札の【ドラグニティ アキュリス】を捨て、デッキから【ドラグニティ ファランクス】を手札に加え魔法カード【調和の宝札】を発動！手札の攻撃力1000以下のドラゴン族モンスター チューナーを捨て2枚ドロー！」

墓地費やしもこれほどあれば十分か…
そして手札の状況…次のターン、一気にかたをつけてやる！

「【ドラグニティ ドウクス】を召喚！この効果で墓地の【ドラグニティ ファランクス】を装備！そして装備されてる【ドラグニティ ファランクス】の効果発動！このカードを自分フィールドに特殊召喚する！」▼4【ドラグニティ ドウクス】に▼2【ドラグニティ ファランクス】をチューニング！遙か彼方の空から来る疾風の竜騎士よ！今こそ大地に降り立ちその力を見せ付ける！シンクロ召喚！【ドラグニティナイト ゲイボルグ】！」

「ほお……それがシンクロ召喚か…」

何故キースが知っている…？

…まさかペガサスに負けた事に恨みを持ちそれでペガサスの事を調べてたらシンクロ召喚の事を知ったのか？

まあどうでもいいか

「バトル！ゲイボルグで【モーターシェル】に攻撃！ゲイ・ボルグ！」

「ちつ！【モーターシェル】は破壊された時自分フィールドにモーターパーツを攻撃表示で特殊召喚する…」

「リバーカードをセットしてターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！【キャノン・ソルジャー】を召喚…」

【キャノン・ソルジャー】…

あいつの効果はモンスター1体を生贊にして相手ライフに500ポイントダメージを与えるバーンモンスター…

「魔法カード【天使の施し】を発動！カードを3枚引きその後手札を2枚捨てる！さらに魔法カード【心変わり】を発動！」

「ちょっと待て！【心変わり】は禁止カードだぞ！」

「別にいいんだよ！勝てればな！この効果によりゲイボルグを貰うぜ！そして【キャノン・ソルジャー】の効果発動！モーターパーツとゲイボルグ、自分自身を射出！」

「うわあ…！」

魁 LP2500

「これでターンエンドだ！」

「エンドフェイズ時に永続罠【リビングデッジの呼び声】を発動！」

これで墓地からゲイボルグを特殊召喚！そして俺のターン、ドロー！【竜の渓谷】の効果発動！手札の【レベル・ステイーラー】を捨てテッキから【ドラグニティアームズ レヴァテイン】を墓地に送る！そしてドウクスを召喚！効果によりファランクスを装備！墓地の【ドラグニティアームズ レヴァテイン】の効果！自分フィールドに【ドラグニティ】と名のついたカードを装備したモンスターつまりドウクスを除外して墓地からこのカードを特殊召喚！疾風の共に現れる！【ドラグニティアームズ レヴァテイン】！レヴァティンの効果発動！墓地のファランクスを装備！そしてファランクスを特殊召喚！そして墓地の【レベル・ステイーラー】の効果発動！ギボルグのLVを一つ下げ墓地から【レベル・ステイーラー】を特殊召喚！LV8【ドラグニティアームズ レヴァテイン】にLV2【ドラグニティ ファランクス】をチューニング！烈火の炎より生まれし竜よ！今その姿を現しこの大地を炎で包め！シンクロ召喚！焼き尽くせ！【トライデント・ドラギオン】！

ドラグニティデッキの主力トライドラ。こいつがいるからこそドラグニティは1killeが出来るようになつた。

しかしここつてシンクロ召喚した時はまだ顔が一つしかないのか
「【トライデント・ドラギオン】の効果発動！このカードがシンクロ召喚に成功した時自分フィールドのカードを2枚まで破壊する！そして破壊した枚数分このターンこのモンスターは追加攻撃できる！この効果によりステイーラーを破壊！」

バクつ！食われたステイーラー……すまんな。いつも出でては生贊要員、シンクロ召喚にいつたり…
お前は最高のモンスターだ…

しかしトラドラが食つた後首が一つ生えた！なるほど食つたら頭が出てくるのか

「これで終わりだ！【トライデント・ドラギオン】でキースに直接アタック攻撃！ファースト・ブレイズ！」

「ぐつ……罠発動！【ダメージコンテンサー】！自分が戦闘ダメージを受けた時手札を1枚捨て発動！自分が受けたダメージより攻撃力が低いモンスターをデッキから特殊召喚する！この効果によりデッキから【モーターバイオレンス】を特殊召喚！」

キース LP1000

「何をしようが無駄だ！【トライデント・ドラギオン】で【モーターバイオレンス】に攻撃！セカンド・ブレイズ！」

「引っかかりやがったな！速攻魔法【リミッター解除】！これで【モーターバイオレンス】の攻撃力を倍にする！迎撃しろ！【モーターバイオレンス】－リミット・ブレイク・ブラスト－」

「そんな！ぐわあ！」

魁 LP1300

「くそ！リバースカードをセットしてターンエンド！」

「ハンドフェイズ時【リミッター解除】の効果発動！この効果により【モーターバイオレンス】を破壊！【モーターバイオレンス】の効果発動！このカードが破壊された時自分フィールドにモーター一下子を特殊召喚！そして罠発動！【スクラップ・ガレージ】！【モ

「ターラー」と名のついたモンスターが墓地に送られたとき墓地の【モーターラー】と名のついたモンスターを攻撃力、守備力を0にして可能な限り特殊召喚する！この効果により墓地から【モーターバイオレンス】【モーターシェル】【モーターカイザル】を特殊召喚！

「…こいつのデッキがわかった…」

キースのデッキは【モーター】を中心としたビート&バーン【モーター】モンスター共有のモーターパーツをフィールドに残しておく効果を使ってフィールドにモーターパーツの置き生贊要員にしたり【キャノン・ソルジャー】の効果使いダメージを与えるデッキ：

さすが元全米ナンバー1…落ちてもここまで強いとは…

「俺のターン、ドロー！モーターパーツ2体を生贊にして【デモニック・モーター・】を召喚！さらに【魔法カード】天よりの宝札【死を発動！これでお互いの手札を6枚にする！そして【魔法カード】死者蘇生】…これで墓地から【キャノン・ソルジャー】を特殊召喚！【キャノン・ソルジャー】の効果発動！【モーターバイオレンス】【モーターシェル】【モーターカイザル】を生贊にして相手に1500ポイントのダメージを与える！」

「リバースカードオープン！【ピケルの魔法陣】…このターン受ける効果ダメージを0にする！」

穴埋めのカードで助かるとは…サンキュー
しかしキースは強い……だからこそ気になることがある…

「まだだ！【デモニック・モーター・】でゲイボルグに攻撃！」

「ゲイボルグの効果発動！このカードが戦闘を行うダメージステッ

普時に1度だけ、自分墓地に存在する鳥獣族モンスター1体をゲムから除外して発動！このカードの攻撃力をエンドフェイズ時まで除外したモンスターの攻撃力分アップする…これで迎撃だ！…ゲイ・ボルグ！」

「くそが！」

キース LP300

「リバースカード3枚セットしてこれでターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！…おいキース…なんでお前、盗みなんてやつてんだ？」

「あつ？」

結構ドスの聞いた声で返事するな…怖…
でも気になるから聞くんだ

「そんなに強いのになんで盗みなんてするんだ？そのカードはすべてキース……お前のだろ？」

「こいつのカードを見れば普通にわかる…
とこねどこねに傷がついてるし曲がっている…これは初心者だも結構あるが…一番の理由は…
「……それがどうした…」

「お前はカード・プロフェッサーになってから金の亡者になり勝つためならイカサマもした……それでもデュエルモンスターズを始め

た時はただ純粋に楽しんでたんだろ?」

「…どう考へても長年使われて古ぼけたカードの裏と軽い血の跡…
それは何万回もカードをドローしてできた跡…
これだけあれば昔から使つてことがわかる…」

「…………どう…だらうな……でも俺は俺を蹴落としたペガサスと城
之内に復讐すると決めたんだ!!だから強くなる為にカードを盗み
をデッキを強化し俺は復讐しようと…」

「それは違つてる!!元々デュエルというのはその名の通り決闘!
誰かが勝てば誰かが負ける!そして再び勝つ為に這い上がる!お前
は決闘者としてペガサスと城之内に戦うのか!?それとも復讐者と
してペガサスと城之内に戦うのか!?」

「それは決闘者として決まつてんだろうが!!だからこそ俺はカー
ドを「決闘者」としてならそれは復讐じゃなくてリベンジだ!あんた
はただ勝ちたいだけなんだ!ペガサスと城之内を倒したいんだろ!
あんたがゆういつ負けた決闘者だから!」違う!あの2人は俺を決
闘者としての地位を蹴落としたから復讐するんだ!」

「それはあんたの勘違いだ!!負けたから復讐とは名だけのリベン
ジをしたいんだ!それを今教えてやる!

手札の【デッペル・ウォリアー】を捨て、デッキから【Sionトゥル
ース・ドラゴン】を墓地に送る!そしてエクストラデッキの【スタ
ーダスト・ドラゴン】を除外して手札から【Sionスター・ダスト・
ドラゴン】を特殊召喚!「

「させるか!罠発動【激流葬】!この効果によりフィールドのモン
スターをすべて破壊する!」

「墓地の【シートウルース・ドラゴン】の効果発動！自分フィールドの【シート】と名のついたモンスターが破壊された時ライフを半分払い特殊召喚する！矛盾超えし真実の竜！【シートウルース・ドラゴン】！」

魁 LP650

「攻撃力5000だと！？」

「さらに魔法カード【手札抹殺】！お互いの手札をすべて捨て、捨てた枚数分デッキからカードをドローする！そして手札のモンスター【ボルト・ヘッジホッグ】を捨て【クイック・シンクロ】を特殊召喚！さらに自分フィールドにチューナーがいるので墓地から【ボルト・ヘッジホッグ】を特殊召喚！」LV5【クイック・シンクロ】にLV2【ボルト・ヘッジホッグ】をチューニング！！心を閉ざしている間に熱き力をぶつけろ！シンクロ召喚！燃え上がり【ニトロ・ウォリアー】！そして速攻魔法【サイクロン】を発動！これでリバースカードを破壊！」

「破壊されるリバースカードをオープン！永続罠【リビングデッドラゴン】を発動！これで墓地から【モーターバイオレンス】を特殊召喚！【サイクロン】でリビングデッドラゴンを破壊！これで【モーターバイオレンス】も破壊！【モーターバイオレンス】の効果発動！このカードが破壊された時モーターパーツを2体を攻撃表示で特殊召喚！さらに永続罠【スピリットバリア】！自分フィールドにモンスターがいる限り自分に発生する戦闘ダメージは0になる！」

「それは読んでいた！速攻魔法【エネミーコントローラー】を発動！この効果によりモーターパーツ1体を守備表示にする！」

「はっ！そんなんの意味があるー！」

意味はあるさー！俺はいつでも無駄なコンボをしない性格なんでね！

「バトル！【ニトロ・ウォリアー】で攻撃表示のモーターPARTに攻撃！ダイナマイト・ナックル！」

「けど永続罠【スピリットバリア】の効果でダメージは止むー！」

「【ニトロ・ウォリアー】の効果！このカードが相手モンスターを破壊した時相手フィールドの表側守備表示モンスターを攻撃表示にして続けてそのモンスターに攻撃できるー！」

「馬鹿なー！」

「【ニトロ・ウォリアー】でモーターPARTに攻撃！ダイナマイト・ナックル、ニイレンダアー！」

「俺が……また……負ける……」

「トゥルース・ドラゴンでキースに直接攻撃！矛盾を超えた先の真実！」

「がつ……

キース LP - 4700

「…………どうだキース、今あなたは落ちて地位なんてない。だから俺はあんたを蹴落とす事なんてできない。そして俺とのデュエルに負けた……今あんたは俺の事をどう思つ？」「

「…負けた事が悔しい…だから今度はお前にも復讐する…」

「それをリベンジって言つんだ……確かに地位が蹴落とされペガサスと城之内を復讐をするというのはあるだろつ……だけどお前が一番思つてることペガサスと城之内…そして俺に決闘者としてリベンジすることだ」

「…………」

その後不良達は逃げサクラは警察に電話、カード窃盗団【バンデット】を率いていたバンデット・キースは警察に連衡…だけど連れかれる時キースは邪気がない笑顔をしていた…たぶん最後に言ったあの言葉が効いたんだな

今度はただの決闘者として一緒に楽しく決闘しよつな

デュエリスト

デュエル

いつまでも忘れてはいけないこと…楽しくデュエルすること…それだけは絶対に忘れてはいけないんだ…

第13話 落ちた元全米ナンバー1！恐怖のキャノンバーンティック！（後書き）

はい、今回初めて心理フェイズを行いました。
書くの難しい！そしてまた軽くタイトル詐欺じゃね？
では次回予告！

すでにここに来てから数日たつたな……
えつ？ペガサスと面会できる？
よっしゃ！早く行こう！

次回！【ペガサスの訪問！情報提供と決闘】

次回もお楽しみに！

第14話 ペガサスの訪問！情報提供と決闘（前書き）

……早く、アカデミアに戻りて……童実野町編のネタが尽きたから早く戻りてー

そして早くセブンスターズ編書きでー

魁「愚痴つても仕方ないだろ。書いたお前が悪い
では今回の最強カードは【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】！

このカードは通常召喚できない。自分フィールドに【トウーン・ワールド】が存在する場合のみ特殊召喚できる。（LV5以上はリリースが必要）

相手フィールドに【トウーン】モンスターがないならこのカードは直接攻撃できる。【トウーン】が存在する場合【トウーン】に攻撃しなければいけない。フィールドの【トウーン・ワールド】が破壊された時このカードを破壊する。墓地の【ブラック・マジシャン】【マジシャン・オブ・ブラックカオス】1体につき攻撃力を300ポイントアップする

原作だとペガサスしか持つてないからすべてのモンスターは相手プレイヤーに直接攻撃できると同じなので原作だと恐ろしいほど強いぞ

気になる疑問を一つ

【ブラック・マジシャン・ガール】と【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】ってどっちのほうが人気あるんでしょうか？
作者は口うironだからトウーンのほうが好きです。

第14話 ペガサスの訪問！情報提供と決闘

キースと戦つて数日が経ちました……
俺のデュエルディスクは順調に直っています

しかし海馬邸はすごいね……風呂は露天風呂があつたりベッドはで
か過ぎ……召使も結構いたし……海馬社長のカードトランクは50個以
上あつたし……料理なんて牛フィレ肉フォアグラソースとか出てきた
し……

料理なんて高級過ぎて海馬社長に言つて俺は外食したし……あつサク
ラは海馬邸で食べていますよ

海馬社長を改めてさすが世界を統べる大金持ちだなと思いました。
こんな人間がどうしてエネコンを使って音M A Dや全速前進
D Aだとか……後、海馬社長再び俺と戦つて勝つた時の高笑い……
いい大人がなにやつてんだが……ちなみに海馬社長との戦いでのフ
ィールド状況は

海馬社長のフィールド

【青眼の究極竜】ブルアイスク ルテイキタツヨン × 2

【F・G・D】ファイブ・ジード × 3

【王冠のお触れ】（この時はまだセットされてる状態）

（先攻1ターン目）

……勝てるか！？

どうすればこんな状況になるんだよ…? びっくりしたかわかるけど…
と来た時から今日まで【エメラルド・ソーダ】(2400円)を
飲みながら思い出してる俺、魁でした

そりて数日後、KCの社長室で海馬社長に会っているんですが……
また増えましたねスケジュール…

「ああ、そうか。では早速そっちに向かわせる」

『わかりました』

誰かと電話している海馬社長……まあ代々想像できるけど

「魁、サクラ。今から二社に向かう。即刻に荷物の準備をしつけ

「はい」

やつとペガサスと会えるのか…エクシーズカードを準備しそんない
とな…

今思つたけど「EXA」に出てくるトロント【トゥーン】デッキ
使って言う噂本当かな?

でもいいか。もう現実世界に行けないから出てきたとしても手に入
らないし

とこう訳で劇場版光のピラミッドでペガサスがいた小島に着いたよ。
確かここってペガサスの至福の時では……ペガサス仕事しろー！
そのまま進んでいくとへりひこでるペガサスが……

「…………」「」

流れる沈黙……あの海馬社長も黙つてしまつている……

「すいません、海馬社長。私帰つてよろしいでしょつか？」

「……勝手にしろ」

「いや、帰つちゃダメだよ、サクワ」

「だつてさ……」

「言つたな」

サクラが言いたいことはよ――――くわかる。でもさすがに帰るのは……

あつ海馬社長がスタスター、ペガサスのところに行つて……トランクをぶつけた！

「ノ――――――！」

そのままペガサスは飛びプールにダイブ。いや仕方ないと思つよ

「ペガサス！こつちが来るといつ事を知つてゐるだろー！貴様はふざけているのか！」

「ストップ！ストップ！」のままだと私が死んで世界がマンマニー
ヤ！」

……ペガサスってこんなキャラだつて？

「とりあえずペガサス社長、始めまして宗野魁です」

「久しぶりですね、ペガサス」

「オー！あなた達が未知の召喚を使う宗野ボーイですか？」

こいつに来てペガサスが話す… とりあえず左のおでこから血が出て
ることは黙つておこうか

その後しばらく雑談、エクシーズについて説明
ペガサスにも俺が転生者つて事は話しておいた
さらに移動… 旧式の決闘場デュエルホールドに着いた。蜘蛛の巣がない… ちゃんと手
入れしてるんだね

「では宗野ボーイ…… エクシーズ召喚がどれほどの物か、見させて
もらいまース」

「わかつてますよ」

そつとつてお互いに自分のデッキをフィールドに置く

「「デュエル 決闘！」」「

「私のターン、ドロー！私は1000ライフを支払い手札から永続
魔法【トーン・ワールド】を発動！」

ペガサス LP3000

やつぱりいつも通りの【トウーン】か…ライフ4000だとあの「トッキきついんだよな…」

「さりに魔法カード【トウーンのもくじ】を2枚発動！デッキから【トウーン・チヨミナイ・エルフ】と【ブルーアイズ・トウーン・ドリゴン】を手札に加えます！」

「ちつ…ペガサスめ…まだ俺にあの惨めな姿を拝ませるつもりか…」

「そんなことを言つんじゃあいません、海馬社長」

イライラしている海馬社長をサクラが注意している……大の大人が何やってるんだか

「そして私は【トウーン・ゴブリン突撃部隊】を召喚しますー…さらに対バースカードを2枚セットしてターンエンドデース！」

「俺のターン、ドロー！【ゴブリングドバーグ】を召喚！効果により手札から【グリーン・ガジェット】を特殊召喚！【グリーン・ガジェット】の効果発動！デッキから【レッド・ガジェット】を手札に加える！」▼4の【ゴブリングドバーグ】と【グリーン・ガジェット】でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【N.O.・39希望皇ホープ】！

『ホオオオオーフツ！』

「グレイトー！これがエクシーズ召喚というのですか…これはエ

クセレント！…ぜひ工2社に欲しいですね！」

「そうですか！ありがとうございます！でもデュエル中なんでそれはまた後で！ホープで【トウーン・ヂュミナイ・エルフ】に攻撃！ホープ剣スラッシュ！」

「カウンター罠【攻撃の無効化】！これであなたのモンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させます！あなたに私の愛しのトウーンモンスターに手を出させまセーン！」

「ならリバースカードを一枚セットしてターンエンド！」「ならエンドフェイズに速攻魔法【サイクロン】！これであなたのリバースカードを破壊します！」げつ！【エクシーズ・リフレクト】が…

さすがにデュエルモンスターの生みの親……無駄な動きがない…やつぱり知り尽くしてるか…

「私のターン、ドロー！手札から魔法カード【強欲な壺】を発動させます！これで2枚ドロー！魔法カード【コストダウン】を発動させます！この効果により手札の【トウーン・ヂュミナイ・エルフ】を捨てこのターン中私の手札のモンスターのレベルは2下がります。そして【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】を特殊召喚！バトル！【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】と【トウーン・ゴブリン突撃部隊】で直接攻撃^{ダイレクトアタック}！これで私の勝ちデース！」

「そんな簡単に勝たせると思いますか？希望皇ホープの効果発動！このカードに乗ってるオーバーレイユニットを1つ取り除く事で相手モンスターの攻撃を無効にする。俺は2つ取り除き【トウーン・ゴブリン突撃部隊】と【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】の攻撃を無効にする！ムーンバリア！！」

「ワツツ！？これは予想外な事ですか希望皇ホープ……グット！グレイト！ワンドフル！エクセレント！こんなカードがあるなんて……現実世界はとても面白いですね！だけど今度は【トウーン・ゴブリン突撃部隊】を生贊にささげ【ブルーアイズ・トゥーン・ドラゴン】を特殊召喚！これでターンエンドデース

「俺のターン、ドロー！【切り込み隊長】を召喚！この効果で手札から【レッド・ガジェット】を特殊召喚！【レッド・ガジェット】の効果でデッキから【イエロー・ガジェット】を手札に加える！さらに魔法カード【^{デュアル}重召喚^{サモン}】を発動！このターンもう一度通常召喚できる！この効果でさらに【切り込み隊長】を召喚！この効果で手札から【イエロー・ガジェット】を特殊召喚！【イエロー・ガジェット】の効果でデッキから【グリーン・ガジェット】を手札に加える！そして俺は[△]3の【切り込み隊長】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【ノ・17リバイス・ドラゴン】！」

「また新たなエクシーズモンスター……オウ！グレイト！」

このままレッドとイエローでホープ出したいたけどペガサスにエクシーズモンスターはこんなのがありますという感じで入ってるからエクストラデッキにはエクシーズモンスターは1種類、1枚しか入つてないからホープが召喚できないんだよな……

「さりに」[△]4の【レッド・ガジェット】と【イエロー・ガジェット】でオーバーレイネットワークを構築エクシーズ召喚！【イビリチュア・メロウガイスト】！

「ワンドフル！」

さつきからエクシーズモンスターが出るたびに歓喜してるな。いい加減ほかの言葉も出せよ

「リバイス・ドラゴンの効果！オーバーレイコニットを1つ取り除き攻撃力を500ポイントアップ！そして魔法カード【クロス・アタック】！自分フィールドに同じ攻撃力持つモンスター2体を選択にして発動！このターン選択したモンスター1体の攻撃を放棄しもう1体モンスターは直接攻撃できる！この効果で希望皇ホープの攻撃を放棄しリバイス・ドラゴンで直接攻撃！バイス・ストリーム！」

「ワオッ！！中々やりますね」

ペガサス LP500

「さりに【イビリチュア・メロウガイスト】で【トゥーン・ブラック・マジシャン・ガール】に攻撃！スピリットバーン！」

「なつ…【トゥーン・ブラック・マジシャン・ガール】が倒されるとは…」

ペガサス LP400

「倒しあしたけど墓地にはおくらねえよ！【イビリチュア・メロウガイスト】の効果発動！このカードが戦闘で相手モンスターを破壊したダメージ計算の後オーバーレイユニットを取り除きそのモンスターを墓地に送らず持ち主のデッキに戻す！これでターンエンド！」

結構危ない戦いだな……いくらライフが4000あつても【トゥーン】は相手モンスターに直接攻撃できる効果がある……召喚、反転

ダイレクトタック

召喚、特殊召喚したターン攻撃は出来ないけど【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】は別…あのモンスターだけは召喚したターンでも攻撃できるからな……もし」のターンでまたドローしたりサーチカードの【トウーンのもくじ】を引けば大ダメージだな…でもブルーアイズ・トウーンは攻撃する時ライフを500払わなければいけない…つまりブルーアイズ・トウーンは攻撃できない…そしてこの並び…恐らく大丈夫だ！

「（あつ魁がなにか考えてる。ダメでしょ、考えちゃ…今すぐ考えるのをやめないと…）」

「私のターン、ドロー…手札から魔法カード【命削りの宝札】を発動デース！この効果で手札が5枚になるようにドローしマース！…宗野ボーカル…このデュエル、私の勝ちデース！」

「なんだって…？」「（あひゅー……やつぱりやつちやた…）」

【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】を2枚引いたのか？いやそれだと…都合ドローすぎる！

「手札から魔法カード【魔法石の採掘】を発動！手札のカードを2枚墓地に捨て墓地から【トウーンのもくじ】を手札に加えます！そして【トウーンのもくじ】を発動しデース！これでデッキから【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】を手札に加えます！【トウーン・キャノン・ソルジャー】を召喚！そして【トウーン・キャノン・ソルジャー】を生贊して【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】を特殊召喚！そして装備魔法【巨大化】を【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】に装備！これで【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】の攻撃力を倍にします！」

攻撃力が4000……そして直接攻撃……俺負けじゃん！墓地に【

ネクロ・ガードナー】は……ない！当たり前か

【トウーン・ブラック・マジシャン・ガール】で直接攻撃！！

「ちょっと！なんで杖を振り上げ……痛つ……！」

魁 LPO

なんで杖で殴るんだよ！ブラバ撃てよ！ブラバを！

「ふう……とてもグレイト・イズ・ビューティフルなデュエルでした。エクシーズ召喚……採用しましょう！」

これで今回の目的は終わったな……ああ……早くディスク直んねえかな……

第14話 ペガサスの訪問！情報提供と決闘（後書き）

ちなみに今回ペガサスが使ったテックは昔私が使つてたテックに【命削りの宝札】を入れただけのテック。【トゥーン・ブラック・マジシャン・ガール】からの巨大化、本当にお世話になつた。サクラの考へることが魁に通じれば魁は勝てたかもな……無理かでは次回予告！

ディスクが直つてついに俺は帰つてきた！

久しぶりにレッドの飯食いたいな……

こうぞこーーー！レッドの飯はまずいとか言つたな！

次回！【魁の帰還！】

次回もお楽しみに！

第15話 魁の帰還！（前書き）

ついにアカデミアに帰ってきた！これで原作にそつて書くから早く執筆できるぜ！

魁「やつを前書きを終わらせるよ。今回の最強カードは【メタモルポット】

このカードの効果はリバース効果。お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドローする

作者いわくこのカードが台本繋げに使えるとか…主に俺の

だつて主人公に【命削りの宝札】とか【強欲な壺】が使えないんだよ！仕方がないじゃないか！

第15話 魁の帰還！

ふふふ……ははははは……

「はーっはーっはーっはーっはーっはーっはーっはーっ…」

「魁、少し黙つて」

「あっ、はい」

ただいま俺は船に乗つてあるところに向かつてます。
そのあるところは……『ユエル・アカデミア』。

そうついに『ユエル・ディスク』が直つたのだ！しかも『デザイン』が少
し違う

俺は黒を基調にところどころ白を入れた感じ、サクラも同じ『デザイ
ン』の『ユエル・ディスク』を付けてます……あっ、ちゃんとオシリスレ
ッドとかオベリスクブルーの色、赤と青は入つてるからな
しかし海馬邸の料理は豪華過ぎて食べづらかった……でも俺は『ユ
エル・アカデミア』に帰つてきた！！

はあ……早くオシリスレッドの料理が食べたい……
そりや、確かに主食は『ご飯』とめざしだけどたまに『エビフライ』
あれはうまい……

豪華料理を見ると貧しい料理が食べたくなるつてあれ本当だね。今
回、海馬邸行つてそれがよくわかつた
今日のオシリスレッドの食事は何かな……冷奴、サラダ……どれも
久しぶりに食べたいな……

「…まだれててるよ」

「えつ？ああ、すまん」

もっと速く進めーこの船ー俺は早く帰りたいんだ！

十代Side

魁が海馬さんとの事情がアカデミアを去つてから結構経つたな……魁がいなくなつてから色々あつたな……万丈目がアカデミアを出行つたり、S A Lとデュエルしたり、魁とサクラがデュエルしたところでサイコ・ショックカーとデュエルしたり……結構すごいことを起きてたな。でもどれも楽しかったからいいか……

でも今は綾小路先輩とテニスをやつている……なんでやつているかって？

はは、実はクロノス教諭にボールを当てちまつてその罰として綾小路先輩にじごかれてる……

「十代君、よそ見してるとー」

「えつ？わあー！」

俺が撃つた球がコートの反対側、つまり生徒が歩く通路の飛んでいつてしまつた。その先には俺と同じオシリスレッドの生徒が一人とオベリスクの女子が一人歩いていた、まずいーこのままだと…

「あだつ……」

とか思つてゐるそばから当たつた。大丈夫かあいつ……？

「おい大丈夫か……！」

「はい大丈夫です……って十代……？」

「魁！……」

そこには『テュエルティスク』の『デザイン』が結構違くてオシリスレッドの制服を着た魁がいた……

「久しぶりだな魁！何ヶ月ぶりだ！？」

「半年ぐらいかな……ところで十代、お前なにやつてんだ？」

「ああ、実は今綾小路先輩とテニスしててさ……ところでその『テュエルティスク』どうした？」

「ああ、これはなエクシーズ召喚のテストプレイヤーとしての証。サクラも同じのつけてるぞ」

言われてサクラのほうを見ると……本當だ。同じ『デザイン』だ、しかし俺もこの『テュエルティスク』付けたいな……

「ちょっと十代君！早く続きを……」

綾小路先輩がなにか喋りつとしてたけどそれが途中で止まつた。何でだ？

「セシのオシリスレッジ……相の如何は？」

「宗野魁です。それがどうしたんですか？」

「僕ヒューリルしろ……」

「……はあー？」

「俺と魁とサクラをして明日香がハモッた……なんでいきなりヒューリルするんだ？ 理由がないだろ？」

「そんなの、ヒューリルサクラ君とペアルックをして！ そんなの僕が許すと思つか！ だからヒューリルしてビッチがファインセになるか決めよ！」

…………むりくびりくびりだる…………

魁Side

「ビッチがファインセになるか決めよ！」

なんだこの馬鹿。俺がサクラヒペアルック？ お前ペアルックの意味知ってるのか？

だいだい、サクラと付き合わないほうがいいぞ。後の出来る息子達

がすごいことやらかすから…

でもオシリスレッドの飯の時間まで全然あるしな……よし暇つぶしにデュエルするか！

「いいですよ、受けてたちます」

「ふつ、よくぞ言った！それでこそ男だ！」

今回はどうんなデッキにしようかな…あまり使わない【ハンデス】にするか？それとも出番が奪われた【フルバーン】にするか？または【ロック】にしようかな……悩むな…

よしランダムにするか！デッキホルダーからデッキを取り出しシャツフル…

そしてその内一つをデッキにセット…これでよし！…いつたいどんなデッキかな？

「『^{デュエル}決闘！』」

「先攻は俺からだ。ドロー！」

あつ、今日はたちの悪いハンデスか…

「モンスターをセット！リバースカードを3枚セットしてターンエンド

「手札事故かい！？僕のターン、ドロー！「ドローフェイズに永続罠【真実の眼】このカードが存在する限り相手は手札を公開しなければいけない」なんだって！？」

この人の手札は…

【サービスエース】

【メガ・サンダー・ボール】

【サービスエース】

【スマッシュ・ボール】

【ゴキボール】

【ファイア・ボール】

「聞いた事がないカードが多くあるな…アニメオリカか？」

しかしこいつのデッキはなんだ？ボールというカードが結構あるな…まさか…ボールと名のついたカードを適当にいれたデッキか？そしたら俺はこいつを徹底的にハンデスさせよう

「さりに罷発動【マインドクラッシュ】！このカードは自分はカード名を一つ宣言する。宣言したカードが相手手札にあればそのカードを墓地に送る。俺は【スマッシュ・ボール】を選択」

「ぐつ！【スマッシュ・ボール】はある！よつて墓地に送られる！僕は【ゴキボール】を召喚！バトル！セットモンスターに攻撃！」

「セットモンスターは【メタモルポット】。【メタモルポット】の効果発動。お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドローする

「僕のボールが…」

今思つたけど【マインドクラッシュ】の使いどじ間違えたな。メタモルやつた後にすればよかつたさてさて、お次の手札は…

【混沌球体】スフィア・オブ・カオス

【サービスエース】サービスエース

【ホーリーシャインボール】ホーリーシャインボール

【神聖なる球体】神聖なる球体

【レシーブエース】レシーブエース

【伝説のビッグサーバー】伝説のビッグサーバー

……やはりボールデッキか？しかしながら聞いた事がないカードが……

「僕はリバースカードをセットしてターンエンド！」

【レシーブエース】を伏せたか

「俺のターン、ドロー！魔法カード【暗黒界の取引】を発動！お互いのプレイヤーはカードを一枚ドローしその後一枚捨てる。僕は【暗黒界の導師セルリ】を墓地に送る！」

「なら僕は【神聖の球体】を捨てる！」ホーリーシャインボール

引いたカードは【デュース】……いつたいどんなデッキなんだよ？

「【暗黒界の導師セルリ】の効果発動！このカードがカードの効果で捨てられた時相手フィールドに表側守備表示で特殊召喚する！」

「僕のフィールドに！？」

「そしてこのカードが【暗黒界】と名のついたカードの効果によって特殊召喚に成功した時相手は手札を一枚捨てる！まあ俺の事だ」

「自分で自分の手札を捨てる…？」

「『J』の効果で【暗黒界の軍神シルバ】を捨てる！シルバの効果発動！このカードがカードの効果で捨てられた時特殊召喚する！さらに効果発動！このカードが相手のカードの効果で捨てられた時相手は手札を2枚選択してデッキの一一番下に置く！」

「くつ！（手札に【サービスエース】と【デュース】を残しておきたいけど今の状況では役に立たない……戻したくないけど、これを戻すしかないか）僕は手札の【サービスエース】と【デュース】をデッキの一一番下に置く！」

おっアニメ専用オリカを送つてくれた。アニメ専用オリカつて怖いからな…戻してくれてありがとう！

「そしてリバースカードオープン【魔のデッキ破壊ウイルス】を発動！この効果で攻撃力2000以上の闇属性モンスター、シルバを生贊にして相手の手札、及びフィールドの攻撃力1500以下のモンスターを破壊する！」

「僕の手札とモンスターが…！」

これでお前の手札はハンドレス！いやスッキリするね

「そして速攻魔法【サイコロン】を発動！サイコロを振り出た目によつて効果が決まる…出た目は3！よつてあなたのリバースカード【レシーブエース】を破壊！」

「なつ…僕の青春のすべてが！」

青春？なんのことと言つてるんだこいつ？頭大丈夫か？いい病院紹介するぞ

「そんで【暗黒界の魔王プロン】を召喚。そして直接攻撃」

「うわあー！」

綾小路 LP-2200

「そしてプロンの効果発動！このカードが相手に戦闘ダメージを与えた時自分は手札を1枚捨てることができる。この効果で手札の【暗黒界の武神ゴルド】を捨てる！そして、ゴルドの効果発動！このカードがカードの効果で捨てられた時特殊召喚する！この効果で「ゴルドを特殊召喚！これで終わりゴルドで直接攻撃」

「うあああああ！」

綾小路 LP-1100

「そんな……ぼぐのせいじゅん……ぼぐがまげるなんで―――――！」

「鼻水と涙を出しながらものすごい勢いで逃げた……あいつも結構速いな……ところであいつの名前なんだ？」

「さすがだな魁！久しぶりにお前の『ヒュエル見たけどやつぱり強いな！』

「恐ろしいテックキね……ピーピングとハンデスを両方行うなんて…」

いや大抵のテックキはピーピングしながらハンデスするよ？このテックキはピーピング、ハンデス、場の除去そして自分をハンド

レスにある、たちの悪い + 事故率が高いデッキだぞ？

「ところで魁……」

「なんだ明日香？」

「あなた……サクラのファインセになるの？」

「サクラのファインセ？あー……そんなこと言つてたな……誰がなるか！あんなナンバーズハンター、銀河美少年の血筋に性的な意味で関わりたくないな！」

「やつにえはファインセってなんだ？」

「お前の心はおじちやまなか純粹なのや……わからんぞ十代

「俺はサクラのファインセにならない。あれはあいつが勝手に言つた事だ。勝手に勝つたほうの賞品にされてるサクラの気持ちも考えずになるなんて変態がすることだ」

「……今、さりげなーーーく、綾小路先輩を変態つて言つたぞ……」「

あいつ綾小路つて言つのか……ぶつちやけあいつほどりでもこいつけど

「やつにえ、魁一つ聞きたことが……」

「なんだよサクワ」

「魁つてどう？」「

「 「 「えつ？」」

こんな空気になつて会話は終了…

その後オシリスレッドの「ご飯…大徳時先生優しい！俺が帰つてきたから態々記念にバーべキューにしてくれた！

この普通の肉の感じ……美味しくてたまらん！

しかしながらサクラは俺をドSと言つたんだ？そんな事を考えながら俺はオシリスレッドのみんなとバーべキューした

第15話 魁の帰還！（後書き）

では早速次回予告！

遊戯のデッキが展示される？

別に俺は興味ないけどな…

…えつ？遊戯のデッキ盗まれた！？

次回！【伝説との対面！開闢の使者∨S混沌の騎士】

次回もお楽しみに！

第16話 伝説との対面！開闢の使者VS混沌の騎士（前書き）

今回はみんな大好き！開闢が登場するよ！

魁「では今回の最強カード【カオス・ソルジャー 開闢の使者】！」
このカードは通常召喚できない。墓地にある光属性と闇属性モンスターを除外して手札から特殊召喚できる。1ターンに一度以下の効果を1つ選択して発動できる

フィールド場のモンスター1体を選択して除外する。この効果を使用したターン、このカードは攻撃できない
このカードの攻撃によって相手モンスターを破壊した時もう一度だけ続けて攻撃できる

何々でのみ特殊召喚できるとは書かれてないから正規召喚した後なら【死者蘇生】【リビングデッドの呼び声】で特殊召喚できるぞ！」

このカードは光属性だから【オネスト】に対応して戦闘に対してもほぼ無敵の実力を誇る！！
……なんでこいつ制限復帰したの？
個人的にはこれは永久禁止なんだけど……

第1-6話 伝説との対面！開闢の使者VS混沌の騎士

ただいま私こと宗野魁はサクラと一緒に食堂で昼食を食べております

「なあサクラ……」

「なによ、デッキ構築の相談？」

「違う。俺が聞きたいのは何故デュエルキング武藤遊戯のデッキが公開されるだけでこんなに騒ぐんだ？」

さつから食堂がうるさい……

武藤遊戸のデッキが公開されるとか言っているが俺はビックも思わない！
だってデッキ内容、予想では結構事故率がすごいからな……しかもうまくはまつてもあまり強くない。しいて使うならネタデッキしか使えないトーナメントでやるデッキぐらいだろう

しかもひどくぶっちやけるとアテムより遊戯のほうが強いぞ？【ガジェット】って事故率低いし手札温存できるし機械族だから【キメラテック・オーバー・ドラゴン】や【キメラテック・フォートレス・ドラゴン】【マシンナーズ・フォートレス】とかの融合素材や特殊召喚のコストにできるし……困った時は【ガジェットブースト】で【リミッター解除】どう考へても遊戯のほうが強いだよな……あつアテムには好きなときにデッキのカードをドローできるチートあるんだっけ？まあそれでも遊戯のほうが強いけどたくアテムも【ブラック・マジシャン】中心にすればそれなりに強いのにな……

「私もそれ思うよ。武藤遊戸だって所詮はただの1人の人間、神と

「それはさすがに言ひすぎだぞ、サクラ」

アテムの「デッキで思い出したんだけど俺も昔は無謀なデッキ作った

な……

例えば【神混合デッキ】三幻神、三幻魔、三邪神、三極神を入れた
デッキ……あれはあまりにも無謀だつたな……
後【あらゆるHERO混合デッキ】^{トレンデンタルデスクトップ}E・E・D・M・Vをほぼべ
て入れたデッキ……漫画版HERO + アニメHEROを入れるのは
まだいいだろう……しかしそれも一枚ずつは無謀だつたな
最後に【超融合！時を越えた絆デッキver.2】……あれはまだ大丈
夫だったけどさすがにアテム、十代、遊星、遊馬を組み合わせたの
は軽く無謀だった

でも散々アテムのデッキ叩いたけどロマンがあつていいね、デッキ
への愛が感じられるよ……

よしー久しぶりに無謀なデッキ組むのもいいか！……まあ多少は回
るようにするんだけど……

という訳でデッキ作成しそぎた結果夜になつたぜ！

これは半分無謀だな……なぜならもしも【漫画版明日香がDTの氷結
界を入れたデッキを使つたら？】というデッキを作つてしまつた…
…もちろん氷結界のシンクロモンスターは入つてない！
……デッキの名前がどこかの小説に似ているが気にしない、気にし
ない……

でもロマンがあつていいね……まあ使つかないけどさて次はどんなデッキを作りつかな…

数 きれな 花び をーー犠 にしてき ——

おおつと絶望のアボーリアが流れてるな……すいません、切望のフ
リージアでしたね
しかしこの通信端末の着つたを変えました。だつて適当にいじつた
ら変えられたんだもん！……キモいな
どれどれメールの内容は……

武藤遊戯のデッキが盗まれた！探すのに協力してくれ！！

十代より

社会的な問題だな……この世界だと一応神と拝まれてるくらい
に有名だからな……損失したとわかれば責任としてアカデミアは取り
壊しつつそれじゃあ原作が進まない…
たぶん十代がなんとかしてくれんだろうけどそれでも心配だから探
さなきや…！
てか誰だよアーテムのデッキ盗んだの…恐ろしいほど重い罪に問わ
れるとと思うぞ…！

しかしこいつたいでこにこるんだ……「ははははははははは…」う

ん？ 庫の近くで馬鹿みたいに笑ってるワーキョローがいる？

「おー、なに高笑いしてるんだ？ ただ頭がおかしい人だつたらいい
病院紹介するぞ」

もちろんKCに頼んで探してもらうんだけどな

「ふふふ……おいお前…俺と一つデュエルをしないか？ 今俺はちょうどこの『テッキ』の実力が見たくてな…」

「そうですか。だけど今俺は遊戯の『テッキ』を盗んだ犯人を捜してる
最中なのでお断りします」

「そんなことを言わずにいいだろ？『決闘者』たるもの挑まれた『デュエル』は挑むのが礼儀だろ？」

それもそうですが……早く探さなきゃな… 1k.j11『テッキ』使つて挑むかな？ いやそれなりに早く決着がつける『テッキ』にするか

「いいですよ。ただし一回までですから」

「別にいいよ、それで」

「『^{デュエル}決闘！』」

「俺が先攻だ！ ドロー！ 手札から魔法カード【融合】発動！ 手札の【幻獣王ガゼル】と【バフォメット】を融合！ いでよ【有翼幻獣キマイラ】！」

1ターンから融合ね……結構やるな

だが海馬社長の手札ほどじやないな

「リバースカードをセットしてターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！ 魔法カード【高等儀式術】を発動！ デッキから通常モンスター【ネオバグ】2体を墓地に送り手札の【カオス・ソルジャー】を特殊召喚！」

「馬鹿な！？ 【カオス・ソルジャー】だと…？ それは俺しか持った無いはず！？」

……俺しか持った無い？ なにを言つてるんだ【カオス・ソルジャー】はこの世界だと世界中に数十枚あるぞ。お前しか持つてないってことはない。しかも【カオス・ソルジャー】は遊戯も使つて、そんなの常識だろ？

しかもあいつの言葉……あいつ、俺達が探してた遊戯のデッキを盗んだ犯人だな。遊戯しか持つてないはずなのに（世界のルール上）持つてない！ 誰かが今持つてている。そして俺しか持つてない発言…こいつが犯人だ

だったらさつさと倒して終わらせよう

「そして墓地の昆虫族モンスター【ネオバグ】2体を除外して手札から【デビルドーザー】を特殊召喚！ さらに【レスキューラビット】を召喚！ 【レスキューラビット】の効果発動！ このカードを除外してデッキからレベル4以下の同名_{通常モンスター}【^{インセクトナイフ}】を2体を特殊召喚する！ この効果でデッキから【甲虫装甲騎士】を2体を特殊召喚する！ バトル！ 【デビスドーザー】でキマイラに攻撃！」

「速攻魔法【攻撃の無力化】！」

ちょwww！－！それ原作版の【攻撃の無力化】じゃん！

しかも速攻だからスペルスピードが2……OCG版はカウンターだから強化されてるな

「このカードは相手モンスターの攻撃を無効にしてバトルフェイズを終了させる！」

「ならメインフェイズ2でLV4の【甲虫装甲騎士】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚－【Z.O.・39希望皇ホープ】－」

「なつ！エクシーズ召喚！？まさかお前がこの学園の中で異端の召喚方法を持つ決闘者^{デュエリスト}並び銀河眼^{キャラクターデバイス}を使つたことから出来た通り名、銀河のように果てしない可能性を持つことから【無限の札製】の称号を持つ宗野魁か！！」

無駄に長い説明！苦労様。称号の名前に關しては……ツッコんだほうがいいんでしょ？

「おーい！魁！」

「あー！十代！」

「神楽坂のフィールドに【有翼幻獣キマイラ】がいて魁のフィールドには【カオス・ソルジャー】とホープ！そしてまた見たことないモンスター！？」

久しぶりの出番だね」「ええ！とこりとは魁君が遊戯さんのデッキを盗んだッスか」

「ちょっと待て！なんで俺が盗んだことになつてんだ……」

「だつて遊戯さんしか持つてない【カオス・ソルジャー】使つてるから……」

「【カオス・ソルジャー】は世界中に数十枚あるわー別に武藤遊戯しか持つてないって訳じやない！」

「そうだつたんッスか…」

「人が折角カードを盗んだ犯人と戦つているのに……サレンダーしてもいいのか？」

「……じゃあいつが犯人！？」「」

「やつですね」

さあ反論なら聞くぞ。ただし俺はちやんとした理由を持つているからな

「そりゃーこの俺があの伝説の決闘者デュエリスト武藤遊戯のデッキを盗んだのさーそしてこれは俺が最強だということを現している！もう誰も俺に勝つことはできない！例えカイザーでもクロノスでも天城でも魁でもなー！！！」

……やっぱり病院紹介したほうがいいな。こいつの頭の中身少しおかしい…

遊戯のデッキを手に入れただけで最強？それはアニメしか見てない子供の考え方だ

「なあ三沢。あこつなんて叫つかせつだ？」

あつやつと三沢の名前が出た。よかつたね！でも俺は田の前の敵に集中しなきやな…

後あいつの名前は神楽坂か……記憶した

「リバースカードをセットしてターンヒンド」

「俺のターン、ドロー！魔法カード【強欲な壺】を発動！これでデッキから2枚ドロー！そして魔法カード【融合解除】！これでキマイラの融合を解除し墓地からガゼルと【バフオメット】を特殊召喚！そして2体のモンスターを生贊にして来い！【ブラック・マジシャン】！」

おおー… じつして見るとアリマジって攻撃力2500のモンスターとこう感じのオーラじゃねえ… オーラ的には攻撃力2800くらいあるだろ？！？

「すげえ！【ブラック・マジシャン】だ！」

「まさかこんな間じかで見るなんてな…」

「これが【ブラック・マジシャン】… とてつもないオーラを放つてるわね、あなたのにはどう思つ亮？」「

「独特な味がある」

「…」

意味不明な発言すぎるぞカイザー… そしてカイザー始めて見たな

「こんなやつがどうして『グオレンダア！』とか言うんだろ？……ヘルカイザーになつて頭でも狂つたのかな？」

「そしてリバースカードをセットして魔法カード【天よりの宝札】！お互いのプレイヤーは手札を6枚になるようにデッキからカードを補充する！そして【ワタポン】を特殊召喚！そして魔法カード【二重召喚】^{デュアルサモン}を発動！【ワタポン】を生贊に【ブラック・マジシャン・ガール】を召喚！」

「【ブラック・マジシャン・ガール】ツス！――頑張れ、【ブラック・マジシャン・ガール】！」

おい俺の応援しろよ。てかKCの技術凄いな【ブラック・マジシャン・ガール】が翔に向かつて手を振つて翔が赤化したぞ

「そして儀式魔法【カオス 黒魔術の儀式】を発動！手札の【カオス・ソルジャー】を生贊にして手札から儀式召喚！【マジシャン・オブ・ブラックカオス】降臨！さらにリバースカードオープニング！【黒・魔・導・連・弾】^{ヴァースト}！この効果により【ブラック・マジシャン】の攻撃力【ブラック・マジシャン・ガール】の攻撃力分アップする！」

攻撃力が2800と4500と2000……すまんアテムのデッキつて回すと結構強いんだね

「バトル！【マジシャン・オブ・ブラックカオス】でホープに攻撃！デス・アルテマ！」

「ホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き相手モンスターの攻撃を無効にする！ムーンバリア！」

「なら【ブラック・マジシャン】で【カオス・ソルジャー】に攻撃！黒・魔・導！」

「ホープに効果発動！再びオーバーレイユニットを一つ取り除き相手モンスターの攻撃を無効にする！ムーンバリア！」

「くそ！ほかへの攻撃にも対応するのか！だがこれは防げない！手札から速攻魔法【光と闇の洗礼】を発動！【ブラック・マジシャン】を生贊にしてデッキから【混沌の黒魔術師】を特殊召喚！」

「んだけ攻撃するんだよ！個人的にはこのデュエル中【狂戦士の魂】でも使うんじゃないの？
そしていつも通りの禁止カード！【混沌の黒魔術師】…こいつの効果おかしいだろ！」

「【混沌の黒魔術師】の効果発動！このカードが召喚、特殊召喚した時墓地の魔法カードを手札に加える！この効果で【天よりの宝札】を手札に加える！そして【混沌の黒魔術師】に攻撃！デス・アルテマー！」

「希望皇ホープの効果！このカードのオーバーレイが無い状態で攻撃対象にされた時このカードを破壊する！」

「自ら自壊したか…ならメインフェイズ2で魔法カード【天よりの宝札】を発動！これで俺の手札を6枚にする！お前は手札がすでに6枚だからドローできない！そして手札の 、 、 の3体を生贊に【磁石の戦士マグネット・バルキリオン】を特殊召喚！」

ちょっとお前！遊戯+十代顔負けのチートドローじゃねえか…！」

よく揃えられたな！

「これでターンtrandだ…どうだ…これが俺の実力だ！」

「……確かにここまでプレイングはすこかつたよ…でもさあ…どうしてそんなに強いのに遊戯のデッキなんて盗むんだ？お前にはそんなデッキは必要ないだろ？」

「いや、魁。神楽坂は他人のデッキを研究し自分の力にする。その結果自分のデッキが誰かに似るようになってしまふんだ」

「そうや……でも俺はどんなに研究しても強くなれなかつた！だから俺は武藤遊戯のデッキを奪い強くなろうとしたんだ！」

…軽くキースが見えたぞ…

でもデッキを真似するのは良いことでも悪いことでもある
それを教えなければいけないんだけど…今のこいつのテンションからして聞く気なんてないよな

「じゃあ氣を取り直して俺のターン、ドローー手札から魔法カード【魔法石の採掘】を発動！手札のカード2枚を墓地に送り墓地から魔法カード【高等儀式術】を手札に加える！そして【高等儀式術】を発動！今度はデッキから【ネオバグ】と【甲虫装甲騎士】インセクトナイツを墓地に送つて手札からもう1体の【カオス・ソルジャー】を特殊召喚！」

「くそー…」でもう1体の【カオス・ソルジャー】を出すなんて…

「十代気づいているか…」

「なにがだカイザー？」

「あれだけ激しい戦いをしているのに互いのLPはまだ1ポイントも削られていない」

「そういえば！」

魁 LP 4000

神楽坂 LP 4000

「そういえばそうだったな……」

「だがこれからこの戦況は大きく傾く！」

「いくぜ！ 手札から装備魔法【黒いペンドント】を【カオス・ソルジャー】に装備！ これで【カオス・ソルジャー】の攻击力は3500だ！ バトル！ 【黒いペンドント】を装備しての【カオス・ソルジャー】でバルキリオンに攻撃！ カオス・ブレード！」

「くつ相打ちか！」

「だが【黒いペンドント】の効果発動！ このカードがフィールドから離れた時相手に500ポイントのダメージを取れる！」

「なんだと！」

神楽坂 LP 3500

「さらに【カオス・ソルジャー】で【混沌の黒魔術師】に攻撃！ カオス・ブレード！」

「ぐそ！【混沌の黒魔術師】が…【混沌の黒魔術師】の効果でこのカードがフィールドを離れた時このカードは除外される」

神楽坂 LP3300

「そして【デビルドーザー】で【ブラック・マジシャン・ガール】に攻撃！」

『きやあああああ…』

「【ブラック・マジシャン・ガール】…

神楽坂 LP2800

「ひどいッスよ魁君！」

「やかましい！【デビルドーザー】の効果でお前のデッキの一番上のカードを墓地に送る！さらにリバースカードオーブン！【リビングデッドの呼び声】！これで墓地から【カオス・ソルジャー】を特殊召喚！【カオス・ソルジャー】で【マジシャン・オブ・ブラックカオス】に攻撃！カオス・ブレード！」

「俺のフィールドのモンスターが全滅…」

神楽坂 LP2600

「リバースカードをセットしてターンエンド！」

「面白い…俺のターン、ドロー！魔法カード【次元融合】を発動！ライフを2000払いお互いに除外されるモンスターを特殊召喚

する…これで俺は除外ゾーンから【混沌の黒魔術師】を特殊召喚…

神楽坂 LP600

「なら俺は【ネオバグ】と【甲虫装甲騎士】を守備表示で特殊召喚…！」

「そして【混沌の黒魔術師】の効果により墓地から【天よりの宝札】を手札に加える！そしてリバースカードを1枚セット！そして【天よりの宝札】を発動！それにチーンして手札から速攻魔法【非常食】を発動！【天よりの宝札】と伏せた【黒魔術のカーテン】を墓地に送りライフを2000回復！」

神楽坂 LP2600

「そんな！」

「【次元融合】の「スト、ライフ2000を0にしただと…」

「さすが神楽坂だな…デッキを研究し自分の力にする…武藤遊戯のデッキを完璧に操っている！」

「そして【天よりの宝札】の効果…お互いの手札を6枚にする…」

【天よりの宝札】を3回田…そのままだとお互いのデッキが0になるぞ？

「そして装備魔法【エクスカリバー】…これで【混沌の黒魔術師】の攻撃力を倍にする…」

壊れ過ぎのオリカだな、おい……代々そんな壊れオリカいつ出た？

「そしてライフを1000払い【拡散する波動】を発動！これで【混沌の黒魔術師】は相手モンスターすべてに攻撃できる！」

神楽坂 LP1600

「なら速攻魔法【神秘の中華鍋】！」これで【カオス・ソルジャー】を生贊にささげ俺のライフを3000回復する！」

魁 L P 7 0 0 0

「いくぞ！【混沌の黒魔術師】で相手モンスターすべてに攻撃！デス・ビックバン！」

גַּם־הַנְּבָאָה

魁 L P 1 6 0 0

「魁！」

「それでターンエンドだー。」

「今の攻撃結構くらつたぜ…俺のターン、ドローー！…【マンジュー・ゴッド】を召喚！【マンジュー・ゴッド】の効果発動！この効果でテックから【カオスの儀式】を手札に加える！そして速攻魔法【エヌミーコントローラー】！俺は第2の効果発動！【マンジュー・ゴッド】を生贊にして【混沌の黒魔術師】のコントロールをエンンドフェイズまでもうづぜ！そして【混沌の黒魔術師】で直接攻撃！デス・アル

「テーマ！」

「手札の【クリボー】を捨て一度だけ戦闘ダメージを〇にする！ありがとうクリボー。さすがは数千枚のカードで選んだだけのことはある！」

……ツツコまんぞ

「そしてメインフェイズ2！手札から儀式魔法【カオスの儀式】を発動！俺は【混沌の黒魔術師】を生贊にさげて手札から【カオス・ソルジャー】を儀式召喚！」

「…………や、3体目【カオス・ソルジャー】！？」

「リバースカードをセットしてターンエンド」

「俺のターン、ドロー！手札から魔法カード【死者転生】を発動！手札の【クイーンズ・ナイト】を捨て墓地から【カオス・ソルジャー】を開闢の使者】を手札に加える！」

あれ？いつ開闢なんて落ちたんだ？

「さらに墓地の光属性モンスター【ワタポン】と闇属性モンスター【クリボー】を除外して光と闇！2つの魂が最強の戦士を降臨させる！現れる！【カオス・ソルジャー】開闢の使者】！？」

最悪だ…まさかこのモンスターを出すなんて…

「そして速攻魔法【突進】を【カオス・ソルジャー】開闢の使者】に発動して攻撃力を700ポイントアップ！そして【カオス・ソルジャー】に攻撃！開闢双破斬！」

「ふう……よかつたよ考へてることが同じで！速攻魔法【突進】を発動！これで【カオス・ソルジャー】の攻撃力が700ポイントアップ！」

「くそ！また相打ちか！だけどメインフェイズ2で魔法カード【戦士の生還】を発動！これで墓地の戦士族モンスター【カオス・ソルジャー・開闢の使者】を手札に加える！そして墓地の光属性モンスター【クィーンズ・ナイト】と【バフオメット】を除外して【カオス・ソルジャー・開闢の使者】を再び特殊召喚！…これでターンエンド！さあどうする！宗野魁！今までのお前のデッキコンセプトを見る限りそのデッキは【カオス・ソルジャー】召喚特化型デッキ！しかしお前の【カオス・ソルジャー】は1体は除外されてて残りの2体はすでに墓地！お前のデッキにはこの【カオス・ソルジャー・開闢の使者】を超えるモンスターはもういない！サレンダーするんだな！」

「ふつ……この俺がサレンダー？馬鹿なこと言つな……デュエリスト決闘者たる者途中で勝負を放棄することは許されない！俺のターン、ドロー！…魔法カード【天よりの宝札】を発動！」

「それで手札補充か！」

「いや。このカードは自分の手札、フィールドのカードをすべて除外してその後2枚ドローする！」

「なつ……効果が違う【天よりの宝札】！？でも手札2枚でなにができる！」

「ドロー……なあ……神楽坂……」

「なんだ？」

「お前が使ってる【カオス・ソルジャー 開闢の使者】……そいつは恐ろしく強いよ…【カオス・ソルジャー】よりもずっと…」

「当たり前だ…このカオス・ソルジャーは儀式版の【カオス・ソルジャー】をリメイクし強化されたカード！そのカードがリメイクされたカードに負けるわけがないだろ？…！」

「だけどさ…【カオス・ソルジャー 開闢の使者】にも力の限界がある…でも【カオス・ソルジャー】にはその限界を超える力がある…」

「はっ！【カオス・ソルジャー】が【カオス・ソルジャー 開闢の使者】を超えるというか…！…できるものならやってみる…」

「それを今からやつてやるよ…手札から魔法カード【龍の鏡】を発動！このカードは自分フイールド、墓地のモンスターを除外して融合テックキからデラゴン族モンスターを融合召喚する…」

「デラゴン族モンスターを融合召喚…？そのテックキではデラゴン族モンスターは融合召喚できないはず…」

「できるんだよそれが！俺は墓地の【カオス・ソルジャー】と【沼地の魔神王】を除外してあるモンスターを融合召喚する…」

「【沼地の魔神王】！？いつそんなカードを…はっ【魔法石の採掘】の時か…？」

「そう！そして【沼地の魔神王】は融合素材にされる時他の融合素材モンスターの代わりにできる…よつて俺は【沼地の魔神王】を【ブルライズアルティメタゴン】として扱い融合召喚…」

「…………【カオス・ソルジャー】と究極竜を素材とした融合…？」

「現れる…混沌と究極が交わりし生まれる最強の竜騎士！【究極竜ラゴンナイト】…！」

「そんな…攻撃力5000…」

「そして魔法カード【貪欲な壺】…墓地の希望ホープ、【甲虫装甲騎士】3体と【カオス・ソルジャー】をデッキに戻しシャッフル…そして2枚ドロー！…魔法カード【二重魔法】を発動！手札の魔法カード【カオスの儀式】を捨て相手墓地の魔法カード…【エクスカリバー】を【究極竜騎士】に発動！これで攻撃力は倍になり攻撃力は100000…！」

「【カオス・ソルジャー】が…【カオス・ソルジャー】開闢の使者】を超えただと…！」

「いけ！【究極竜騎士】…！ギャラクシー・ビッグバン…！」

『はああああああああ…』

「うわああああああ…！」

「俺の勝ちだ。神楽坂」

「……やつぱり俺はどんな強いデッキを使っても弱いんだ……俺は武藤遊戯さんのデッキを使ったのにもかかわらず……負けた……やっぱり俺は弱いんだ」「そんなことねえよーーー」「……十代」

「俺達が来てからあの『ユコエル』を全部見せせてもらひたけどあそこまで使いこなせるなんてすげえよ！」

「それにお前は弱くない。お前は強いんだ……本当の意味で……」

「本当の意味で……強い……？」

「これを言つと少し氣恥ずかしいだけ」「いつが強くなる懸け橋のために言わなきやな……

「ああ、お前は何度も何度も負けて、その度にデッキを研究しデッキを作つた……お前は決闘者に一番必要な『向上心』があるんだ」「だからこそ言わせてもらひつ……」

「……」「向…上心…」

「そして他人のデッキを真似するのは別に悪いことじゃない。他人のデッキを使って問題点があればそれを改良……そしてまた問題点が出てきて改良……向上心があるお前にはこの行為を続けられるだろうな……だからこそ言わせてもらひつ……」

俺は神楽坂に近づき神楽坂を顔を正面に向かせつけられた

「お前がその向上心を忘れなければお前は世界で一番強い
デュエリスト
決闘者になれる」

「

」

「だから向上心を忘れるな

結構くわいこと言つたな……

でもこれでこの事件も一件落着か！
つて周りから拍手の音が……えつ！？

「よく戦つたぞ！神楽坂！」

「かつこいい」と叫びてくれるんじやん！魁！」

「俺達はこれからも自分の実力に満足しないよつと頑張りつせー！」

「「「「オオオオオオ——ツ——」」「」」

たく…みんなこの『テュエル見てたのかよ…
しかも校長まで隠れてたとは…あなたも抜け目無いな…

「でもとつあえず神楽坂。まずはみんなに迷惑掛けたことに謝るう
な」

「あつはー」

「これにて一件落着ー！」

俺はあの『デュエルを見終わった後自分の寮へと帰つてゐる最中、一つのことを考えていた

それは魁が言ったあの言葉……

『向上心』

そうだったな……今まで俺はパーフェクトと呼ばれ氣づかぬ間に墮落し向上心を忘れていた……

この状態で卒業してプロを目指す？無理に決まつていふ……このままではいずれ十代、翔、三沢、明日香今はアカデミアにいなり万丈目に越されてしまつたな……

……俺はみんなと対等でいたい！いつまでも『デュエルをし続けたい！その為にも向上心を忘れないで成長しないとな……

第16話 伝説との対面！開闢の使者VS混沌の騎士（後書き）

あれ？またタイトル詐欺？本当は開闢と混沌の騎士が白熱の戦いをするはずだったのに……どうしてこうなったwww
そして気づかない間にカイザーのヘル化フラグをへし折った！？
ちなみに今回、主人公魁がいくら相手のカードとはいえアニメオリカを使つてしましました。だから批判が多くきたらこのデュエル書き直します。みんなどんどん批判してね！（おい

では次回予告！

えっ？転人生ががやつてきた！？
しかもそいつは俺のルームメイト…
てかこいつ妙に女々しいな…

次回！【恋する乙女参上…】

もしかしたら前編とか中編とかになるかも知れません。それでも次回もお楽しみに！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3776z/>

遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

2011年12月27日20時50分発行